

建 築 名 称

- 1 本館

2 活性炭脱水槽

3 ボイラー室

4 活性炭ろ過器

5 送水用流量計室

6 PAC貯槽
- 7 沈砂地

8 同 上

9 強制沈殿池

10 管理室 ポンプ室 電気室

11 便所

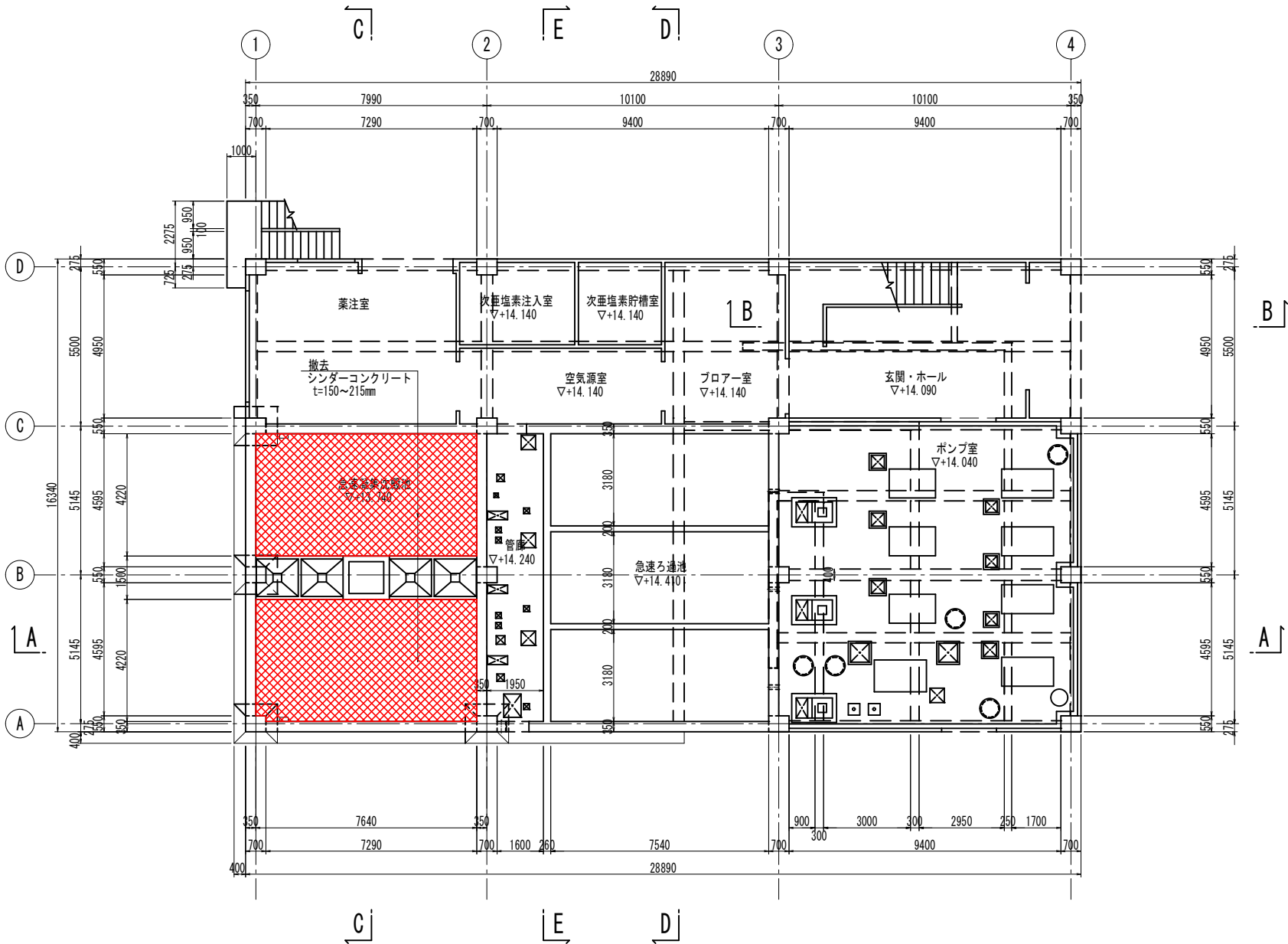
12 急速ろ過池

| 実 施 | | | | |
|-------|--|----------|-----|--|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | | |
| 図 面 名 | 一般平面図 | | | |
| 縮 尺 | 1/400 | 位置 | | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-1 | |

田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(1) S=1:100

現況・撤去

1F平面図



補強工法凡例

はつり・撤去箇所

注)

- ・特記無しはSLを示す
- ・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと

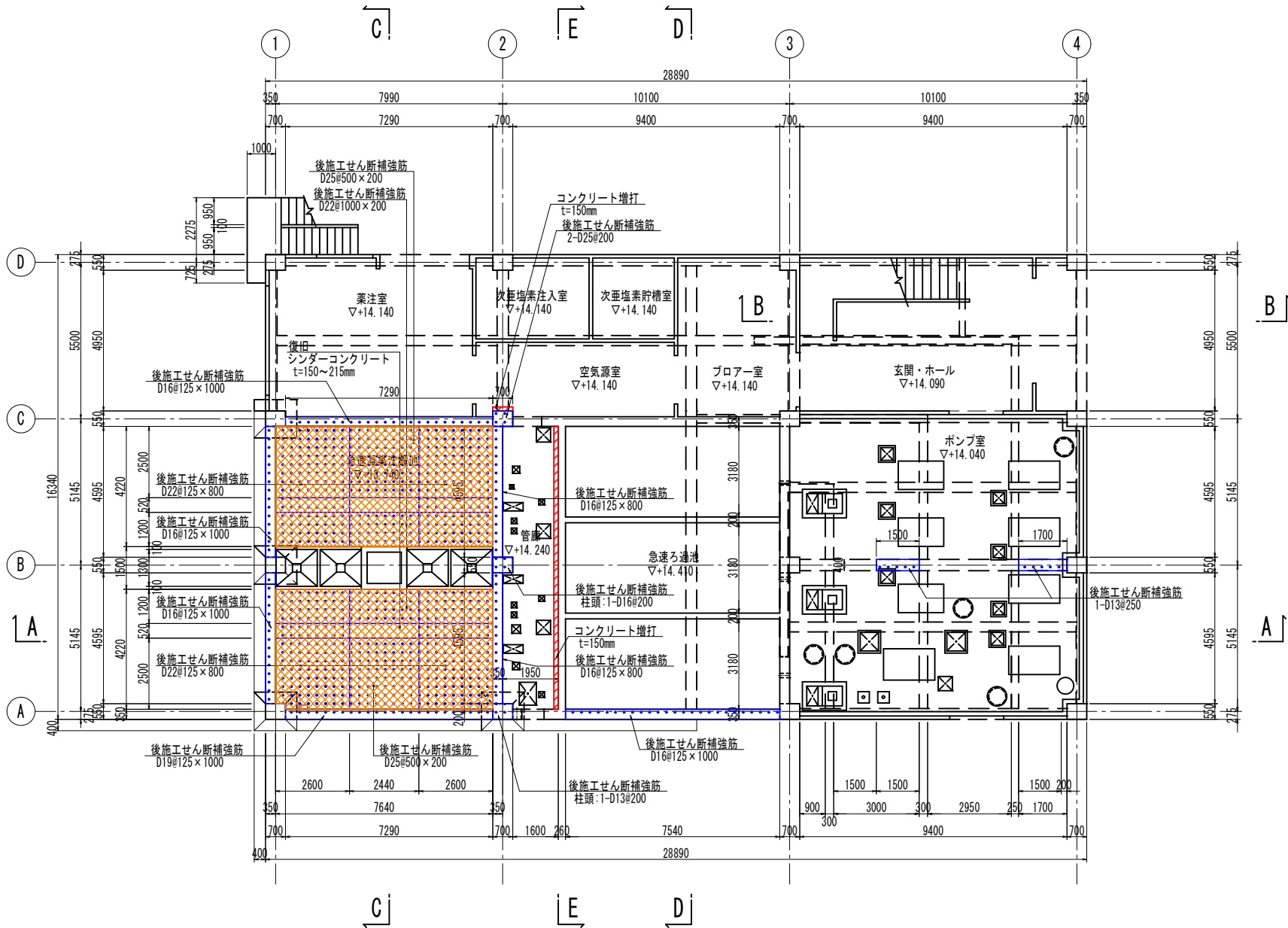
実 施

| | | | |
|-------|--|----------|-----|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(1) | | |
| 縮 尺 | 1/100 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-2 |

田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(2) S=1:100

改修後

1F平面図



補強工法凡例

- 鉄筋コンクリート増厚工
- 後施工せん断補強鉄筋工
- 復旧箇所

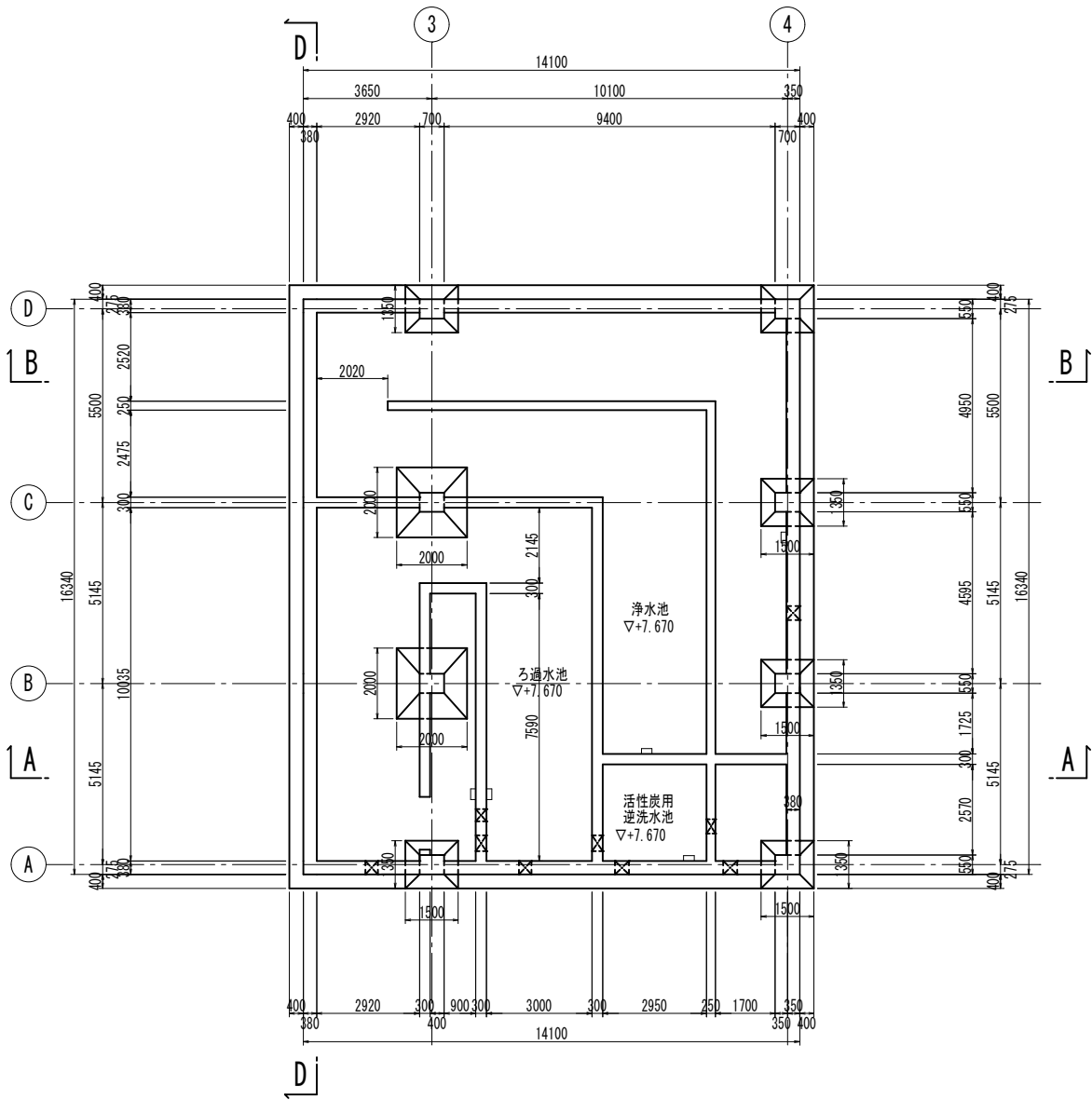
注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと
・後施工せん断補強鉄筋工の範囲は必要範囲を示す
・後施工せん断補強鉄筋工における配筋ピッチの表記は下記による
(壁)
(鉄筋径)@タテ方向×ヨコ方向
(底板)
(鉄筋径)@X方向×Y方向
(柱、梁)
(本数)-(鉄筋径)@(軸方向)

実 施

| | | | |
|-------|--|----------|-----|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事(土木) | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(2) | | |
| 縮 尺 | 1/100 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-3 |

現況・撤去

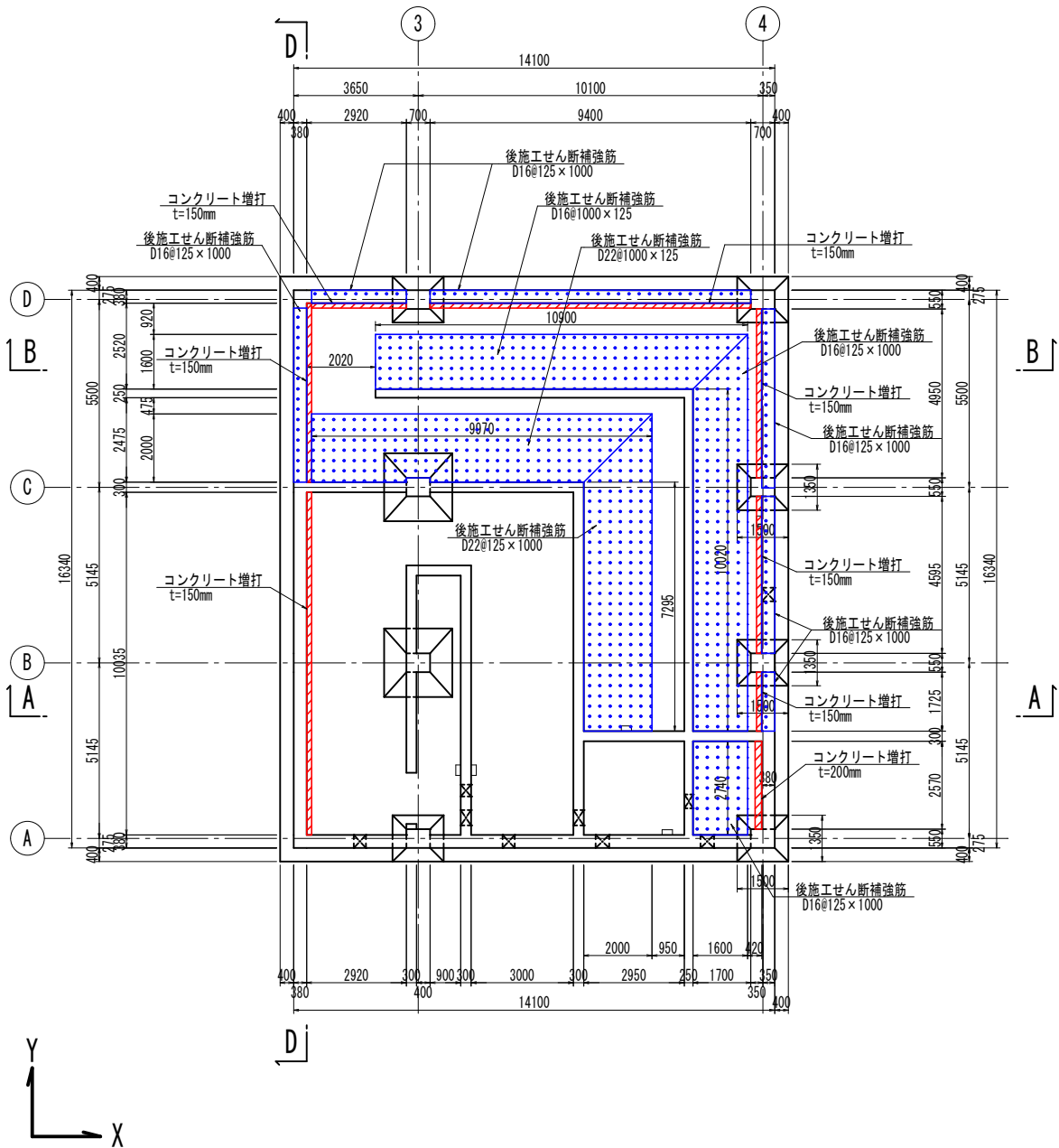
B1F平面図



注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと

改修後

B1F平面図



補強工法凡例
鉄筋コンクリート増厚工
後施工せん断補強鉄筋工

注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと
・後施工せん断補強鉄筋工の範囲は必要範囲を示す
・後施工せん断補強鉄筋工における配筋ピッチの表記は下記による
(壁)
(鉄筋径)@タテ方向×ヨコ方向
(底板)
(鉄筋径)@X方向×Y方向

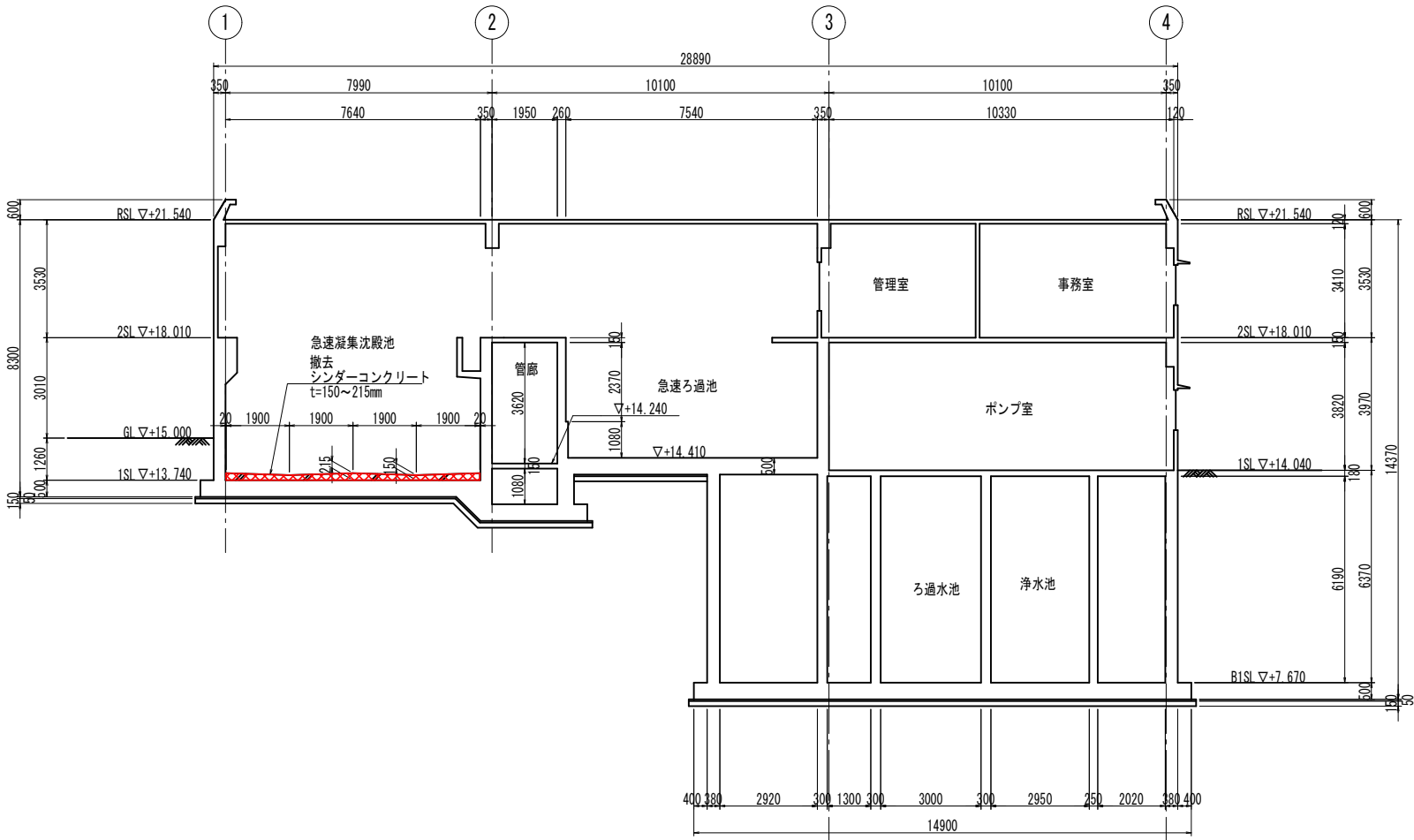
実 施

| | | | |
|-------|--|----------|-----|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(3) | | |
| 縮 尺 | 1/100 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-4 |

田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(4) S=1:100

現況・撤去

A-A断面図



補強工法凡例

はつり・撤去箇所

注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと

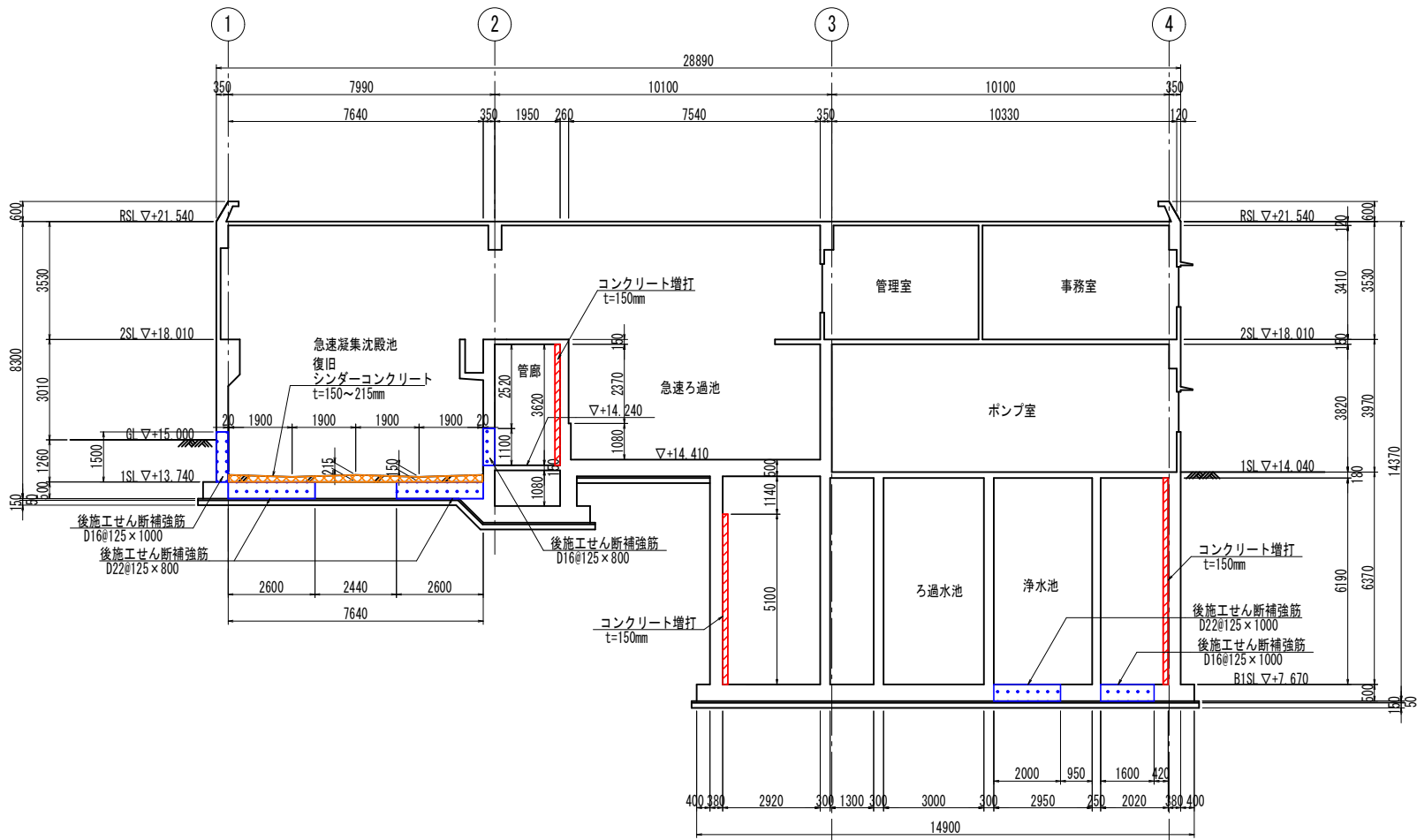
実 施

| | | | |
|-------|--|----------|-----|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(4) | | |
| 縮 尺 | 1/100 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-5 |

田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(5) S=1:100

改修後

A-A断面図



補強工法凡例

- 鉄筋コンクリート増厚工
- 後施工せん断補強鉄筋工
- 復旧箇所

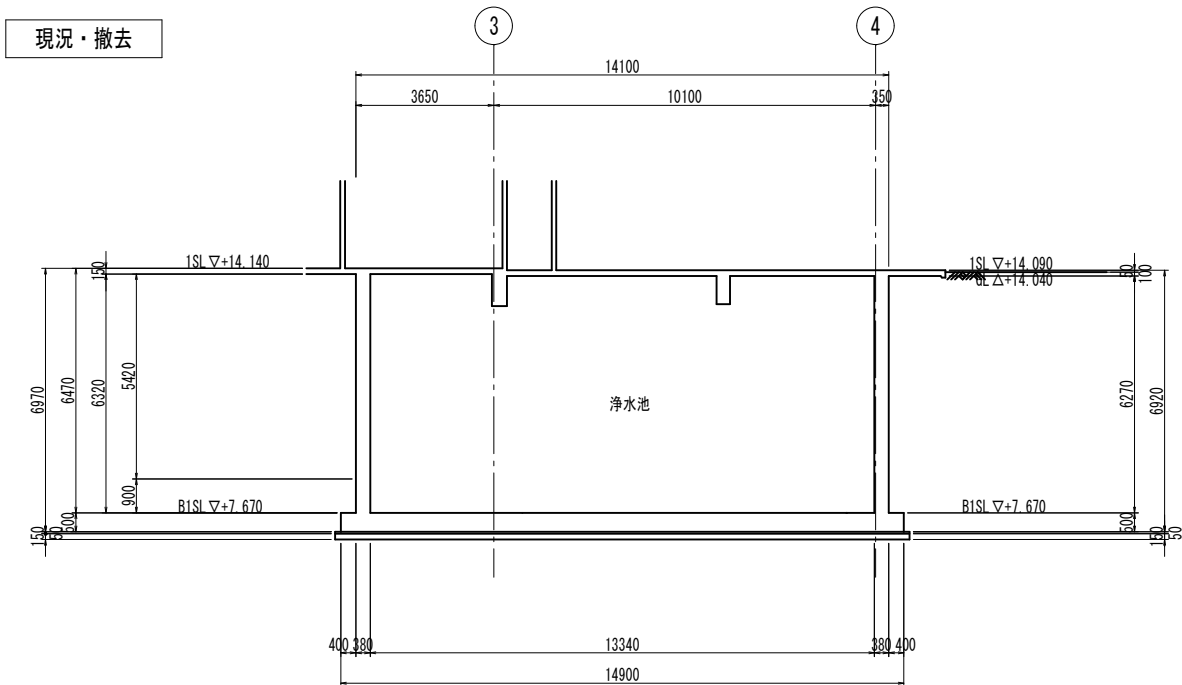
注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと
・後施工せん断補強鉄筋工の範囲は必要範囲を示す
・後施工せん断補強鉄筋工における配筋ピッチの表記は下記による(壁)
(鉄筋径)@タテ方向×ヨコ方向
(底版)
(鉄筋径)@X方向×Y方向

実 施

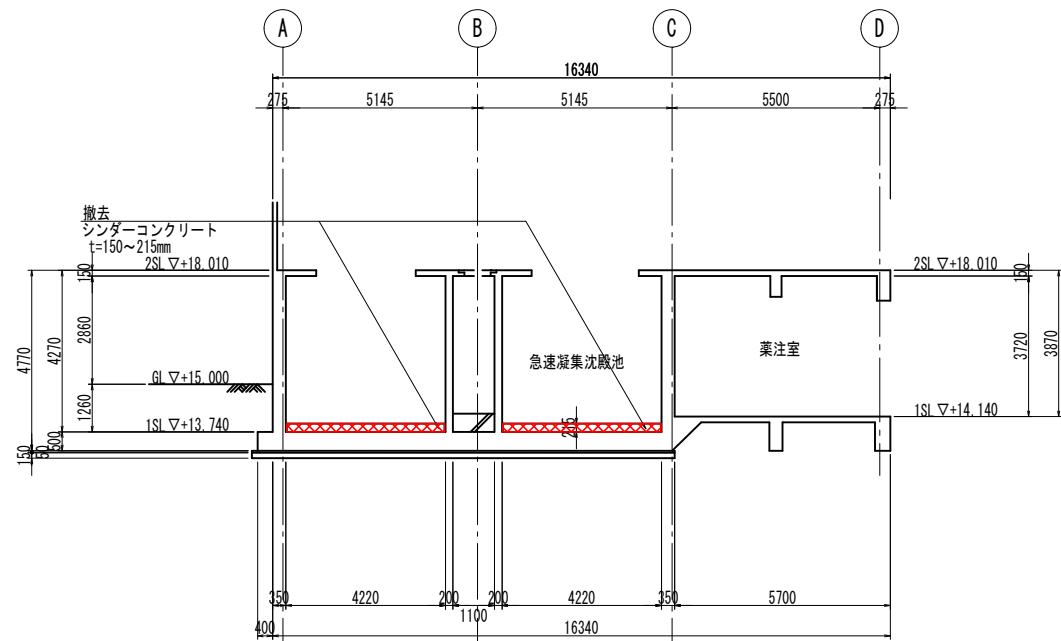
| | | | |
|-------|--|----------|-----|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(5) | | |
| 縮 尺 | 1/100 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-6 |

田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(6) S=1:100

B-B断面図



C-C断面図

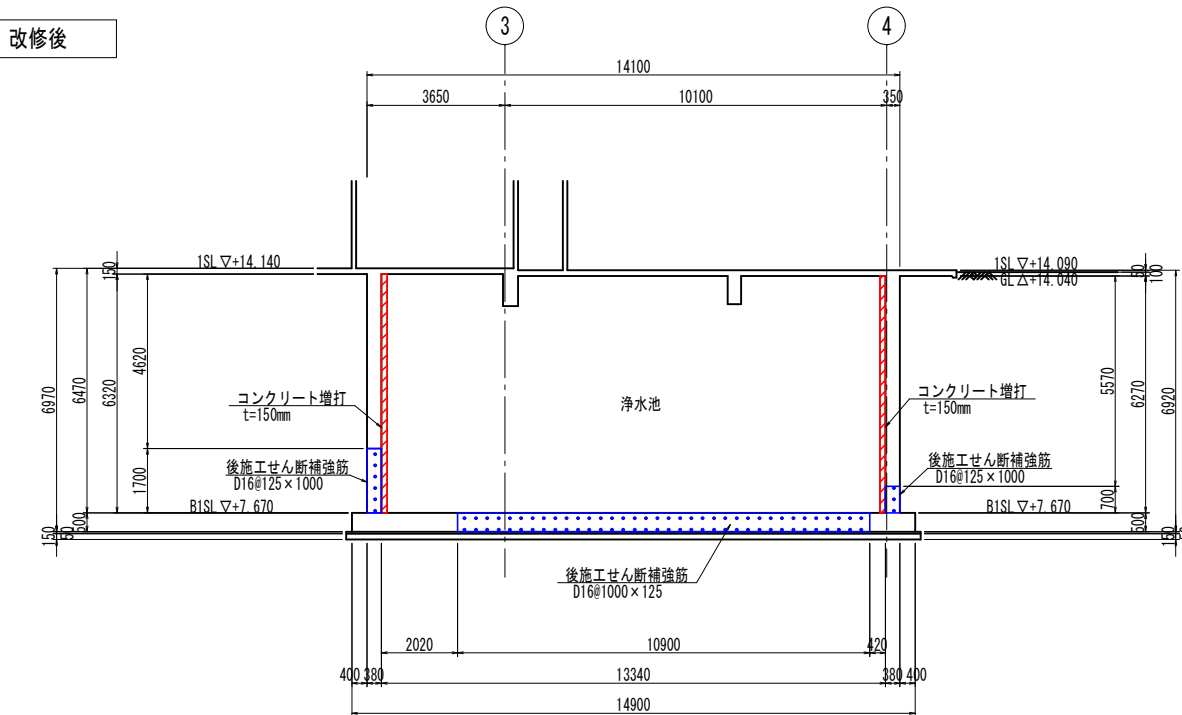


補強工法凡例

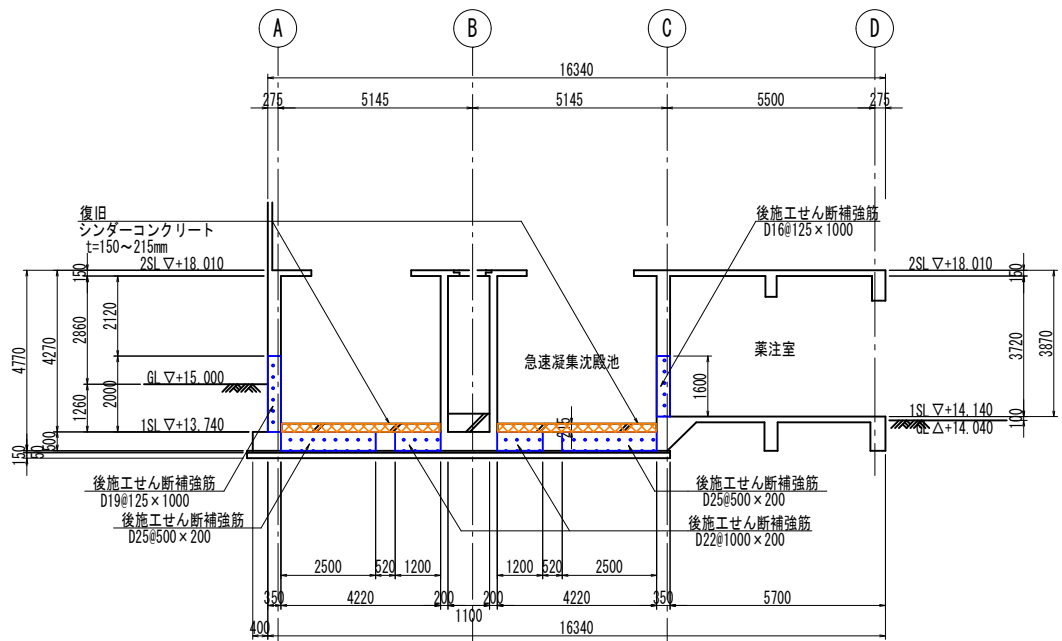
はつり・撤去箇所

注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと

B-B断面図



C-C断面図



補強工法凡例

鉄筋コンクリート増厚工

後施工せん断補強鉄筋工

復旧箇所

注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと
・後施工せん断補強鉄筋工の範囲は必要範囲を示す
・後施工せん断補強鉄筋工における配筋ピッチの表記は下記による(壁)
(鉄筋径)@タテ方向×ヨコ方向
(底板)
(鉄筋径)@X方向×Y方向

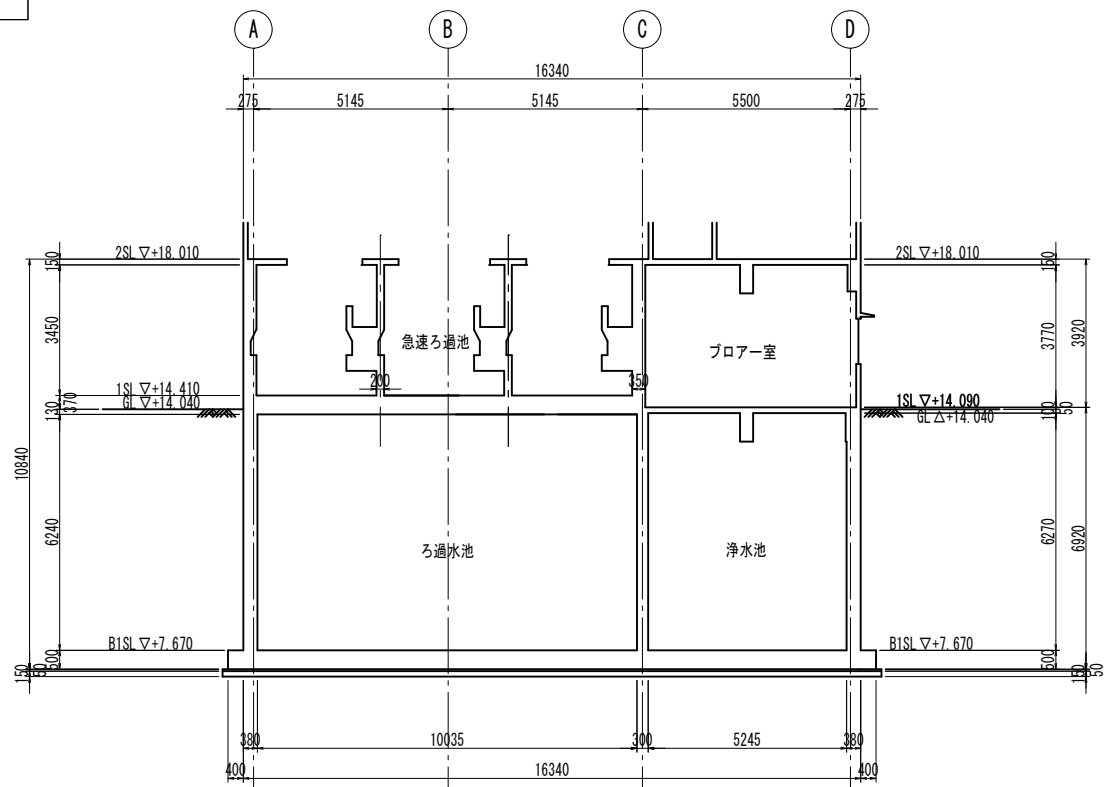
実 施

| | | | |
|-------|--|----------|-----|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事(土木) | | |
| 施工地名 | 互理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(6) | | |
| 縮 尺 | 1/100 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 互 理 町 | | 図番 | C-7 |

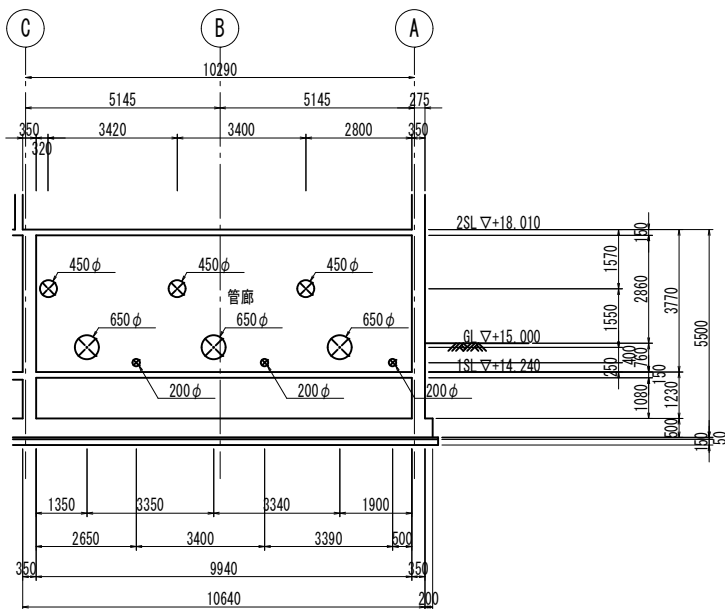
田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(7) S=1:100

D-D断面図

現況・撤去

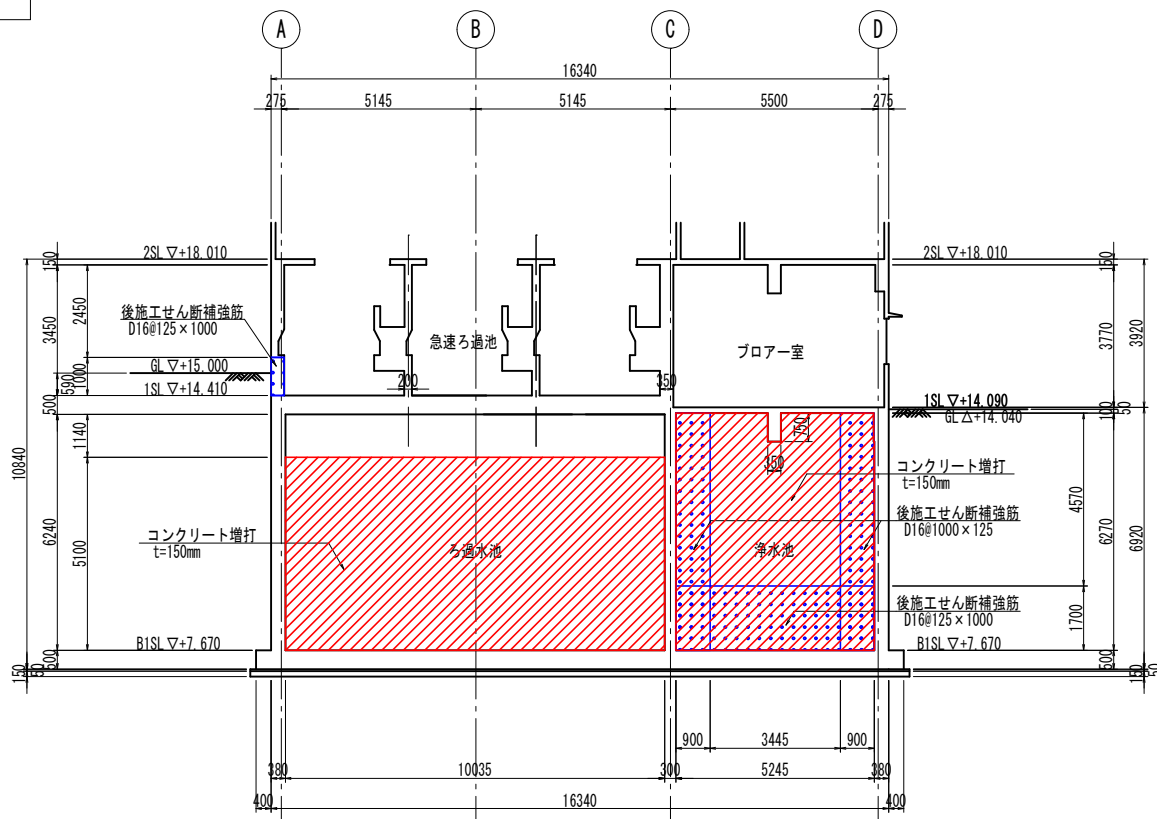


E-E断面図

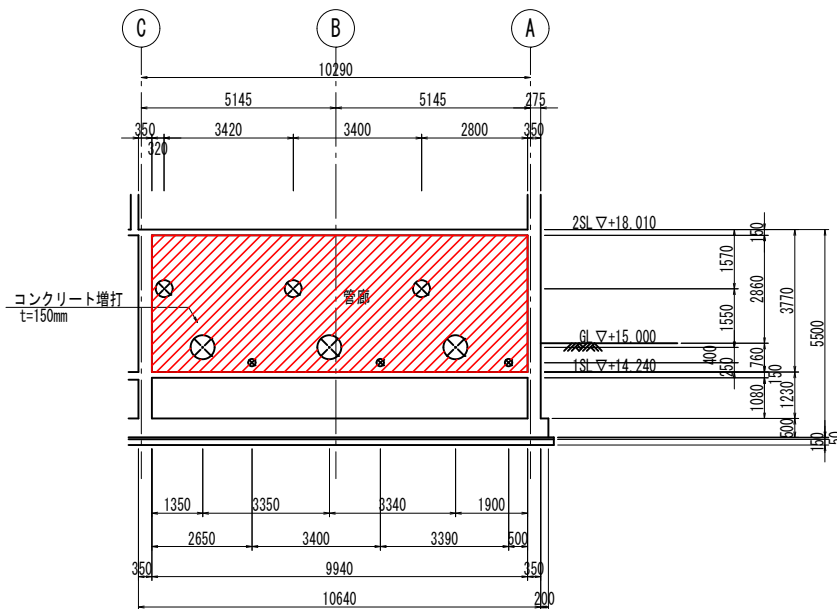


注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと

改修後



E-E断面図



注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと
・後施工せん断補強鉄筋工の範囲は必要範囲を示す
・後施工せん断補強鉄筋工における配筋ピッチの表記は下記による(壁)
(鉄筋径)@タテ方向×ヨコ方向

補強工法凡例

- 鉄筋コンクリート増厚工
- 後施工せん断補強鉄筋工

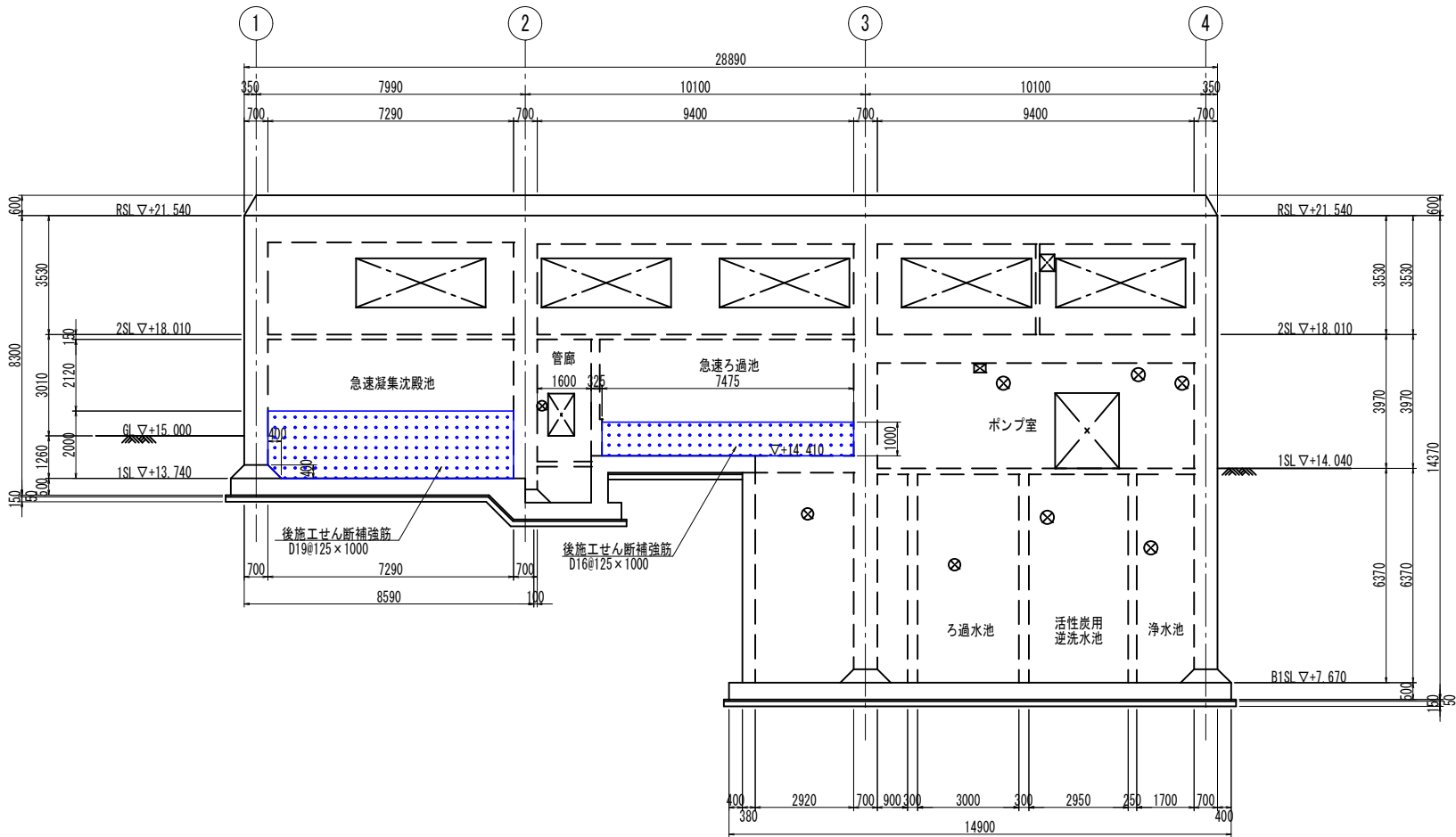
実 施

| | | | |
|-------|--|----------|-----|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字塚下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(7) | | |
| 縮 尺 | 1/100 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-8 |

田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(8) S=1:100

改修後

A通り軸組図



補強工法凡例
後施工せん断補強鉄筋工

注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと
・後施工せん断補強鉄筋工の範囲は必要範囲を示す
・後施工せん断補強鉄筋工における配筋ピッチの表記は下記による(壁)
(鉄筋径)@タテ方向×ヨコ方向

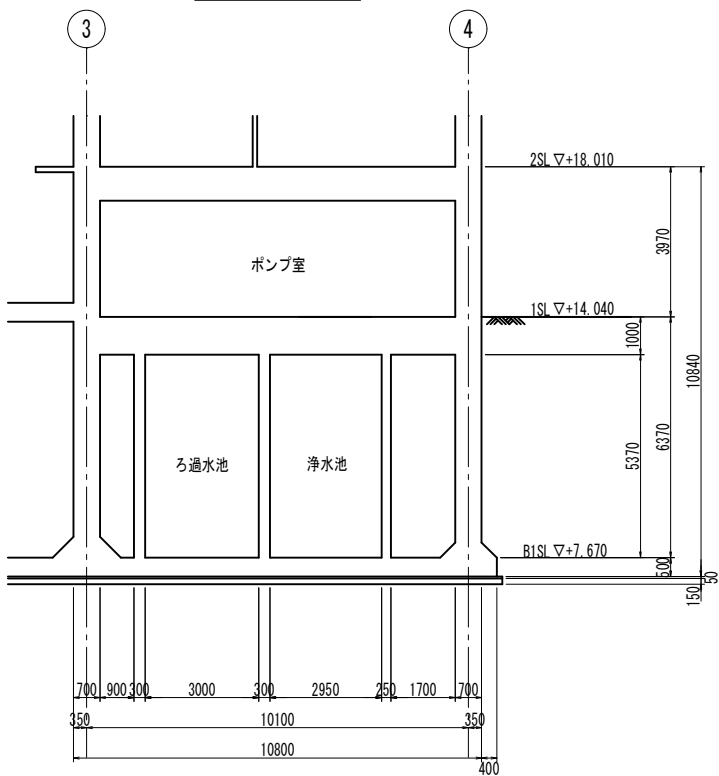
実 施

| | | | |
|-------|--|----------|-----|
| 工 事 名 | 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(8) | | |
| 縮 尺 | 1/100 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-9 |

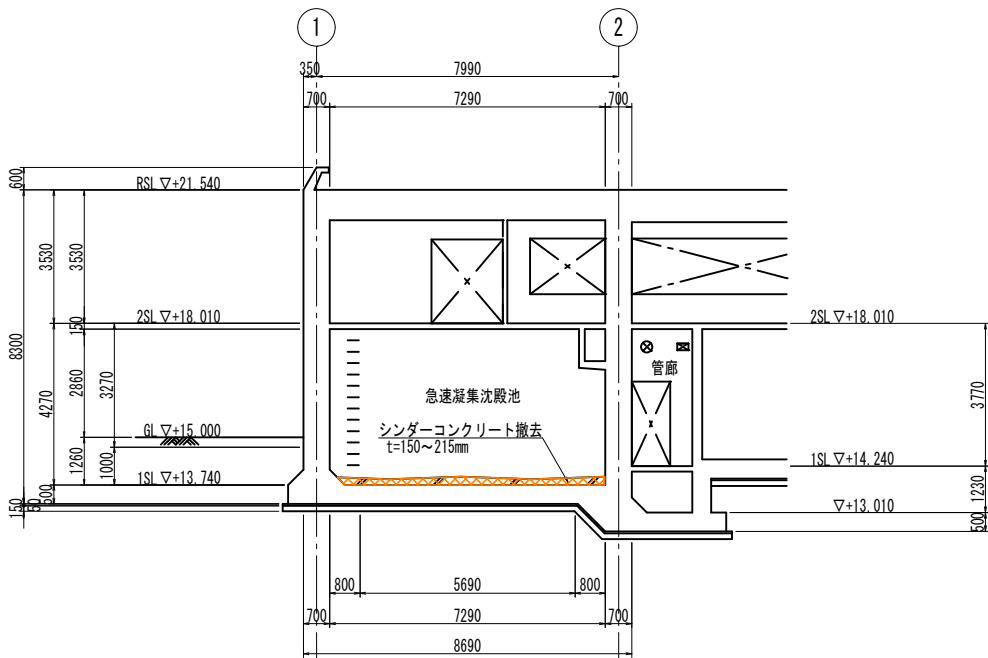
田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(9) S=1:100

B通り軸組図

現況・撤去



C通り軸組図

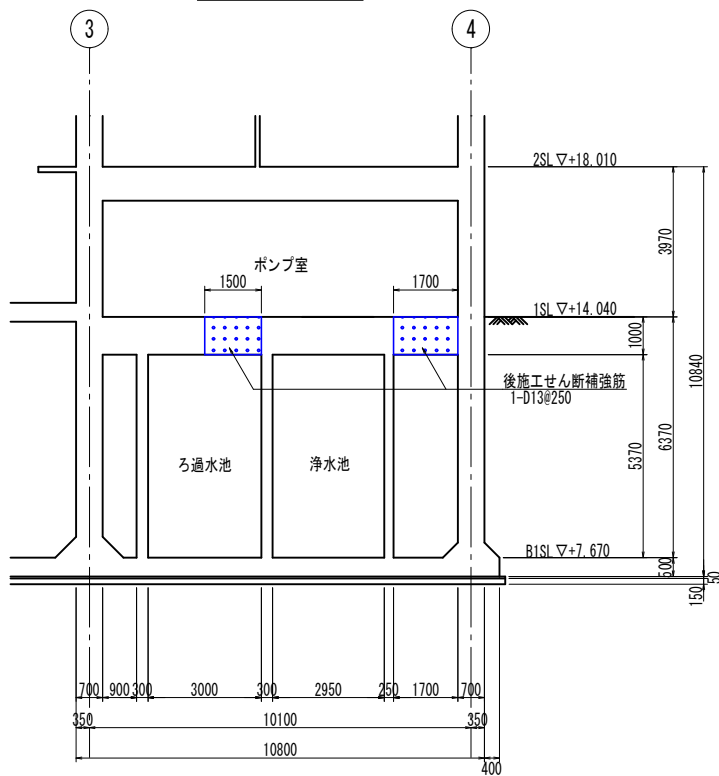


補強工法凡例
はつり・撤去箇所

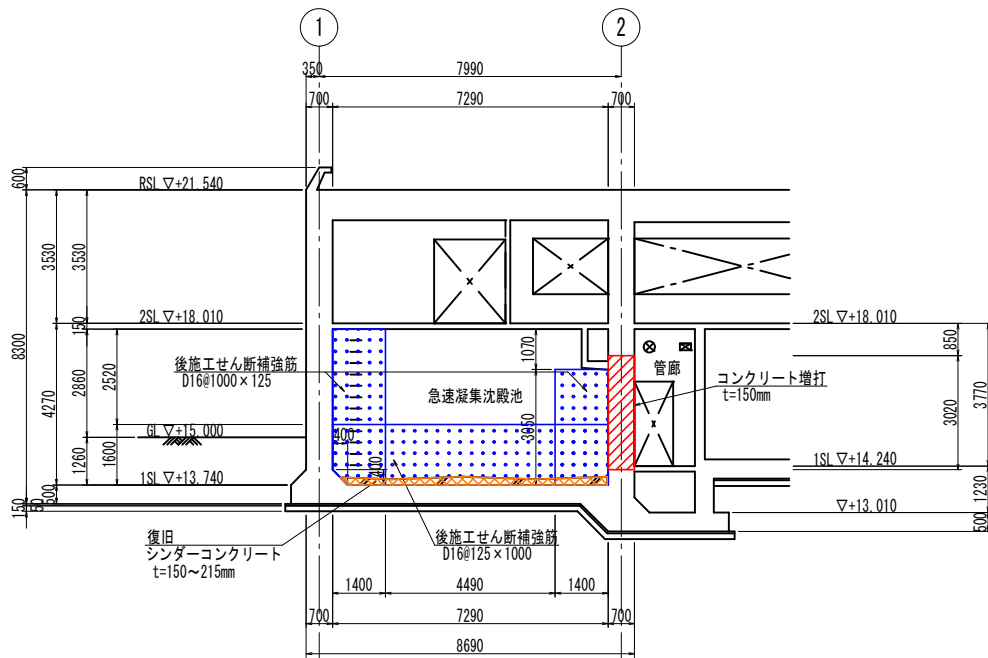
注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと

改修後

B通り軸組図



C通り軸組図



補強工法凡例
鉄筋コンクリート増厚工
後施工せん断補強鉄筋工
復旧箇所

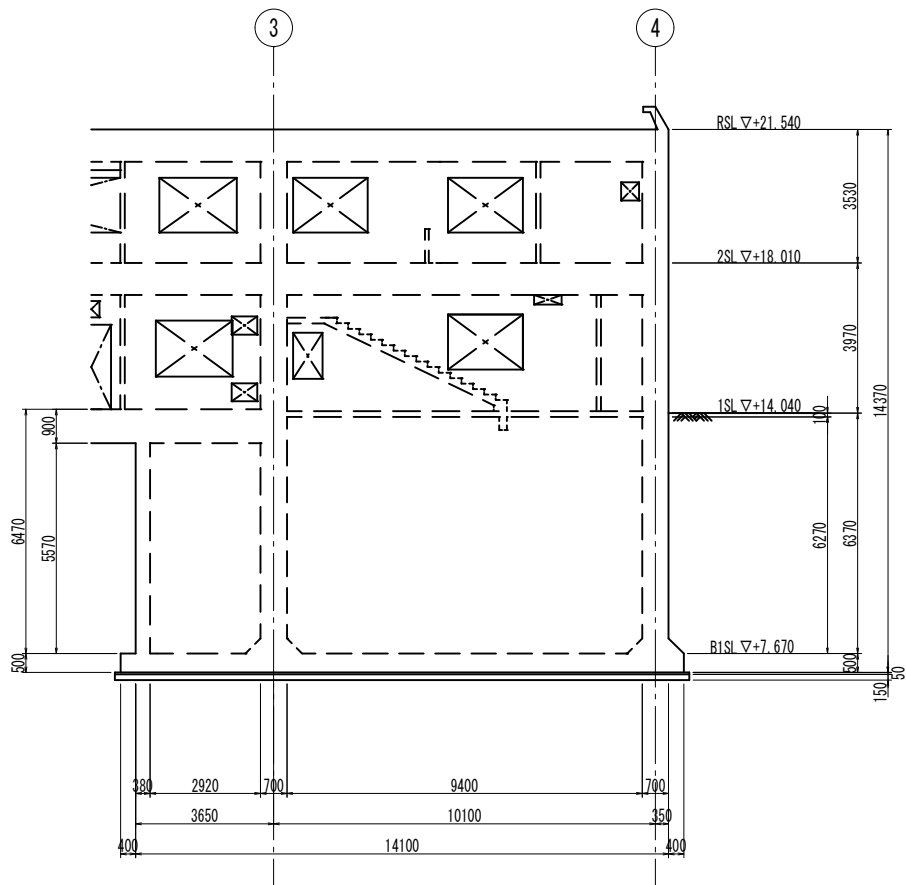
注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと
・後施工せん断補強鉄筋工の範囲は必要範囲を示す
・後施工せん断補強鉄筋工における配筋ピッチの表記は下記による
(壁)
(鉄筋径)@タテ方向×ヨコ方向
(柱、梁)
(本数)-(鉄筋径)@(軸方向)

実 施

| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(9) | | |
| 縮 尺 | 1/100 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-10 |

現況・撤去

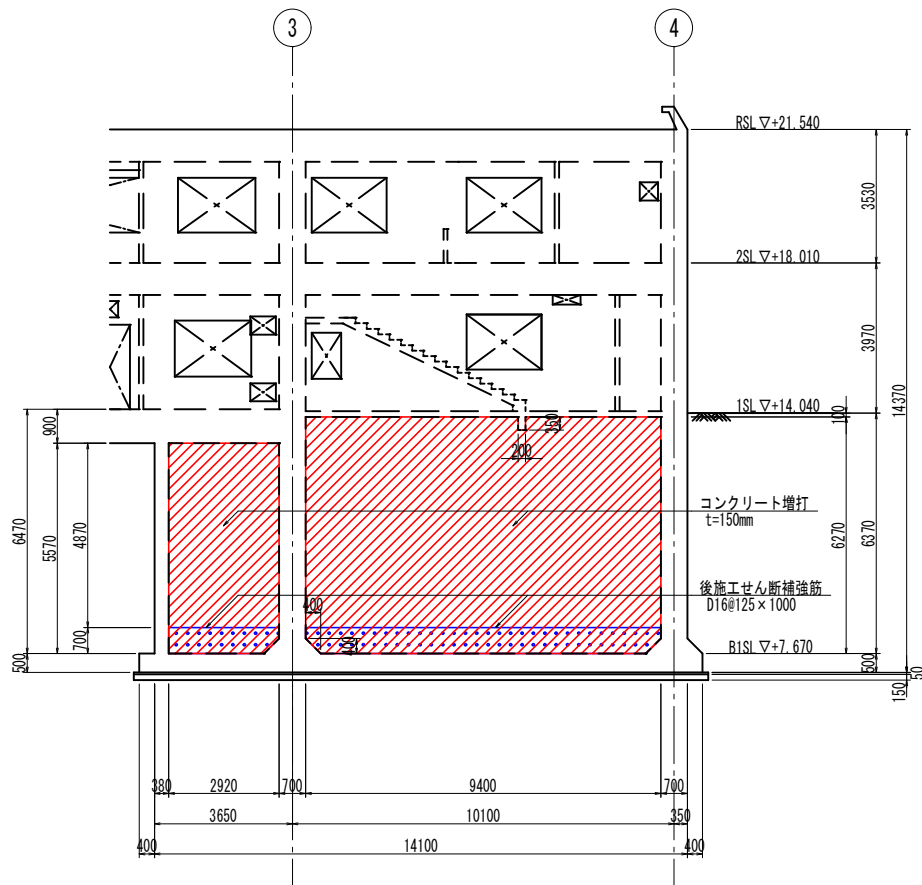
D通り軸組図



注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと

改修後

D通り軸組図



補強工法凡例

- 鉄筋コンクリート増厚工
- 後施工せん断補強鉄筋工

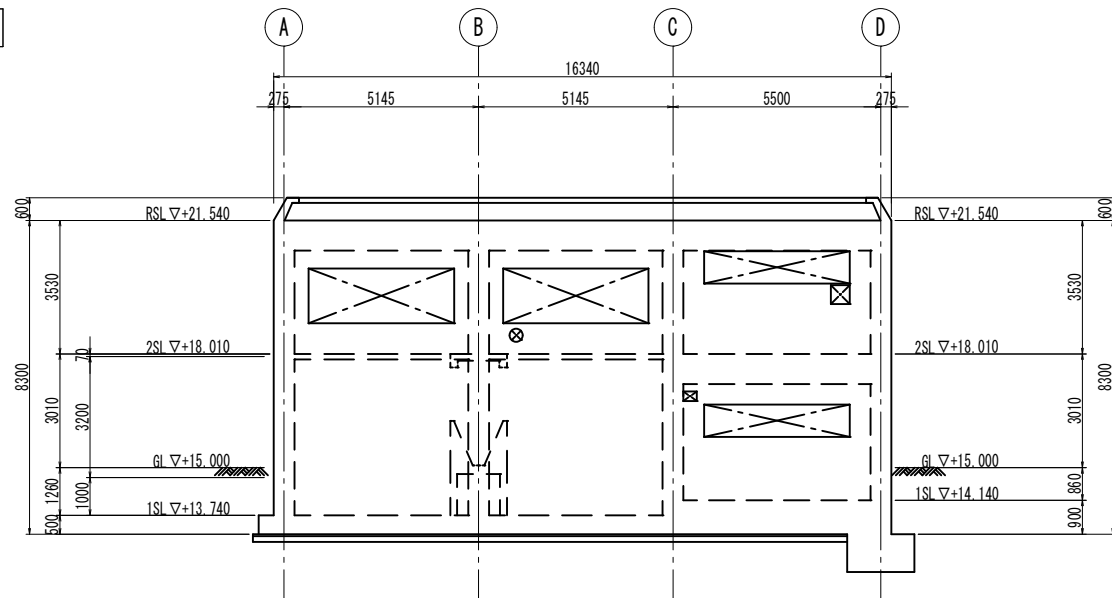
注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと
・後施工せん断補強鉄筋工の範囲は必要範囲を示す
・後施工せん断補強鉄筋工における配筋ピッチの表記は下記による(壁)
(鉄筋径)@タテ方向×ヨコ方向

実 施

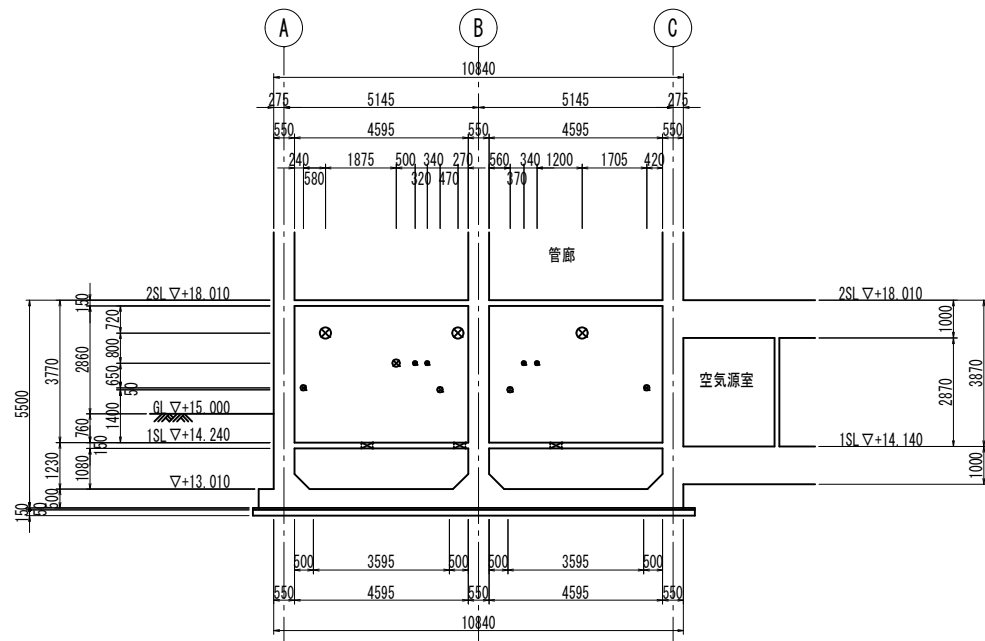
| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(10) | | |
| 縮 尺 | 1/100 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-11 |

1通り軸組図

現況・撤去

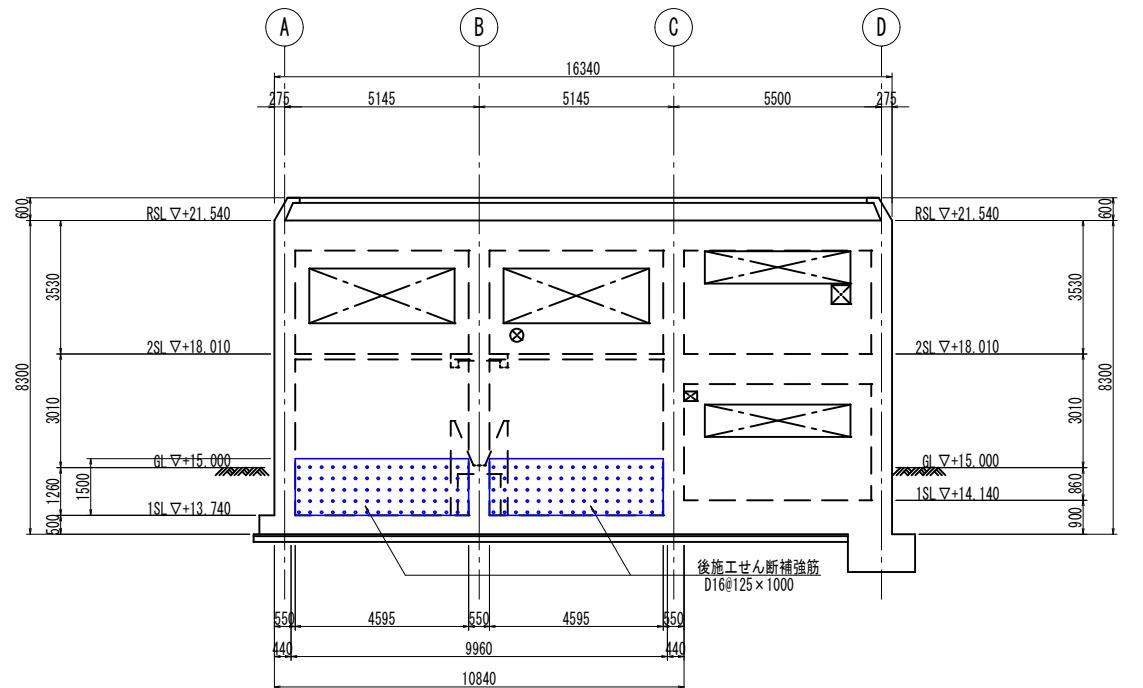


2通り軸組図

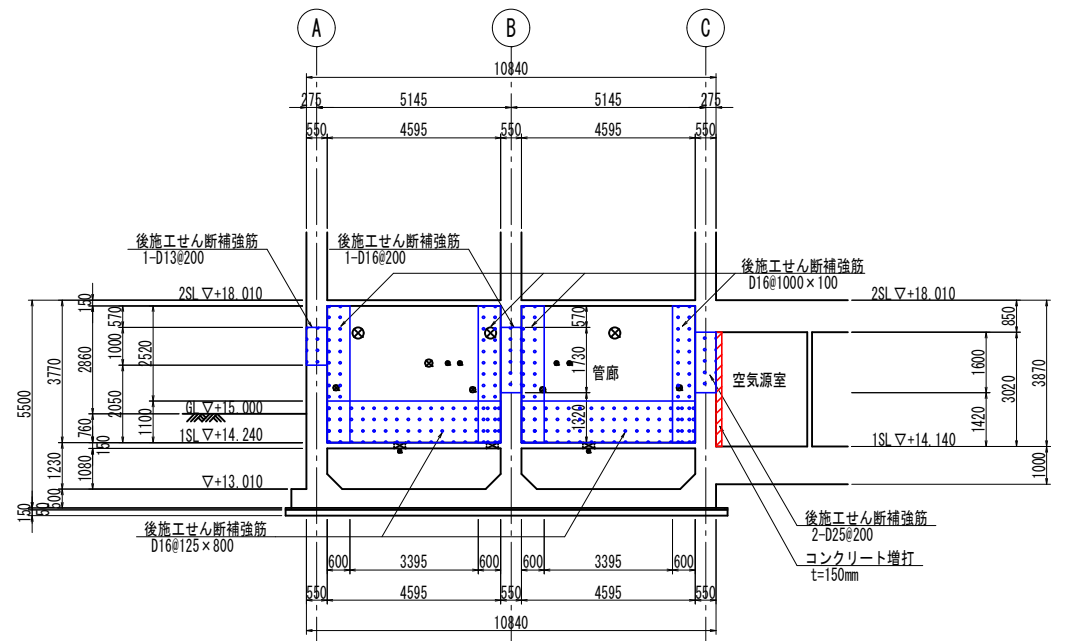


注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと

改修後



2通り軸組図



注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと
・後施工せん断補強鉄筋工の範囲は必要範囲を示す
・後施工せん断補強鉄筋工における配筋ピッチの表記は下記による(壁)
(鉄筋径)@タテ方向×ヨコ方向
(柱)
(本数)-(鉄筋径)@(軸方向)

補強工法凡例

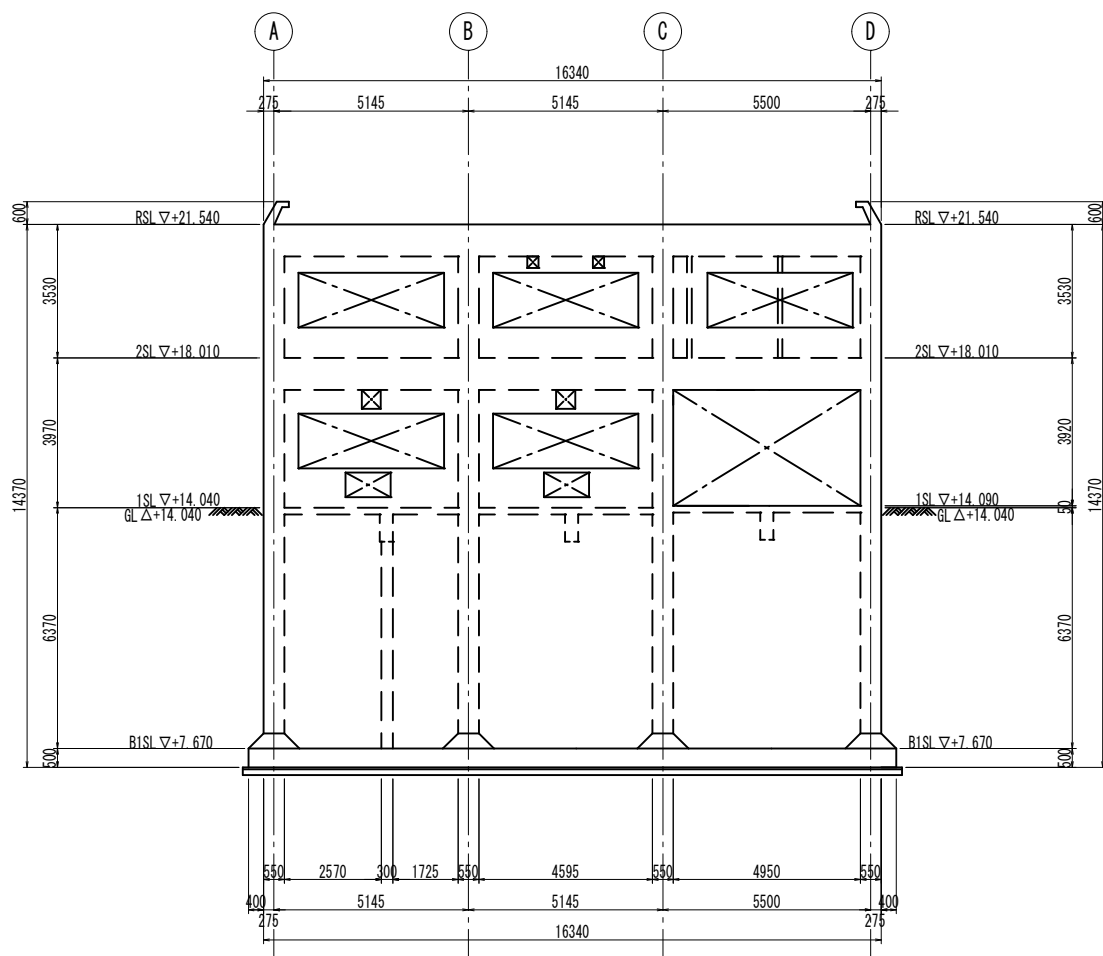
- 鉄筋コンクリート増厚工
- 後施工せん断補強鉄筋工

実 施

| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(11) | | |
| 縮 尺 | 1/100 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-12 |

現況・撤去

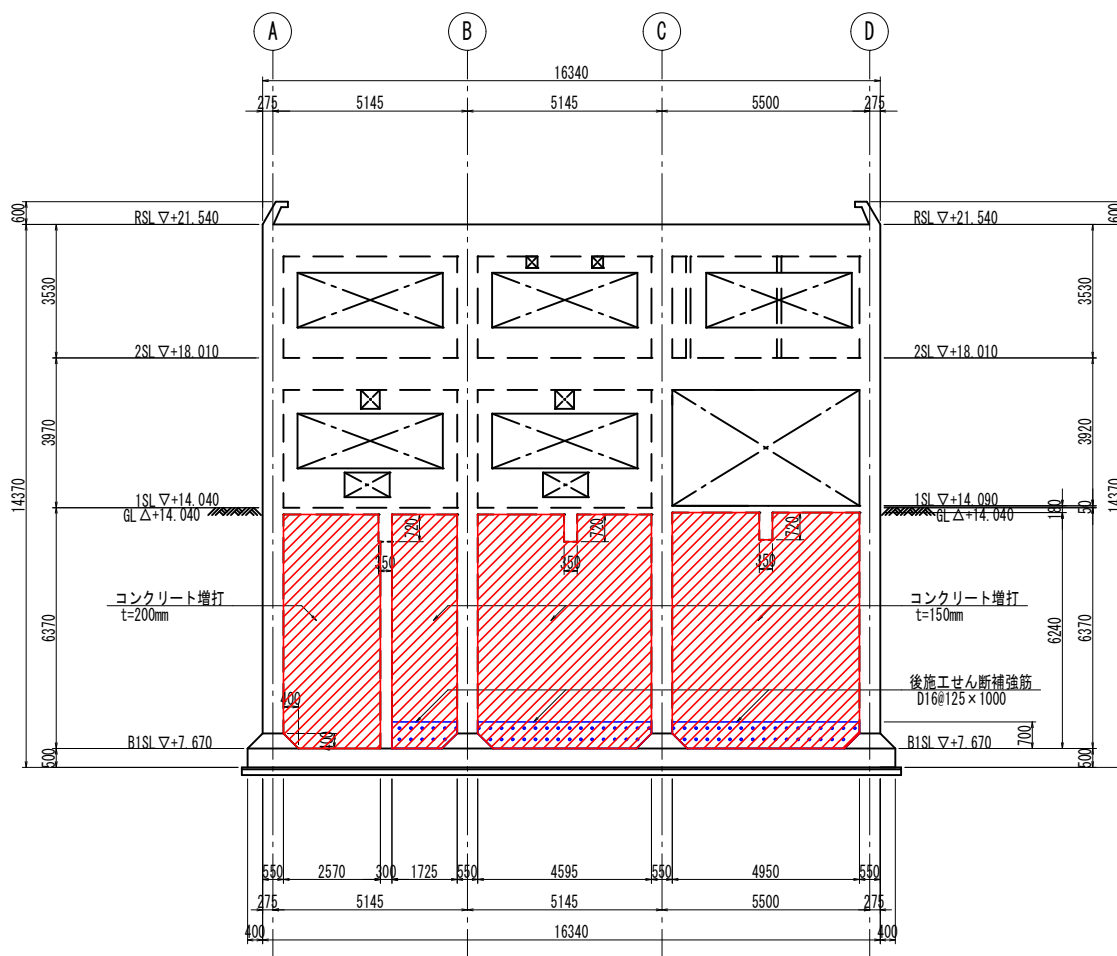
4通り軸組図



注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと

改修後

4通り軸組図



補強工法凡例

- 鉄筋コンクリート増厚工
- 後施工せん断補強鉄筋工

注)
・特記無しはSLを示す
・壁及び床の防水モルタルは施工時に撤去復旧のこと
・後施工せん断補強鉄筋工の範囲は必要範囲を示す
・後施工せん断補強鉄筋工における配筋ピッチの表記は下記による(壁)
(鉄筋径)@タテ方向×ヨコ方向

実 施

| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亘理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強構造図(12) | | |
| 縮 尺 | 1/100 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亘 理 町 | | 図番 | C-13 |

| | | | | |
|--|--------------------|-----------------------------------|---------|--|
| 構造細目共通図(土木構造物) | | | | |
| 令和4年版 | | | | |
| ※本図面は(一社)全国上下水道コンサルタント協会が著作権を有するものである。 使用にあたっては、上記協会への使用願いの提出と、配布番号の記載が必要である。 枠外右下の【協会員番号】と【配布番号】の記載が無い図面は無効とする。 | | | | |
| 1 特記事項 | | | | |
| 1.1 適用範囲 | | | | |
| (1) 本構造細目共通図は、下水道施設における処理場、ポンプ場の土木構造物に適用する。 (2) 図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。 | | | | |
| 1) 土木工事特記仕様書 全国上下水道コンサルタント協会 (別紙による。) 2) 土木工事共通仕様書 国土交通省東北地方整備局 (令和5年版) 3) コンクリート標準示方書・施工編 土木学会 (2017年版) 4) コンクリート標準示方書・設計編 土木学会 (2017年版) | | | | |
| (3) 項目は○印のついたものを適用する。○印のない場合は、※印のあるものを適用する。○印と※印のある場合は、共に適用する。 | | | | |
| 1.2 鉄筋の仕様及び継手 | | | | |
| 鉄筋の種類及び継手は1.1表による。 | | | | |
| 1.1表 鉄筋の種類及び継手 | | | | |
| 鉄筋の種類 | 種別 | 径 | | |
| 鉄筋の継手 | ※SD345・SD390・SD490 | ※D13以上 | | |
| | 重ね継手 | 下記以外 | | |
| | ガス圧接 | ※D19以上の柱、梁主鉄筋 ・D16以上の増設端の床・壁鉄筋 | | |
| | 機械式継手 | ・図面による | | |
| 1.3 コンクリートの仕様 | | | | |
| コンクリートは1.2表による。 | | | | |
| 1.2表 コンクリートの仕様 | | | | |
| 分類 | コンクリート種別 | 設計基準強度(N/mm ²) | スラブ(cm) | セメントの種類 |
| 鉄筋コンクリート | ※普通コンクリート | ※24・30 | ※12 | ※高炉セメントB ・普通ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント |
| 無筋コンクリート | ※普通コンクリート | ※18 | ※12 | ※高炉セメントB ・普通ポルトランドセメント |
| 注1: 無筋コンクリートには均しコンクリートを含む。 | | | | |
| 1.4 砕石基礎工及び均しコンクリート工 | | | | |
| 砕石基礎工及び均しコンクリートは1.3表による。 | | | | |
| 1.3表 砕石基礎工及び均しコンクリート工の仕様 | | | | |
| 種別 | 厚さ(mm) | | | |
| 砂利または砕石 | ※200 | | | |
| 均しコンクリート | ※100 | | | |

| | | | | |
|---|---|------------------|--------|------------------|
| 2 共通事項 | | | | |
| 2.1 用語の定義 | | | | |
| 本構造細目共通図中で使用する用語の定義は、2.1表のとおりとする。 | | | | |
| 2.1表 用語の定義 | | | | |
| 用語 | 説明 | | | |
| 主鉄筋 | 各種限界状態を満足させるために計算し、配置される鉄筋 | | | |
| 配力鉄筋 | 応力を分散させる目的で、通常、主鉄筋に対して直角(スラブ、壁部材の場合)に配置される鉄筋 | | | |
| せん断補強鉄筋 | せん断力に抵抗するように配置される主鉄筋を拘束する鉄筋 | | | |
| 幅止め鉄筋 | はりの水平用心鉄筋、スラブ、壁の主鉄筋あるいは配力鉄筋の厚み方向の間隔を確保するための鉄筋 | | | |
| 2.2 一般注意事項 | | | | |
| 設計図は、監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。 | | | | |
| 3 鉄筋の折曲げ加工 | | | | |
| 鉄筋の折曲げ加工は、3.1表及び3.2表を標準とする。 (1) Dは、折曲げ内法直径を示す。 (2) dは、鉄筋直径(呼び名)を示す。 | | | | |
| 3.1表 鉄筋曲げ加工(1) | | | | |
| 位置 | 曲げ角度 | 折曲げ図及び折曲げ後の余長 | 曲げ内法直径 | 使用箇所 |
| 末端部 | 180° | 4d以上かつ60mm以上 | 5d以上 | 定着末端部 |
| | 135° | 6d以上かつ60mm以上 | 5d以上 | スターラップ、帯鉄筋、フープ筋等 |
| | 90° | 12d以上 | 5d以上 | |
| 中間部 | 90° 135° | 4d以上 | 5d以上 | 梁 |
| | 90° | 100mm | 5d以上 | 壁 幅止め鉄筋 |
| 中間部 | 90° | 100mm | 5d以上 | 床版 底版 |
| | θ<90° | 直交方向に90° | 10d以上 | 折曲げ鉄筋 |
| 3.2表 鉄筋曲げ加工(2) | | | | |
| 位置 | 曲げ角度 | 折曲げ図 | 曲げ内法直径 | 使用箇所 |
| 最上階 | 90° | 20d以上 | 20d以上 | ラーメン隅角部 |
| 一般階 | 90° | 5d以上 | 5d以上 | |

| | | | | | |
|--|--------|----------|----------|----------|----------|
| 4 鉄筋のかぶり及び間隔 | | | | | |
| 4.1 かぶり厚さ | | | | | |
| かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋(幅止め筋を除く)の外面から躯体面までの距離(4.1図)をいう。 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚に許容施工誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。 | | | | | |
| 4.1図 鉄筋のかぶり厚さ | | | | | |
| 4.2 最小かぶり厚さ | | | | | |
| 最小かぶり厚さは、4.1表による。 床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、均しコンクリートの厚さを含まない。 | | | | | |
| 4.1表 鉄筋の最小かぶり厚さ(mm) | | | | | |
| ※ 通常の施工の場合 | | | | | |
| 環境 | 部位 | 床版・スラブ・梁 | 柱・壁 | 底版・フーチング | |
| 大気中 | | 50 | 50 | — | |
| | 水中・土中等 | 50 | 70 | 70 | |
| 塩害対策地域の施工の場合 | | | | | |
| 対策区分 | 環境 | 部位 | 床版・スラブ・梁 | 柱・壁 | 底版・フーチング |
| Ⅰ | 大気中 | | 70 | 70 | — |
| | 水中・土中等 | | | | 70 |
| Ⅱ、Ⅲ | 大気中 | | 50 | 70 | — |
| | 水中・土中等 | | | | 70 |
| 1: 部位により最小かぶり厚さの判断が困難な場合は、監督職員の指示を得る。 2: 杭基礎の底版・フーチング下端筋のかぶり厚さは、7.杭基礎の補強を参照する。 | | | | | |
| (注) 梁: 大梁、小梁、基礎梁、片持梁をいう。 | | | | | |
| 4.3 鉄筋相互のあき | | | | | |
| 鉄筋相互のあき(a)は、下記(1),(2),(3)の最大値以上とする。 なお、柱部材を設ける場合は、構造細目共通図(複合構造物)(2)を参照すること。 (1) 粗骨材の最大寸法の4/3倍 (2) 最小のあき20mm (3) 異形鉄筋の直径(呼び名) | | | | | |
| (注) D: 鉄筋の最外径 d: 鉄筋直径(呼び名) | | | | | |
| 4.2図 鉄筋のあき | | | | | |

| | |
|--|--|
| 5 鉄筋の継手及び定着 | |
| 5.1 鉄筋の継手及び定着 | |
| 5.1.1 継手長及び定着長の基本 | |
| (1) 鉄筋の重ね継手長さは5.1表、定着の長さは、5.2表による。 ①本表の適用は、鉄筋種類SD345、鉄筋径D13~D32とする。 ②定着長は折曲げ加工後の直線部分で確保する。 ③壁、床版、底版の主鉄筋の中心間隔が100mm未満の場合は、別途図示による。 | |

| | | | | | | |
|----------------|---------|--------------------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 5.1表 鉄筋の重ね継手長さ | | | | | | |
| 鉄筋の種類 | 鉄筋径 | 設計基準強度 | S ₁ :重ね継手長 | | | |
| | | | 鉄筋中心間隔200mm以上 フックなし | 鉄筋中心間隔200mm以上 フックあり | 100mm以上200mm未満 フックなし | 100mm以上200mm未満 フックあり |
| | | | 40・d | 30・d | 50・d | 40・d |
| SD345 | D16以下 | 24以上 27未満 (N/mm ²) | 45・d | 35・d | 60・d | 50・d |
| | D19~D22 | | 50・d | 40・d | 65・d | 55・d |
| | D25以上 | | | | | |

| | | | | |
|---------------|---------|--------------------------------------|---------------------|-------|
| 5.2表 鉄筋の定着の長さ | | | | |
| 鉄筋の種類 | 鉄筋径 | 設計基準強度 | S ₂ :定着長 | |
| | | | フックなし | フックあり |
| | | | 40・d | 30・d |
| SD345 | D16以下 | 24以上 27未満 (N/mm ²) | 50・d | 40・d |
| | D19~D22 | | 60・d | 50・d |
| | D25以上 | | | |

| | |
|---|--|
| 5.1.2 継手の特記事項 | |
| (1) 継手は極力応力の小さい位置に設ける。 (2) 異なる径の鉄筋をガス圧接する場合、鉄筋径の差が5mmを超える圧接をしてはならない。 | |

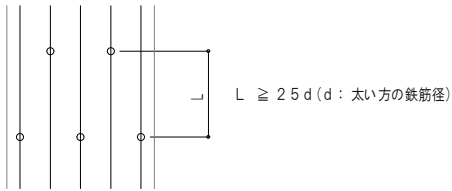
| | |
|---|--|
| 5.2 隣り合う継手の位置 | |
| 5.2.1 鉄筋の重ね継手 | |
| (1) 同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。 (2) ずらす距離(L)は、太い方の鉄筋径の2.5倍以上とする。 (3) 前記(1)を確保できない場合は、監督職員の承諾を得て、ガス圧接継手又は機械式継手工法を採用することができる。 (4) 継手部の鉄筋のあきは、粗骨材の最大寸法以上とする。 | |
| L ≥ 2.5d (d: 太い方の鉄筋径) | |
| ※破線部は、同一平面にある鉄筋の上端と下端とで重ね継手位置を交互にすること、並びに同一断面にある鉄筋では、奥行き方向に重ね継手位置を交互にすることをそれぞれ示す。 | |
| 5.2図 重ね継手工法 | |

| | | | |
|------|-------------------------------------|------|------|
| 実施 | | | |
| 工事名 | 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事(土木) | | |
| 施工地名 | 亘理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図面名 | 構造細目共通図(土木構造物)(1) | | |
| 縮尺 | NONE | 位置 | |
| 設計者 | | 設計年度 | |
| 亘理町 | | 図番 | C-14 |

5.2.2 鉄筋のガス圧接および機械式継手

鉄筋のガス圧接継手及び機械式継手は土木学会「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」(土木学会)による。機械式継手は、ねじふし鉄筋継手工法とする。また、ねじふし鉄筋継手工法以外の機械式継手を採用する場合は、監督職員の承諾を得ること。

- (1) 同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。
(2) ガス圧接の場合のずらす距離(L)は、太い方の鉄筋径の2.5倍以上とする。
(3) 機械式継手のずらす距離(L)は、太い方の鉄筋径の2.5倍以上とする。
(4) 機械式継手をイモ継ぎ部に使用する場合は、継手性能はS A級かつ継手信頼度をI Ⅰとする。



5.3図 ガス圧接継手工法及び機械式継手工法

6 配筋要領

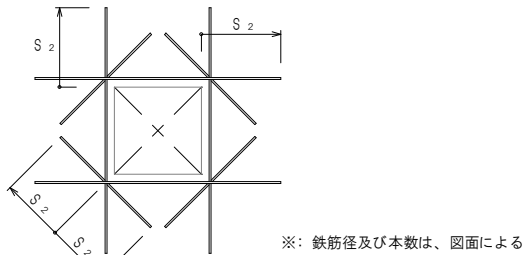
6.1 壁

6.1.1 一般事項

- (1) 壁の鉄筋の継手及び定着は、5.1項及び5.2項に基づくものとする。
(2) 幅止め鉄筋の鉄筋径及び間隔は、図面による。

6.1.2 壁開口部の補強

- (1) 壁開口部の補強は、図面による。補強鉄筋の長さ及び位置は、6.1図を標準とする。

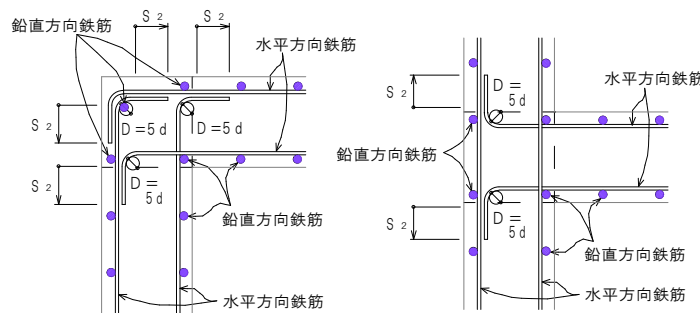


6.1図 壁開口部の補強要領

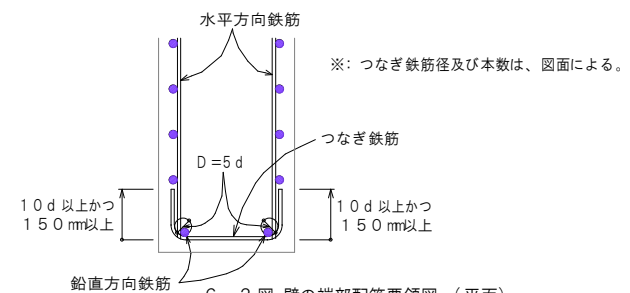
- (2) 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強鉄筋を省略することができる。

6.1.3 壁と壁の交差部及び端部

- (1) 壁と壁の交差部の鉄筋加工要領は、6.2図による。
(2) 壁の端部の鉄筋加工要領は、6.3図による。



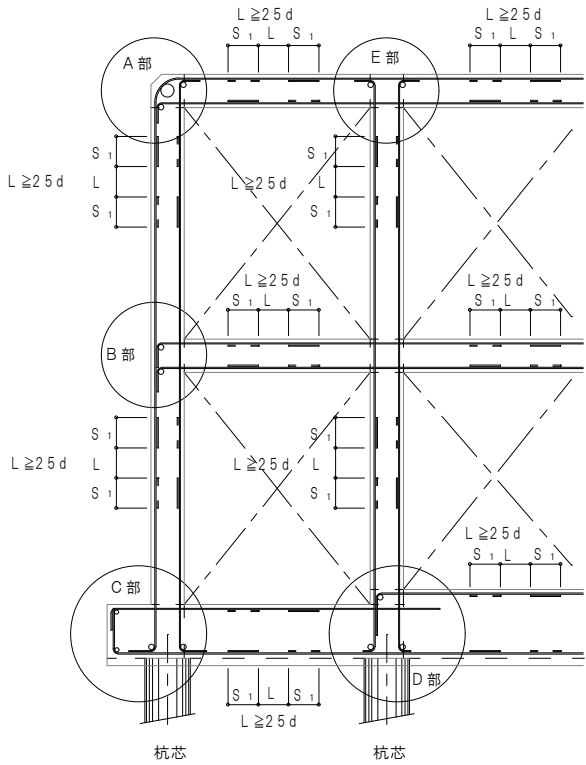
6.2図 壁と壁の交差部配筋要領図(平面)



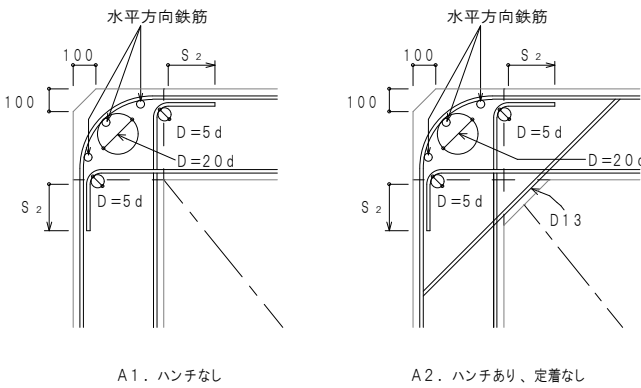
6.3図 壁の端部配筋要領図(平面)

6.1.4 壁と床版・底版の交差部

- (1) 壁と床版の交差部は、6.4図及び6.5図による。

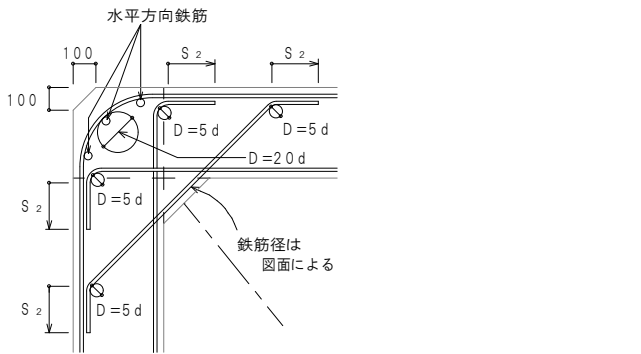


6.4図 壁と床版・底版の交差部配筋要領図(断面)



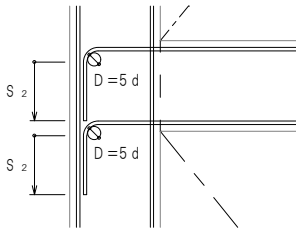
A1. ハンチなし

A2. ハンチあり、定着なし

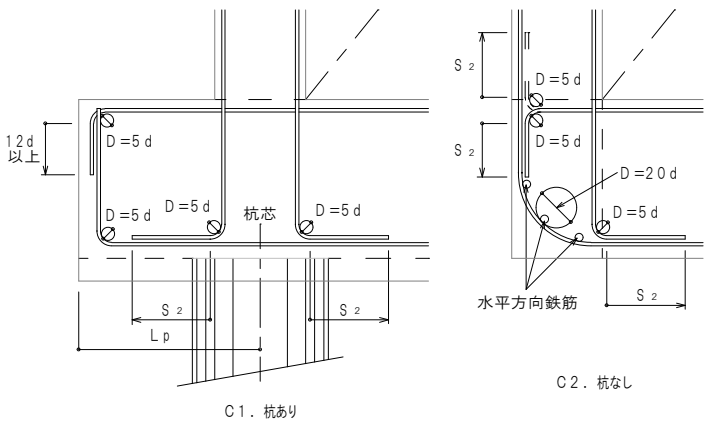


A3. ハンチあり、定着あり

(1) A部詳細図



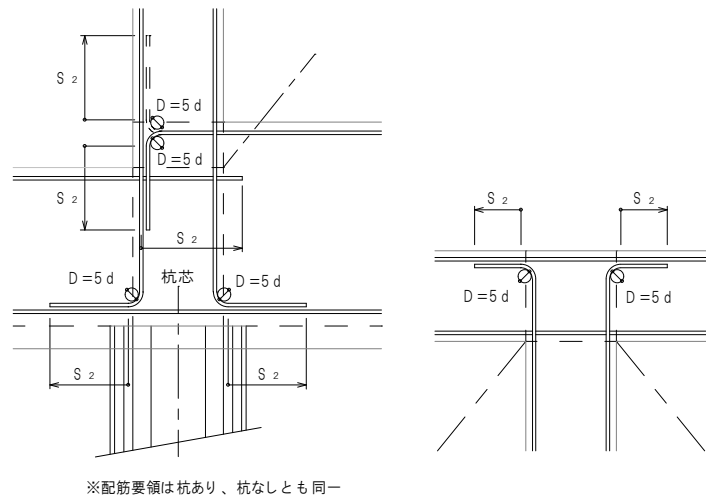
(2) B部詳細図



C1. 杭あり

C2. 杭なし

(3) C部詳細図



※配筋要領は杭あり、杭なしとも同一

(4) D部詳細図

(5) E部詳細図

凡例

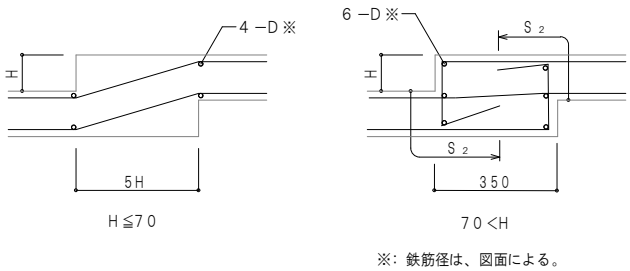
- ・D: 鉄筋の曲げ内法直径
・d: 鉄筋直径(呼び名)
・S₁, S₂: 5.1表のとおりであり、折曲げ加工後の直線長で確保する長さ
注1: A部以外においてハンチを設ける場合は、ハンチ筋についてA部に準じた配筋とする。
注2: ハンチを設ける場合の配筋は、図面に指示がない場合はA2を、図面に指示がある場合はA3を適用する。
注3: C部の杭なしの場合、及びD部において、底版上端筋の曲げ定着は下方に取ることを原則とするが、部材厚等の関係で直線状にS₂定着長が確保できない場合は、上方に取ることによりよいものとする。
注4: L₀は、場所打杭・打ち込み杭・埋め込み杭は1.0D(Dは杭径)以上とする。

6.5図 壁と床版・底版の交差部配筋詳細図(断面)

6.2 床

6.2.1 段差床版の補強

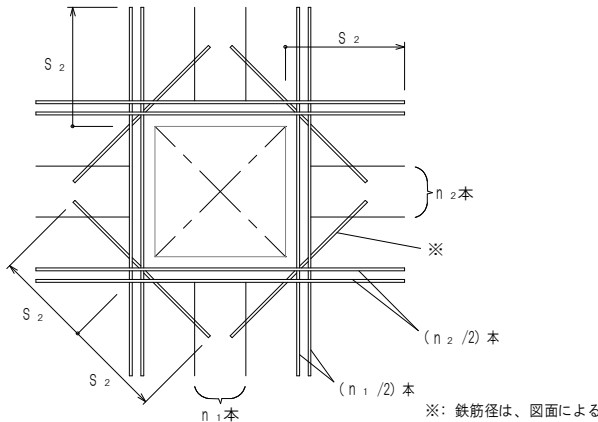
- (1) 同一床版に段差がある場合、6.6図の補強を行う。



6.6図 同一床版に段差がある場合の補強要領図(断面)

6.2.2 床版開口部の補強

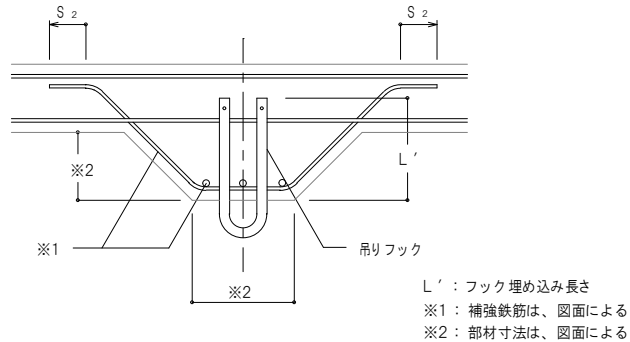
- (1) 床版開口部の補強は開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には斜め方向に主鉄筋径以上の鉄筋を上下筋の内側に配筋する。(6.7図)



6.7図 床版開口部の補強要領図(平面)

- (2) 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強鉄筋を省略することができる。

6.2.3 吊りフックが取り付く場合の補強



6.8図 吊りフック取り付け部補強要領図(断面)

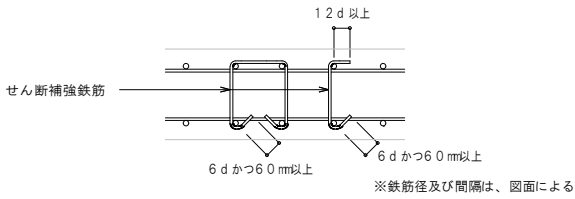
実施

| | | | |
|------|--|------|------|
| 工事名 | 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事(土木) | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字塚下206-6 | | |
| 図面名 | 構造細目共通図(土木構造物)(2) | | |
| 縮尺 | NONE | 位置 | |
| 設計者 | | 設計年度 | |
| 亶理町 | | 図番 | C-15 |

6.3 せん断補強鉄筋

6.3.1 底板・床版

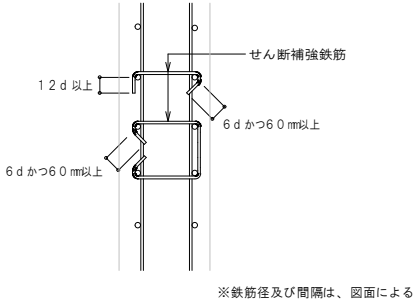
(1) 底板・床版のせん断補強要領は6.9図及び6.11図による。



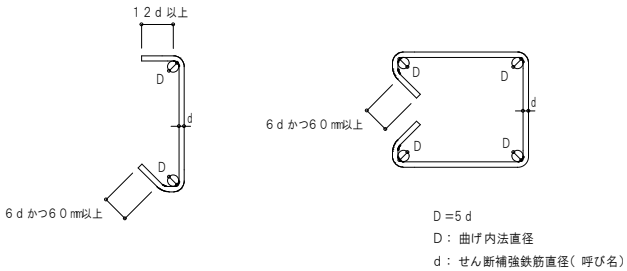
6.9図 底板・床版せん断補強要領図(断面)

6.3.2 壁

(1) 壁のせん断補強要領は、6.10図及び6.11図による。



6.10図 壁せん断補強要領図(断面)



6.11図 せん断補強鉄筋加工要領図(断面)

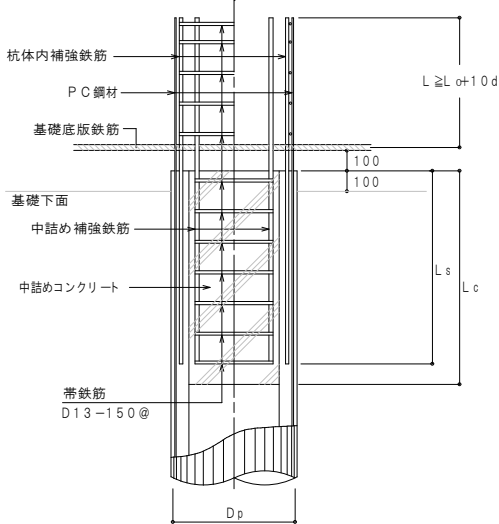
6.4 柱及び梁

柱及び梁を設ける場合の配筋要領は、図面による。

7 杭基礎の補強

7.1 一般事項

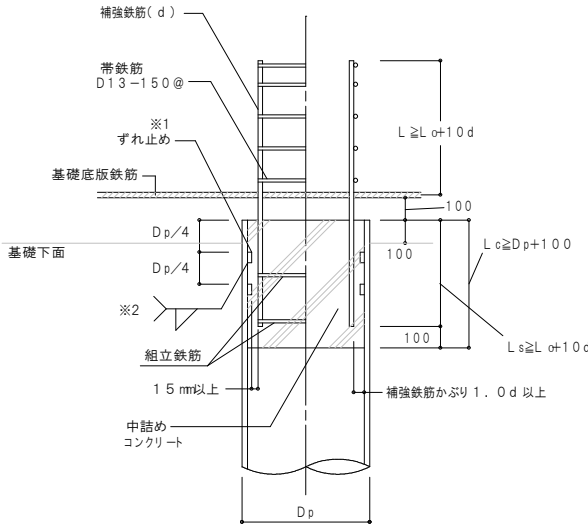
- (1) 補強鉄筋にSD390またはSD490を用いる場合、中詰めコンクリート及び補強鉄筋が定着する基礎底板コンクリートの設計規準強度を30N/mm以上とする。
- (2) 鉄筋種別、径・本数は、図面による。
- (3) 杭基礎の補強鉄筋の定着長Lは、SD345及びSD390では35d以上、SD490では41d以上とする。
- (4) 杭頭補強鉄筋が底板厚より長くなる場合は、7.6図による。
- (5) 杭体内補強鉄筋は必要に応じ配置する。



| 杭頭処理形態 | Type B | |
|------------|--------|--|
| | 鉄筋 | $L_s \geq 50\phi + L_\sigma + 10d$ |
| カットオフする場合 | コンクリート | $L_c \geq 2.5D_p + 100$ 、かつ $50\phi + L_\sigma + 10d + (\text{かぶり} 100)$ |
| | 鉄筋 | $L_s \geq L_\sigma + 10d$ |
| カットオフしない場合 | コンクリート | $L_c \geq 2.5D_p + 100$ 、かつ $L_\sigma + 10d + (\text{かぶり} 100)$ |

注1. ϕ は、PC鋼材径とする。

7.1図 PHC杭の杭頭補強



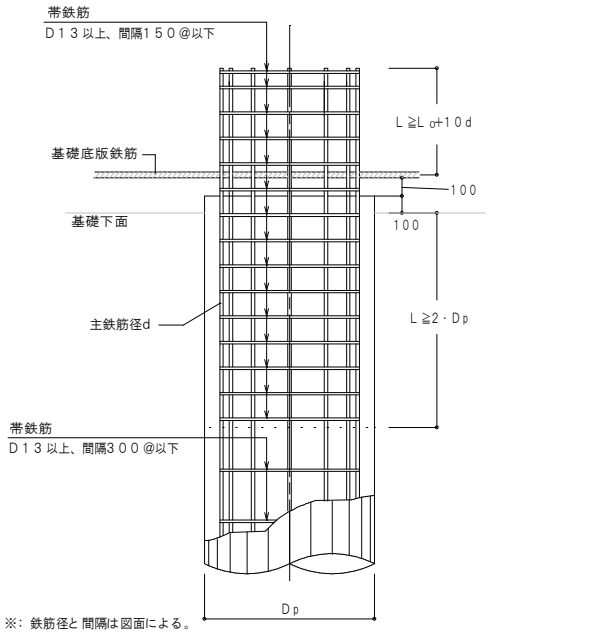
- ※1: ずれ止めの大きさは、7.1表による。
- ※2: 全周現場すみ肉溶接

7.2図 鋼管杭の杭頭補強

7.1表 杭体内外ずれ止めプレート の肉厚

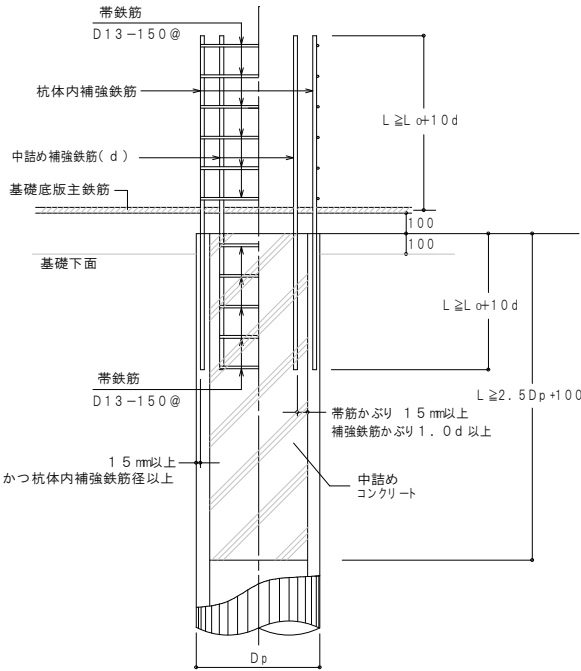
| 杭 径 (D _p) | ずれ止め厚さ |
|------------------------------|--------|
| D _p < 800 | 9 |
| 800 ≤ D _p < 1200 | 12 |
| 1200 ≤ D _p < 1500 | 16 |

※材質はSS400

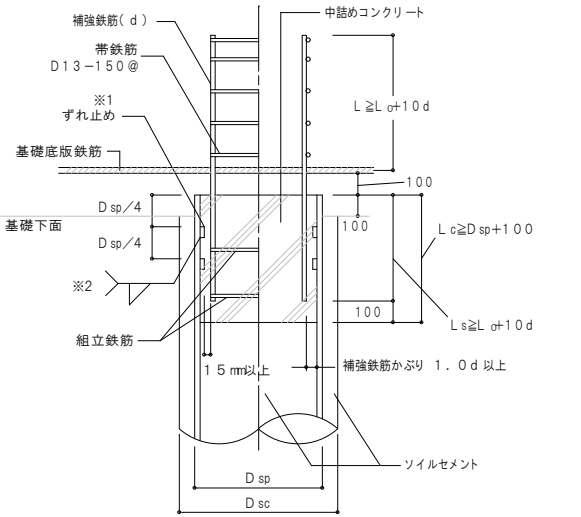


※: 鉄筋径と間隔は図面による。

7.3図 場所打ち杭の杭頭補強

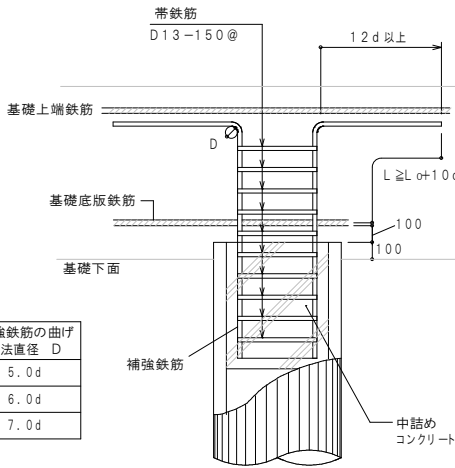


7.4図 SC杭の杭頭補強



- ※1: ずれ止めの大きさは、7.1表による。
- ※2: 全周現場すみ肉溶接

7.5図 鋼管ソイルセメント 杭の杭頭補強

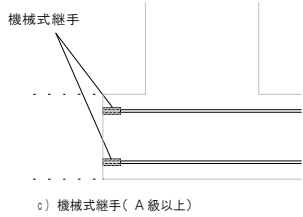
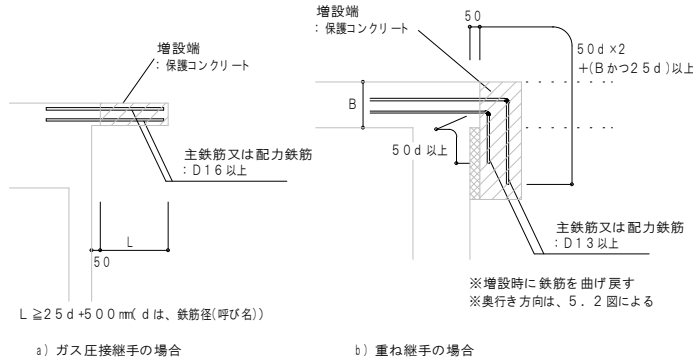


7.6図 杭頭補強鉄筋が底板厚より長くなる場合の杭頭補強

8 増設予定端

8.1 増設予定端の配筋

- (1) 増設端鉄筋の継手工法は、D16以上をガス圧接、D13を重ね継手とすることを原則とし、8.1図のa)、b)による。部材寸法及び鉄筋の径と間隔は図面による。
- (2) 増設端の鉄筋を保護するコンクリート 強度は18N/mmとする。
- (3) D13以上の鉄筋について機械式継手を用いる場合は、8.1図のc)による。機械式継手の仕様は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」(土木学会)によるものとし、継手部の詳細及び継手単体に必要な特性を図面に示す。



※鉄筋径は図面による。
※機械式継手は、D13以上を対象とする。
※機械式継手をイモ継ぎに使用する場合は、構造計算書等により当該箇所に塑性ヒンジが発生しないことを確認する必要がある。施工上やむを得ず機械式継手によるイモ継ぎとなる場合は、継手部が所要の耐震性を有していることを、適切な実験や解析等で照査しなければならない。詳細は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」(土木学会)による。

8.1図 増設予定端配筋要領図(断面)

実 施

| | | | |
|-------|-------------------------------------|------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事(土木) | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 構造細目共通図(土木構造物)(3) | | |
| 縮 尺 | NONE | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-16 |

9 耐震補強

9.1 適用範囲

(1) 本構造細目共通図は、下水道施設における処理場、ポンプ場の土木構造物の耐震補強に適用する。

(2) 図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

| | | |
|---|-----------------|-----------|
| 1) 土木工事特記仕様書 | 全国上下水道コンサルタント協会 | (別紙による。) |
| 2) 土木工事共通仕様書 | 国土交通省**地方整備局 | (令和 年版) |
| 3) コンクリート標準示方書・施工編 | 土木学会 | (2017年版) |
| 4) コンクリート標準示方書・構造性能照査編 | 土木学会 | (2002年版) |
| 5) 官庁施設の総合耐震診断・改修基準及び同解説 | 建築保全センター | (平成 8 年版) |
| 6) 鉄筋定着・継手指針 | 土木学会 | (2020年版) |
| 7) 2017年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針・同解説 | 日本建築防災協会 | (2017年版) |
| 8) あと施工アンカー連続繊維補強設計・施工指針 | 国土交通省 | (2006年版) |

9.2 鉄筋の仕様及び継手

鉄筋の種類及び継手は9.2表による。

| 9.2表 鉄筋の種類及び継手 | | |
|----------------|----------|--|
| 種別 | 径 | |
| 鉄筋の種類 | ※SD345 | ※D13以上 |
| 鉄筋の継手 | 重ね継手 | 下記以外 |
| | ※1) ガス圧接 | ・D19以上の柱、梁主鉄筋 ・D16以上の増設端の床・壁鉄筋 ・ |
| | フレアー溶接 | ・D13以上 |
| | 機械式継手 | ・図面による |

※1) 既存の鉄筋種別がSR235、295及びSD295Aの場合は、SD材との継手にガス圧接を使用してはならない。

9.3 鉄筋の継手長及び定着長

SD345以外の鉄筋との継手長・定着長については図面による。

9.4 あと施工アンカー(接着系)

(1) アンカー径は、D13以上、D22以下とする。

(2) アンカーの打設は、増設壁が接合する四周の柱、梁に行うことを原則とする。

(3) アンカーの埋め込み・定着長さを9.4表に示す。

(ナット付き)

(ナットなし)

L : コンクリートの穿孔深さ、または接着系アンカーの埋め込み長さ
Le: アンカーの有効埋め込み長さ
Ld : アンカー筋の全長
Ln: 有効定着長さ
Da: 既存コンクリート躯体への穿孔径
da : アンカー軸部の直径、アンカー筋の呼び名
Si: 補強筋との継手長

9.4.1図 あと施工アンカー埋め込み・定着図

9.4表 あと施工アンカー埋め込み・定着長さ

| 区分 | 位置 | 用途 | 長さ | 備考 |
|--------------|-------|---------|---------|------------|
| 有効埋め込み長 (Le) | 一般部 | 曲げモーメント | 12・da | 先端形状45°カット |
| | | せん断力 | 7・da | |
| | 開口補強部 | 曲げモーメント | 12・da | |
| | | せん断力 | 10・da | |
| 有効定着長 (Ln) | 一般部 | - | 20・da | ナットあり |
| | 開口補強部 | - | Si+5・da | ナットなし |

(あと施工アンカーの位置と間隔)

(a) シングル配置

(b) ダブル配置

(c) 千鳥状配置

(d) 断面配置

9.4.2図 あと施工アンカー配置図

9.5 新設補強壁

(1) 新設補強壁の配筋は9.5図を標準とする。

(2) 新設部と接する既存の壁面には目荒しを施す。

(3) あと施工アンカーは接着系とし、開口補強部を除き、アンカー筋はナット付きとする。

(4) 新設壁の頂部200mm以上は、無収縮モルタル圧入とする。

9.5図 新設補強壁要領図

9.6 増打ち補強壁ほか

(1) 増打ち補強壁の配筋は9.6図を標準とする。

(2) あと施工アンカーは接着系とし、開口補強部を除き、アンカー筋はナット付きとする。

(3) 増打ち部と接する既存の壁面を目荒しするほか、新旧の壁面にジベル筋を設けるものとし、配置間隔は図面による。

(4) 増打ち壁の頂部200mm以上は、無収縮モルタル圧入とする。

(5) 梁下端部や垂れ壁下端部の施工では、コンクリートのブリーディングや沈下を考慮して、打継目が一体となるように留意する。

9.6図 増打ち補強壁要領図

9.7 開口閉塞

(1) 既存壁と増設壁との接合は、開口周囲のコンクリートをはつり、鉄筋同士をフレア溶接で行う。

(2) 閉塞部分が既存梁、柱と接する部位は全てあと施工アンカーで接合する。

(3) 閉塞部分の頂部200mm以上は、無収縮モルタル圧入とする。

9.7図 開口閉塞要領図

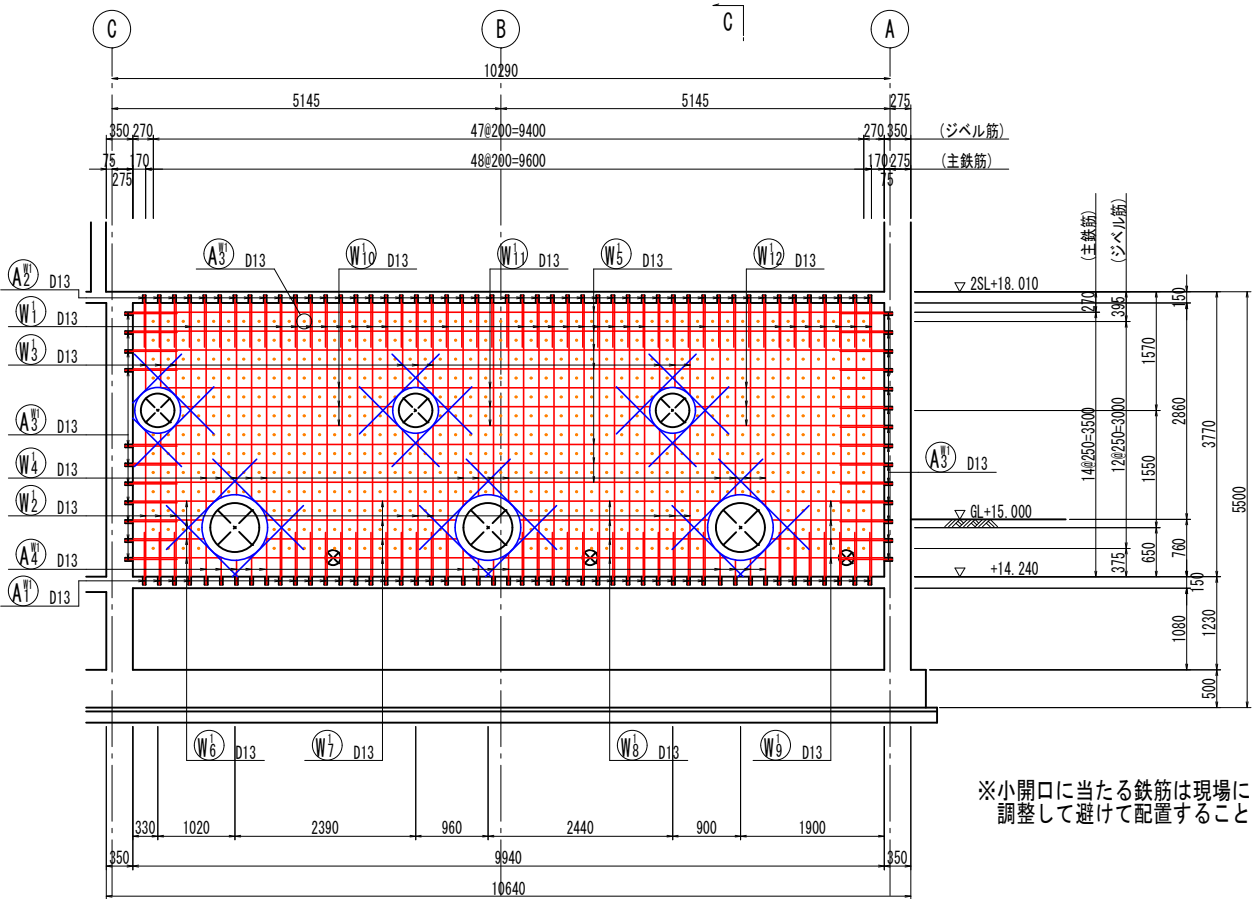
9.8 フレア溶接

(1) 特記なき鉄筋のフレア溶接の継手形状を9.8図に示す。(詳細は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」(土木学会)による。)

(2) 継手長さは鉄筋径の10倍とし、回し溶接は行わない。

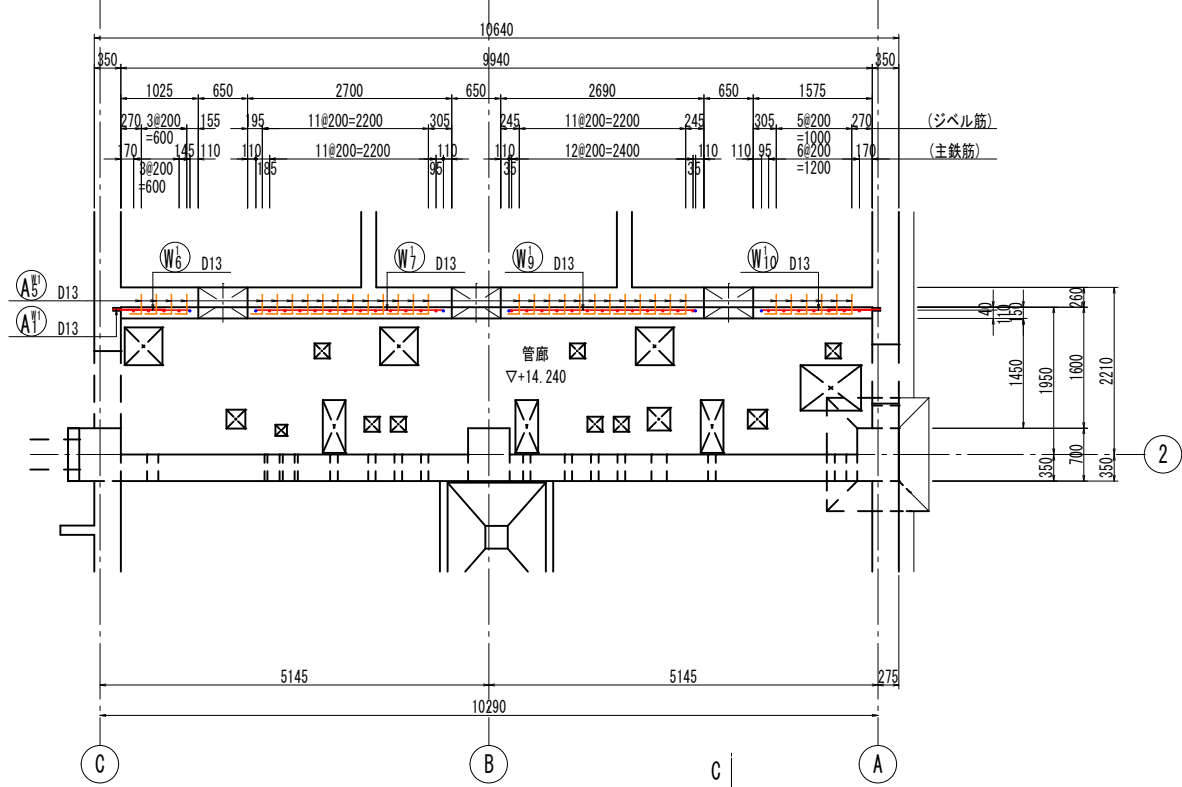
| 実施 | | | | |
|------|-------------------------------------|----|------|------|
| 工事名 | 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事(土木) | | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | | |
| 図面名 | 構造細目共通図(土木構造物)(4) | | | |
| 縮尺 | NONE | 位置 | | |
| 設計者 | | | | 設計年度 |
| 亶理町 | | 図番 | C-17 | |

A-A展開図

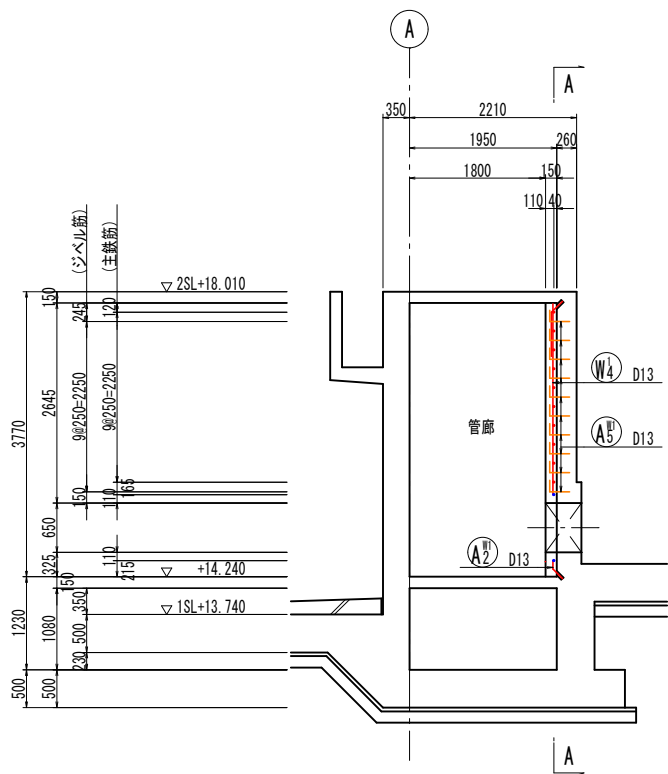


※小開口に当たる鉄筋は現場にて調整して避けて配置すること

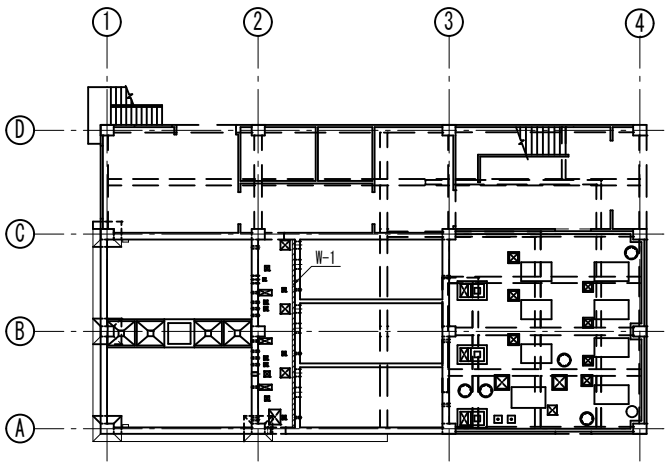
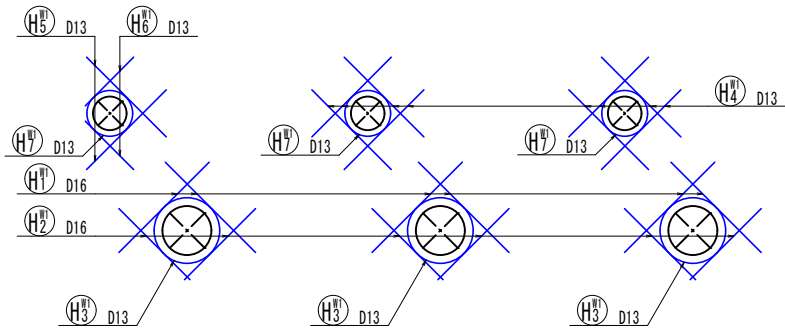
B-B断面図



C-C断面図



開口補強筋



KEYPLAN

実 施

特記1: 既設鉄筋位置は十分に探査し確認すること。
特記2: 既設鉄筋被りは現地調査により確認すること。
特記3: 後施工せん断補強鉄筋工は既存設備、既設躯体、既設開口に支障の無いよう配置すること。

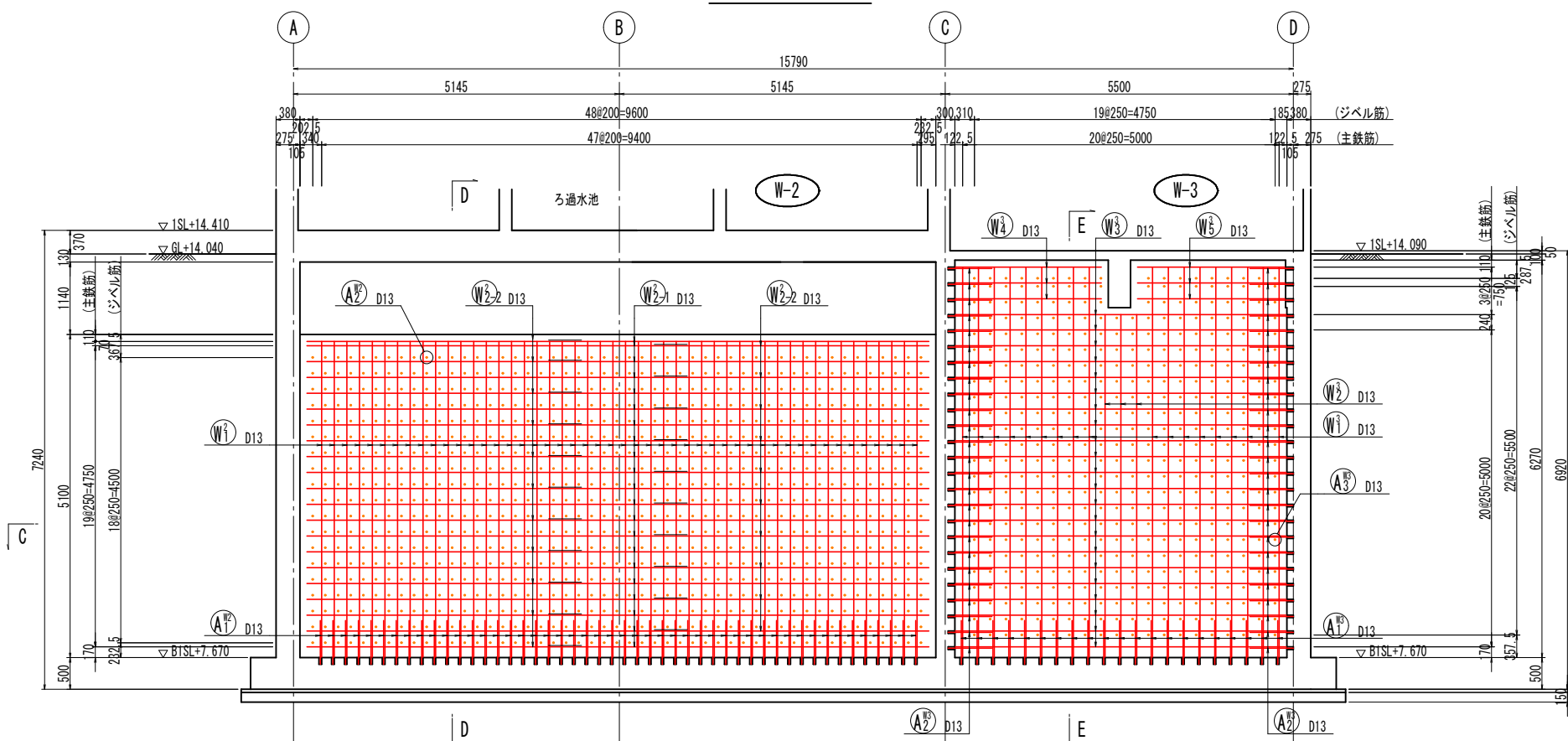
| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(1) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-18 |

田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(2)

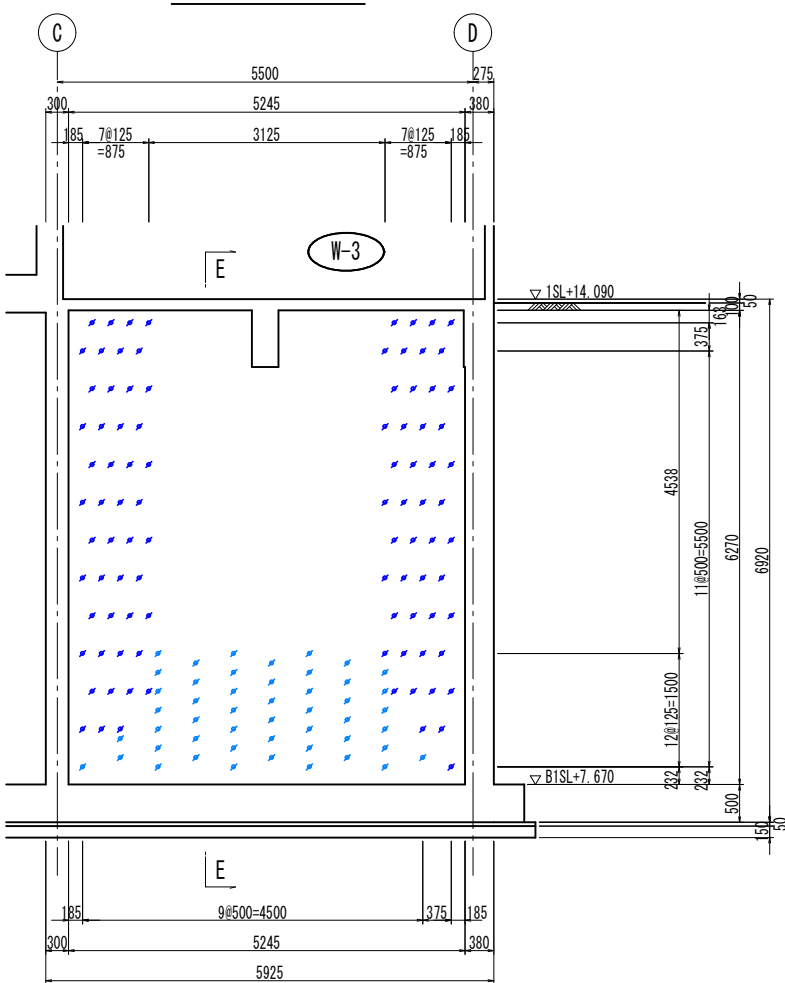
S=1/50

(W-2~W-3)

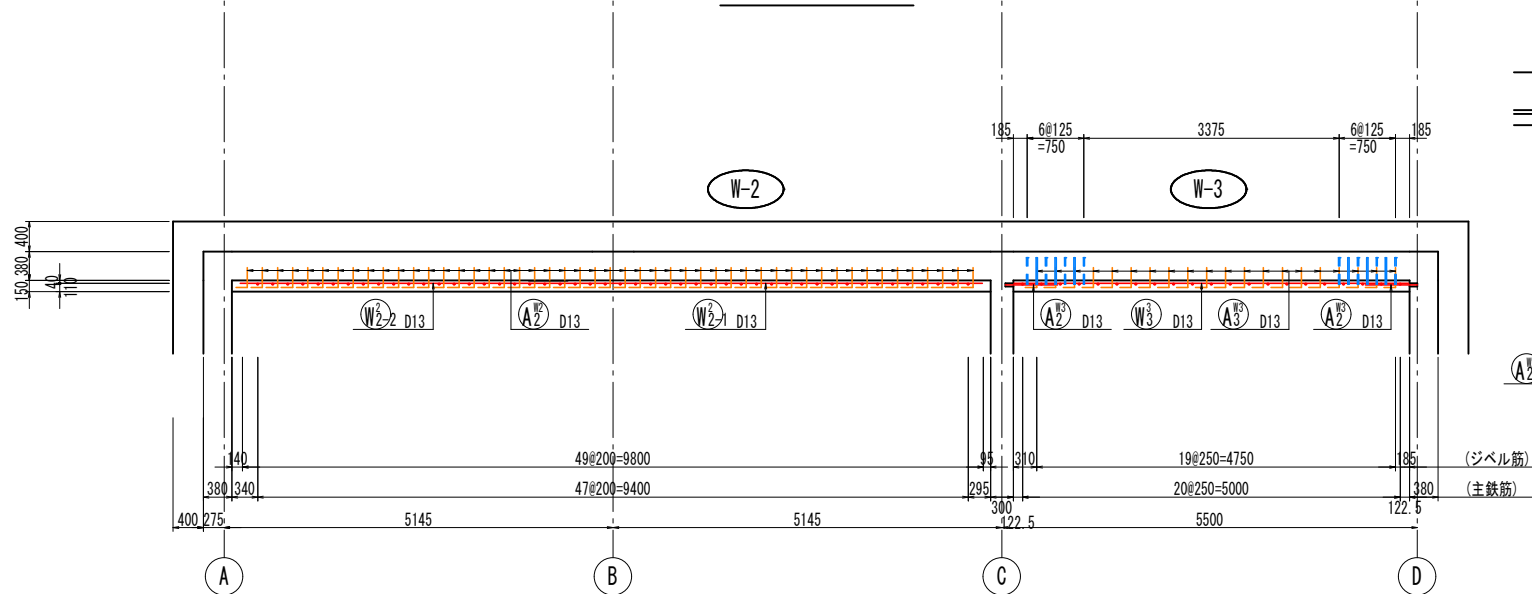
A-A展開図



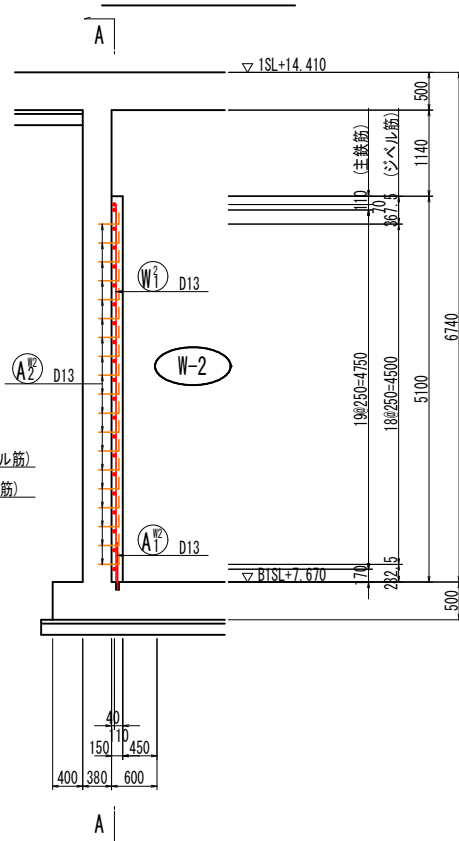
B-B展開図



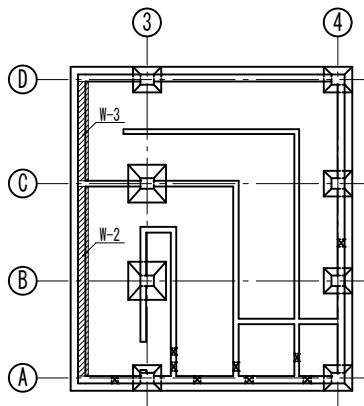
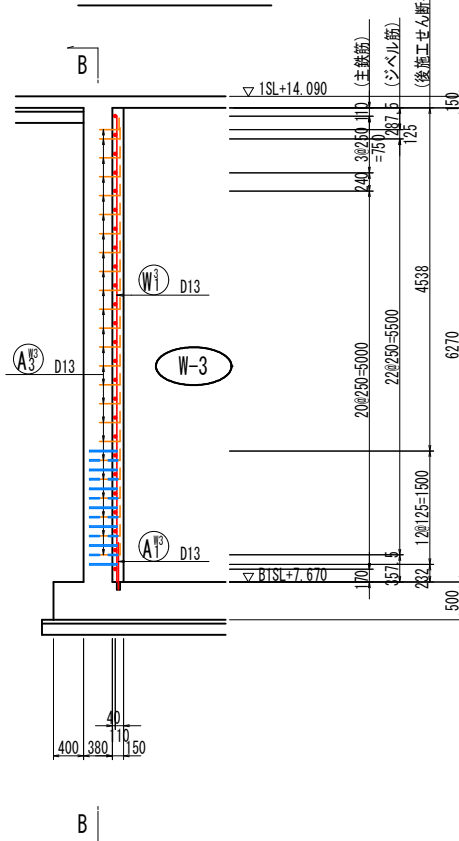
C-C断面図



D-D断面図



E-E断面図



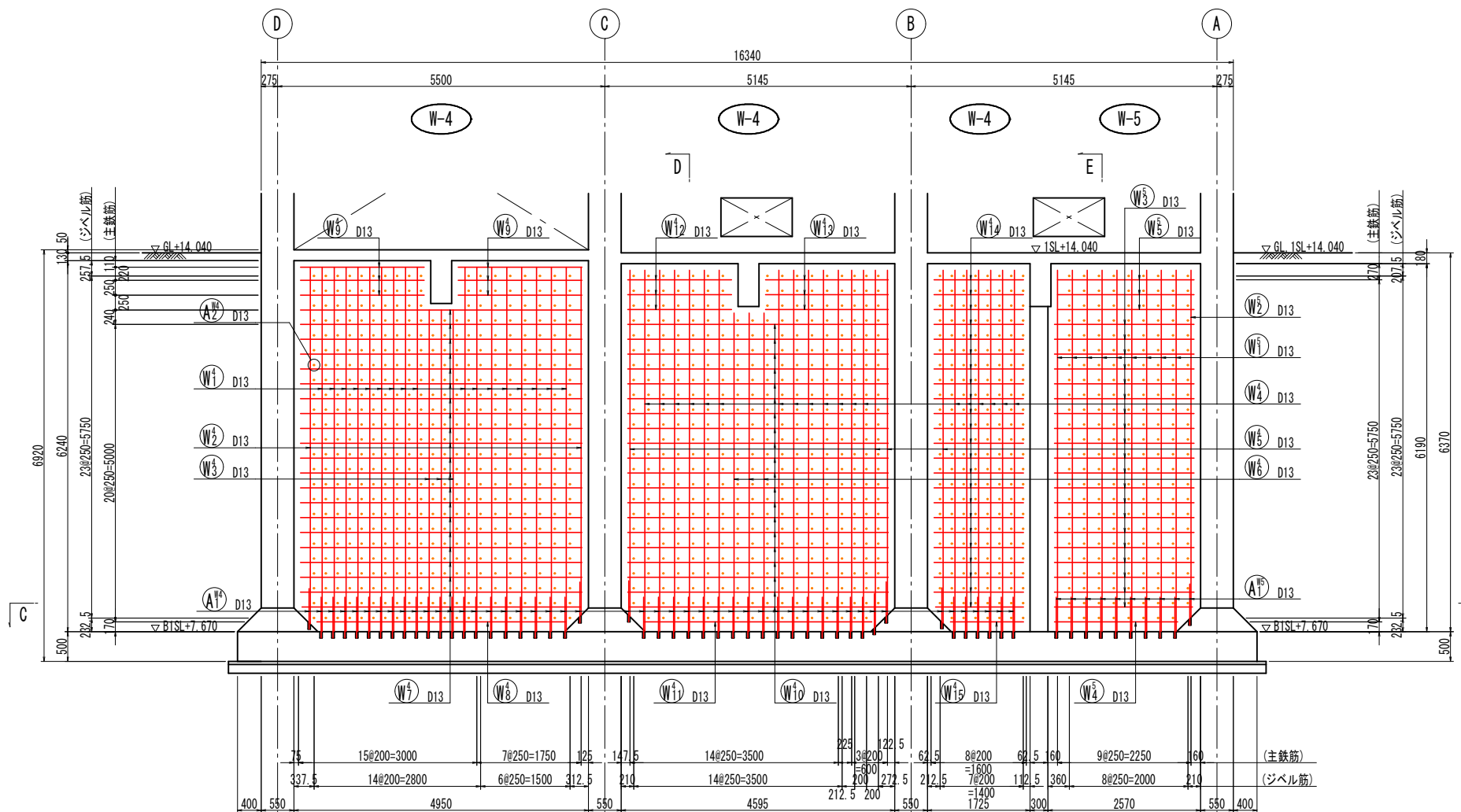
KEYPLAN

実 施

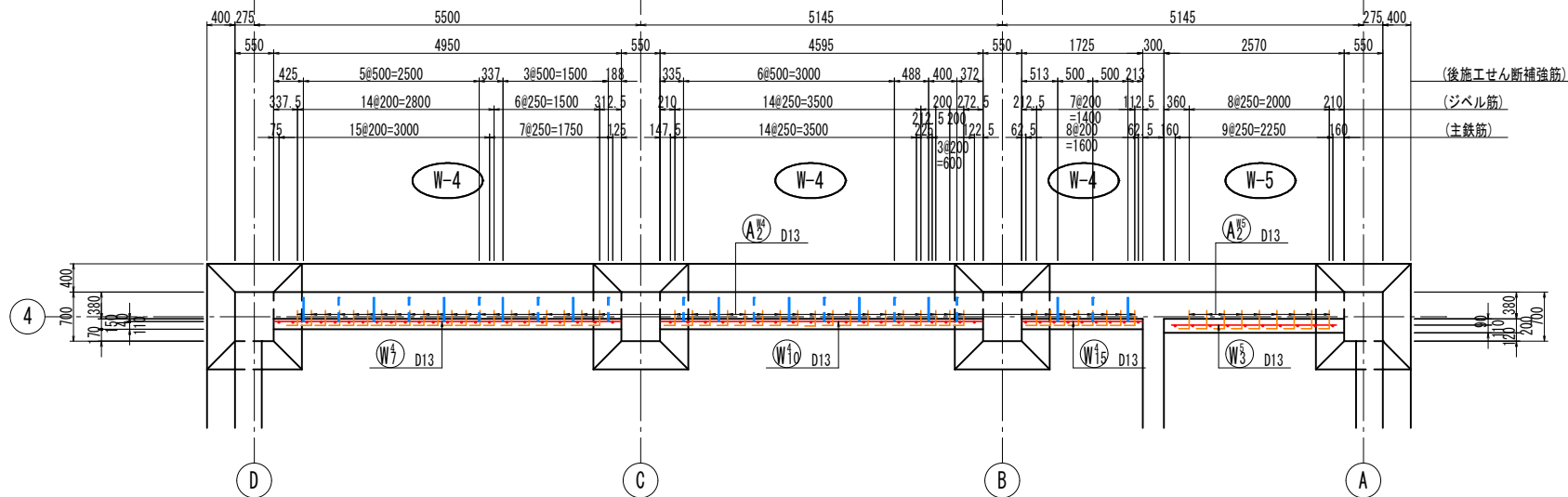
特記1: 既設鉄筋位置は十分に探査し確認すること。
特記2: 既設鉄筋被りは現地調査により確認すること。
特記3: 後施工せん断補強鉄筋工は既存設備、既設躯体、既設開口に支障の無いよう配置すること。

| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 互理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(2) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 互 理 町 | | 図番 | C-19 |

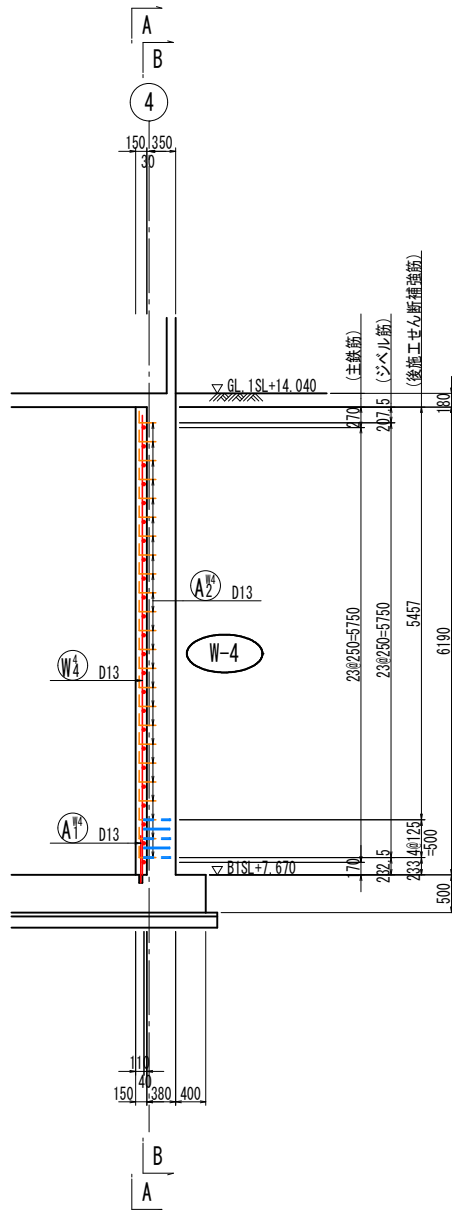
A-A展開図



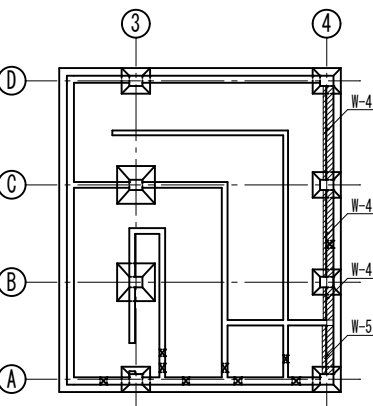
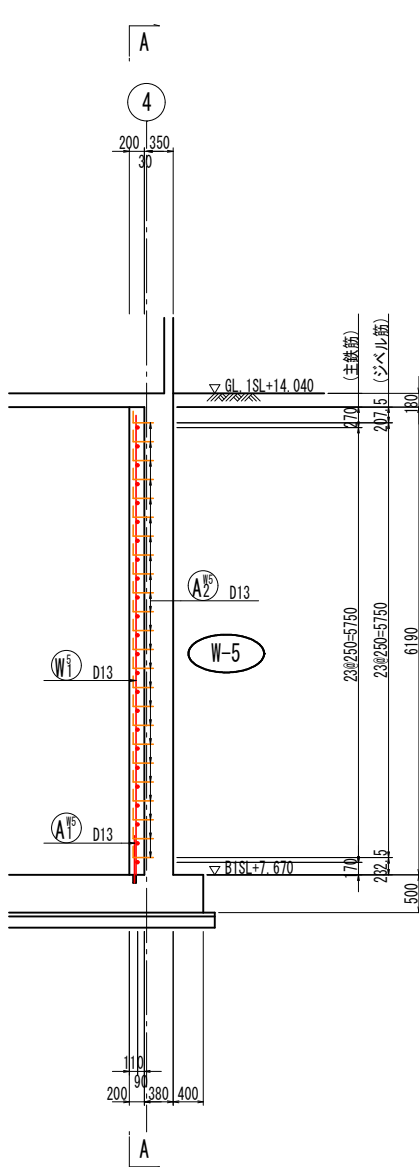
C-C断面図



D-D断面図



E-E断面図



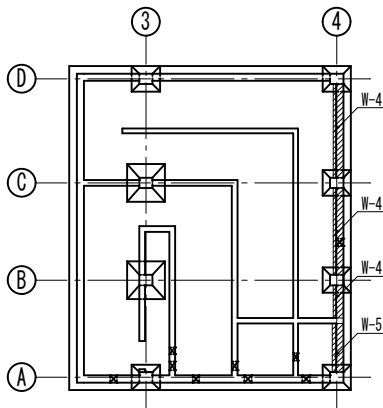
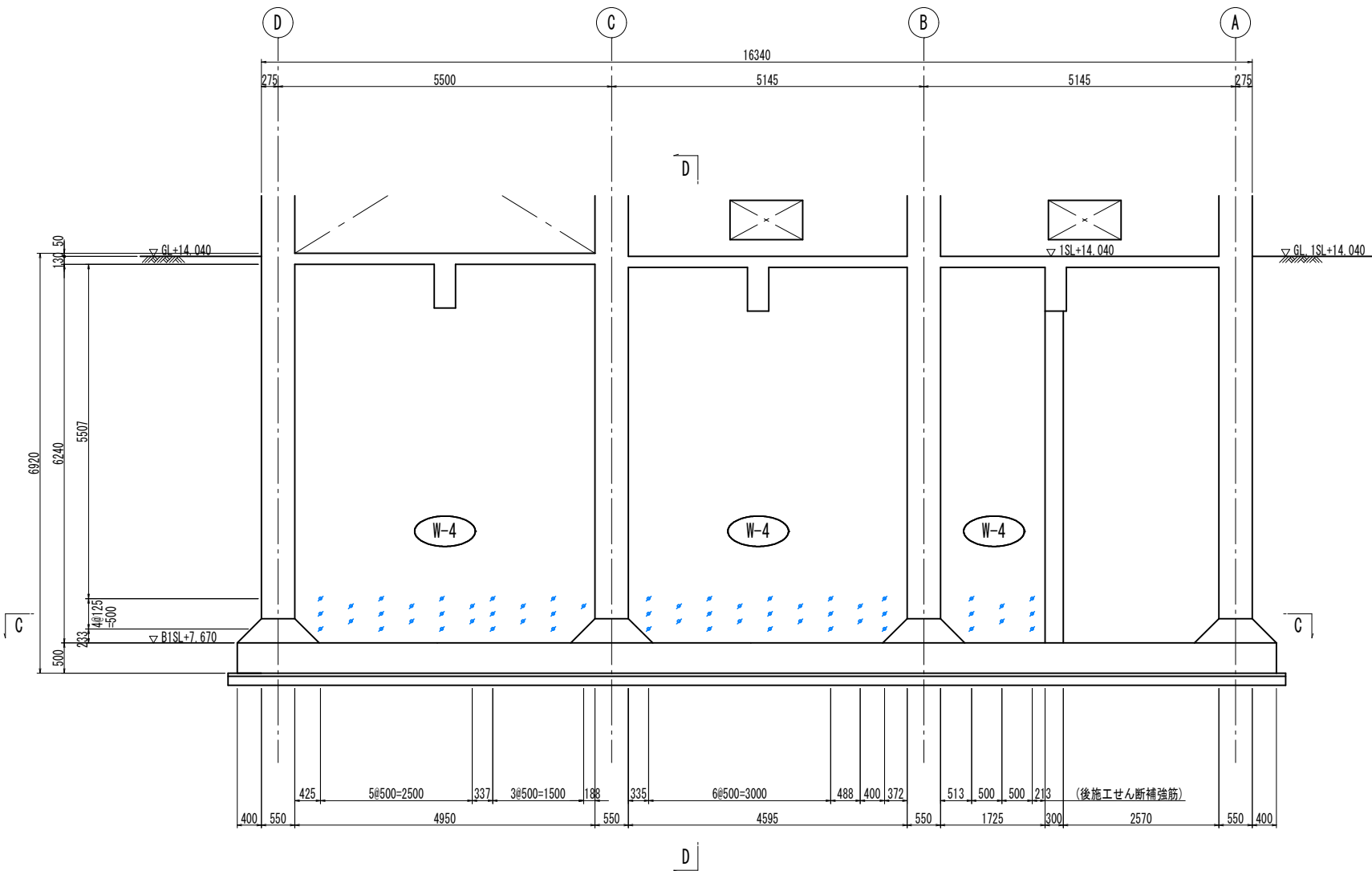
KEYPLAN

特記1: 既設鉄筋位置は十分に探査し確認すること。
特記2: 既設鉄筋被りは現地調査により確認すること。
特記3: 後施工せん断補強鉄筋工は既存設備、既設躯体、既設開口に支障の無いよう配置すること。

実施

| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 互理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(3) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 互 理 町 | | 図番 | C-20 |

B-B展開図



KEYPLAN

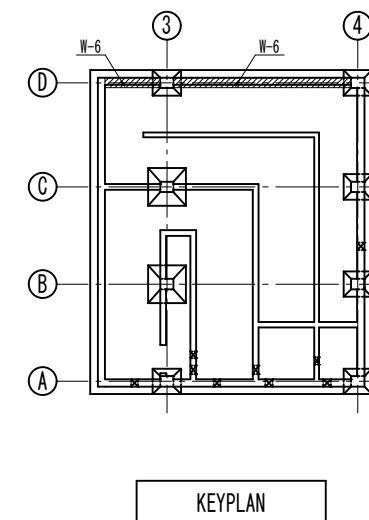
特記1：既設鉄筋位置は十分に探査し確認すること。
特記2：既設鉄筋被りは現地調査により確認すること。
特記3：後施工せん断補強鉄筋工は既存設備、既設躯体、
既設開口に支障の無いよう配置すること。

実 施

| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(4) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-21 |

$S=1/50$

A-A展開図



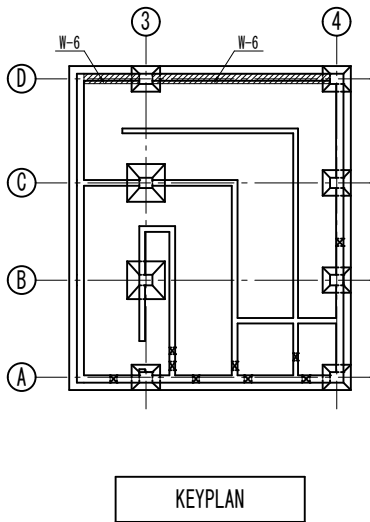
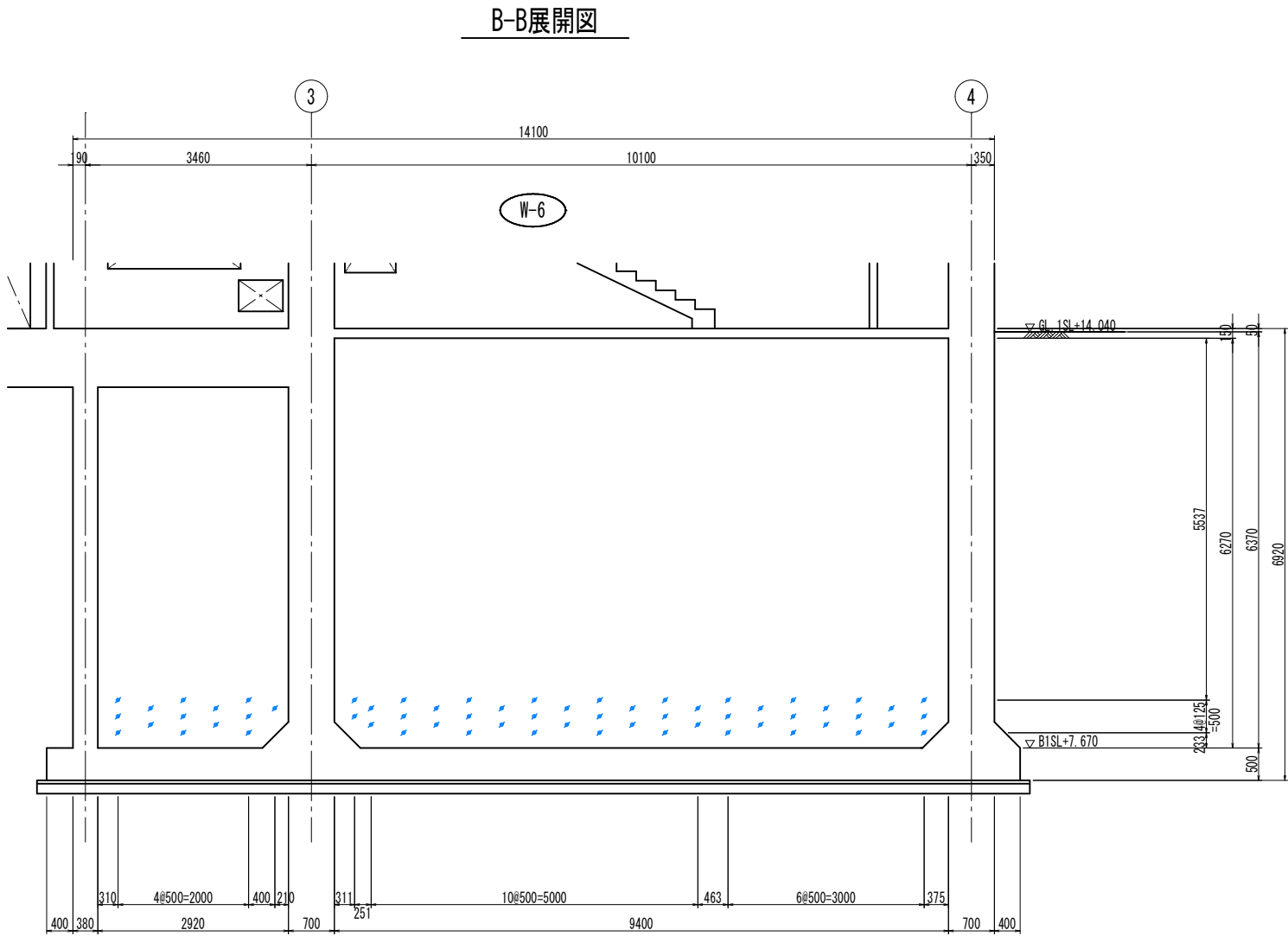
实施

| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亘理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(5) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亘 理 町 | | 図番 | C-22 |

田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(6)

S=1/50

(W-6)



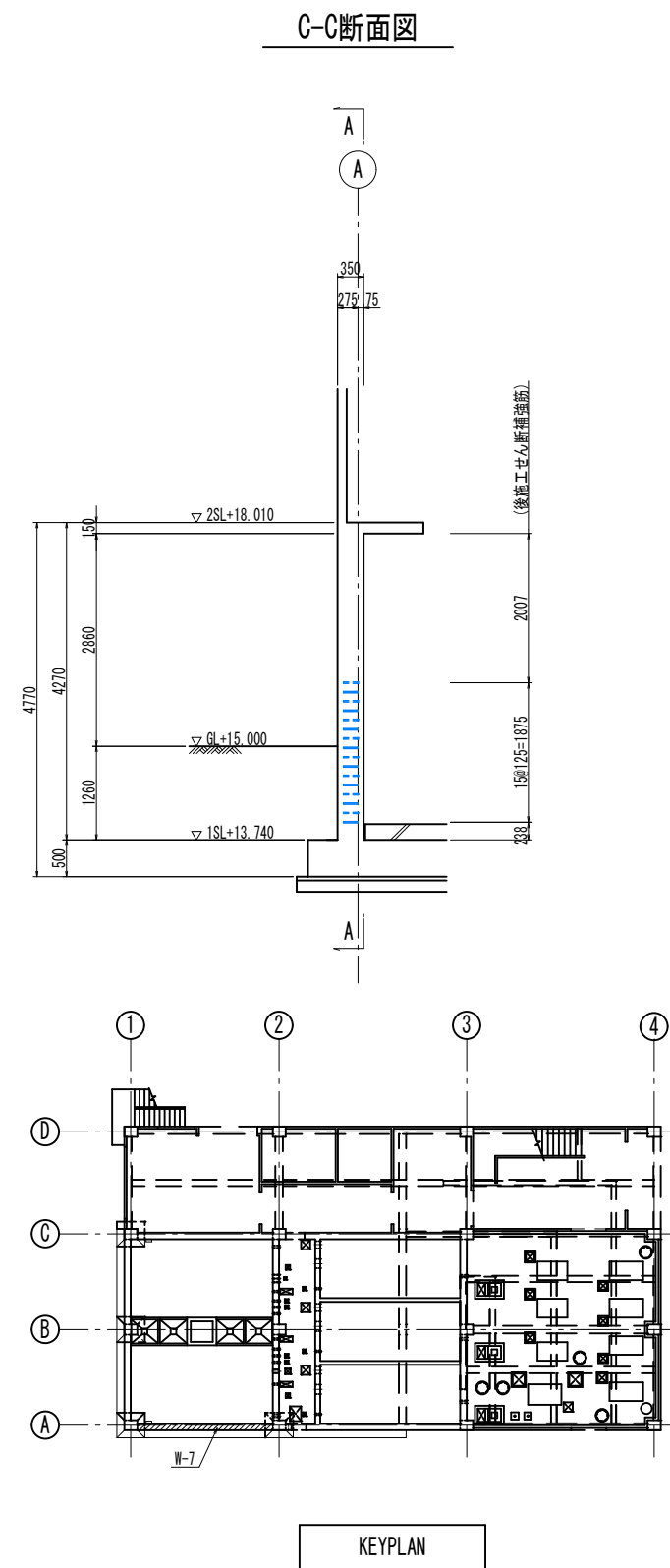
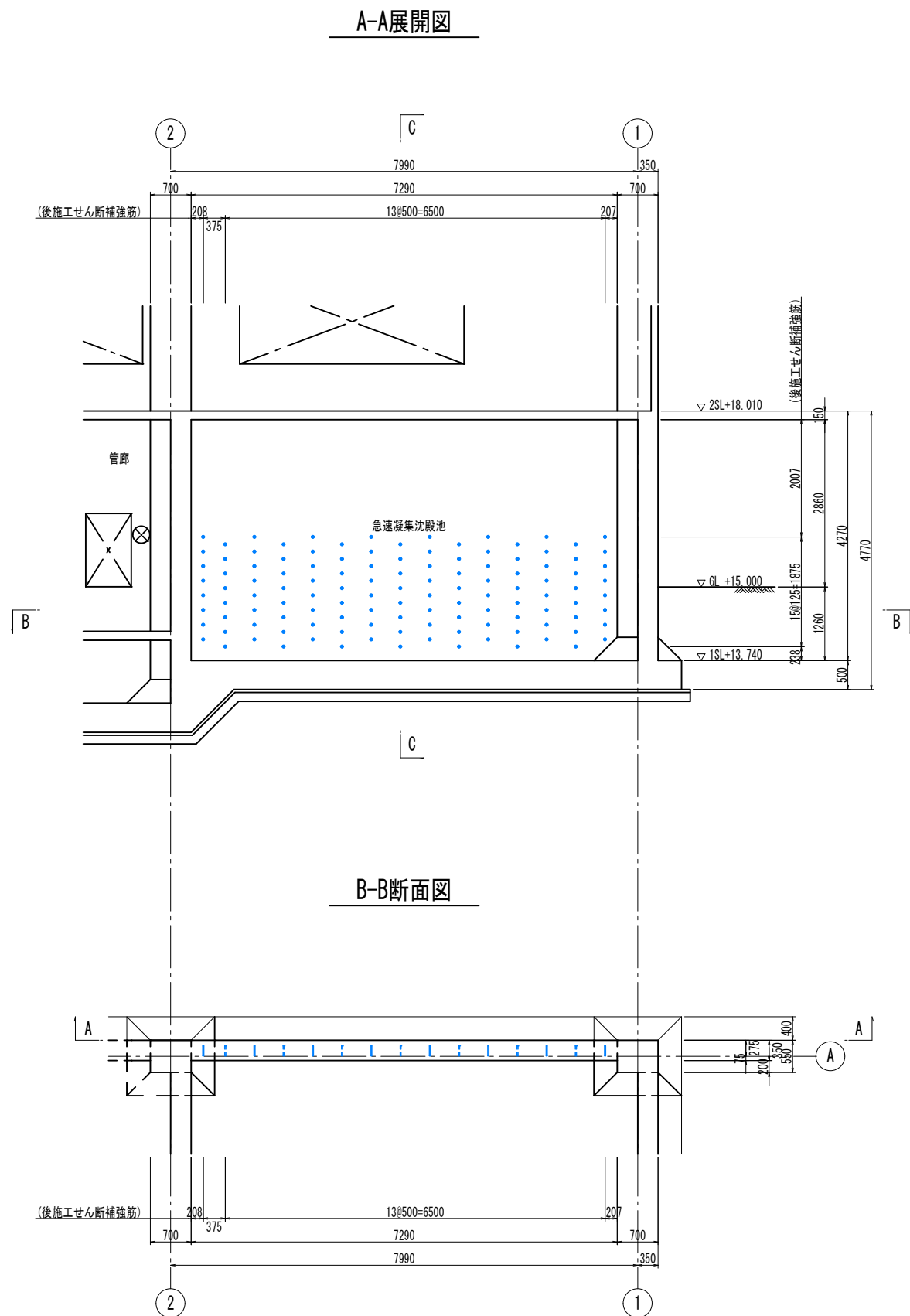
実 施

| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(6) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-23 |

田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(7)

S=1/50

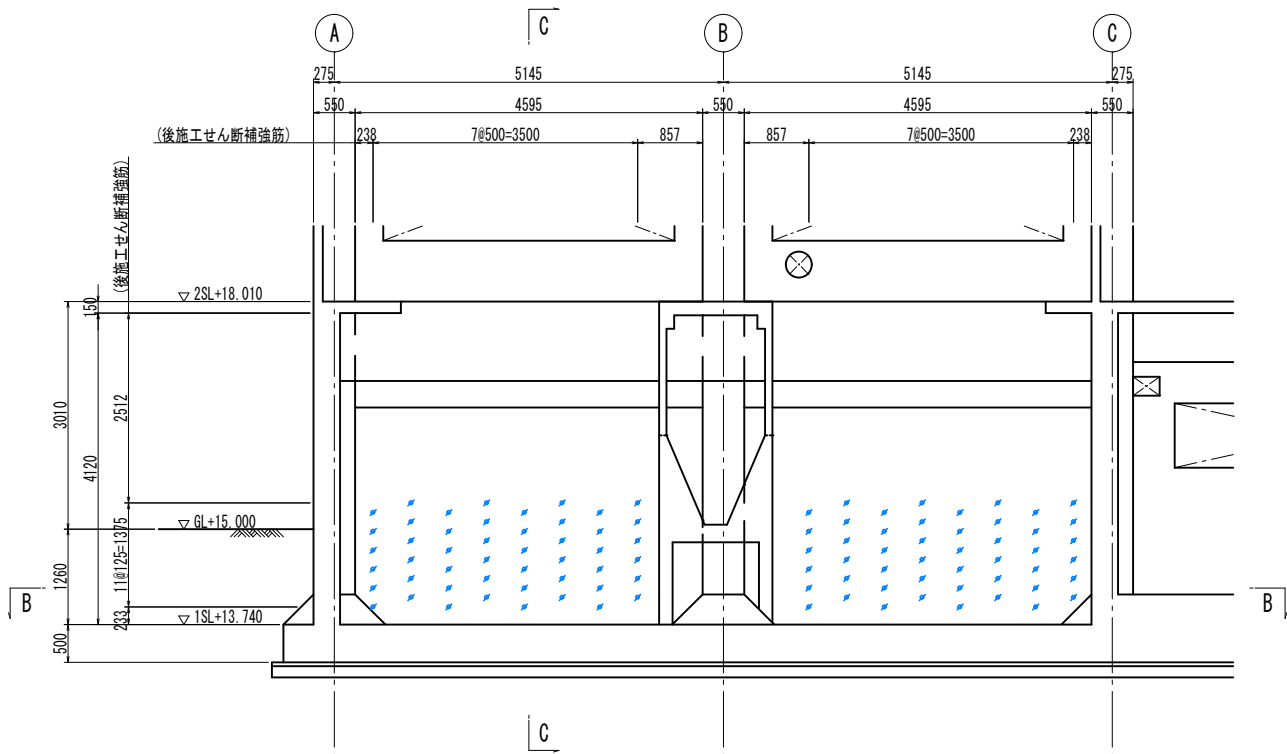
(W-7)



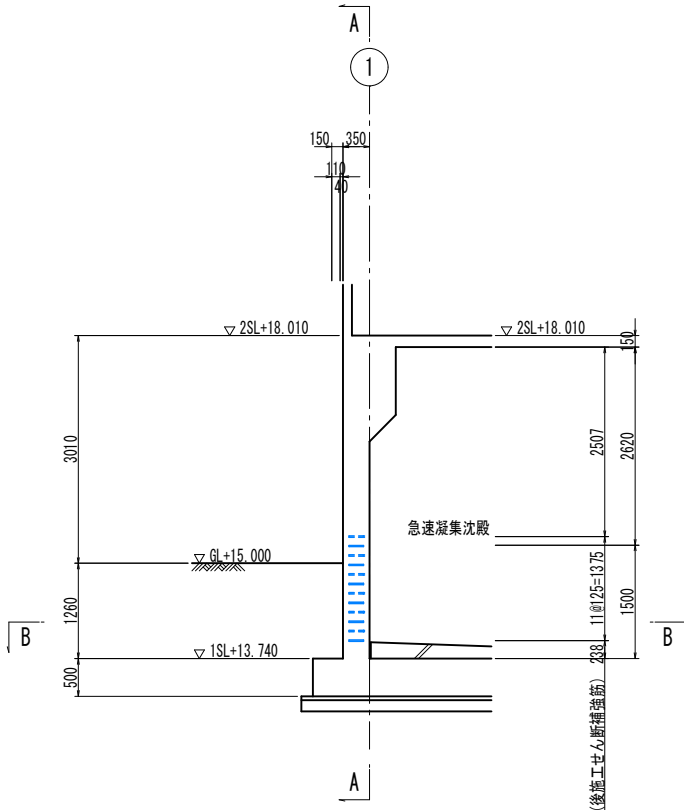
特記1: 既設鉄筋位置は十分に探査し確認すること。
特記2: 既設鉄筋被りは現地調査により確認すること。
特記3: 後施工せん断補強鉄筋工は既存設備、既設躯体、既設開口に支障の無いよう配置すること。

| 実 施 | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(7) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-24 |

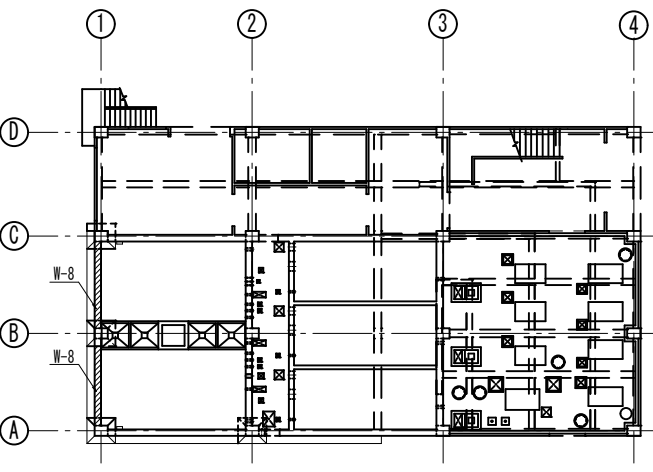
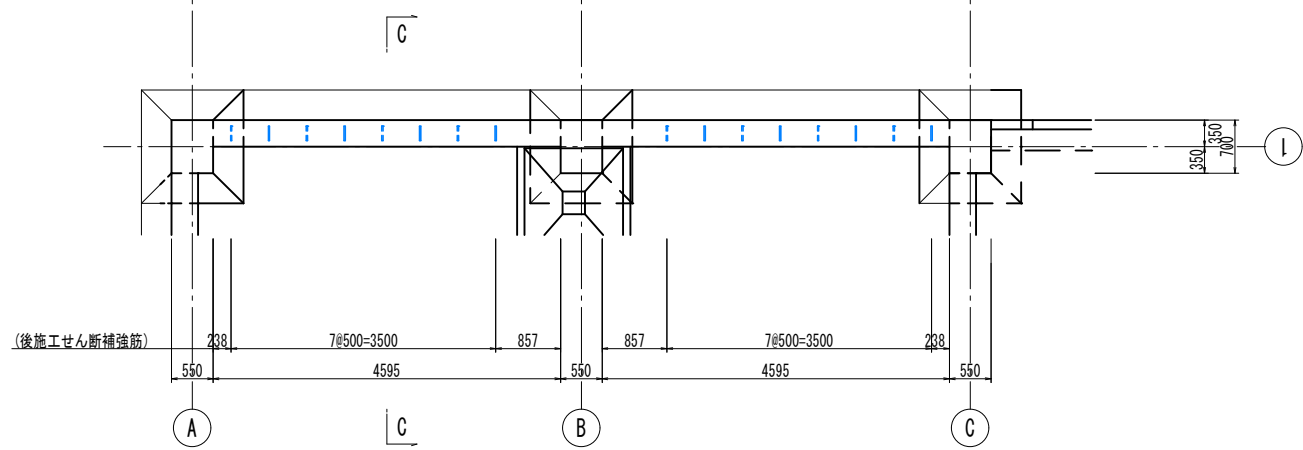
A-A展開図



C-C断面図



B-B断面図



KEYPLAN

特記1: 既設鉄筋位置は十分に探査し確認すること。
特記2: 既設鉄筋被りは現地調査により確認すること。
特記3: 後施工せん断補強鉄筋工は既存設備、既設躯体、既設開口に支障の無いよう配置すること。

実 施

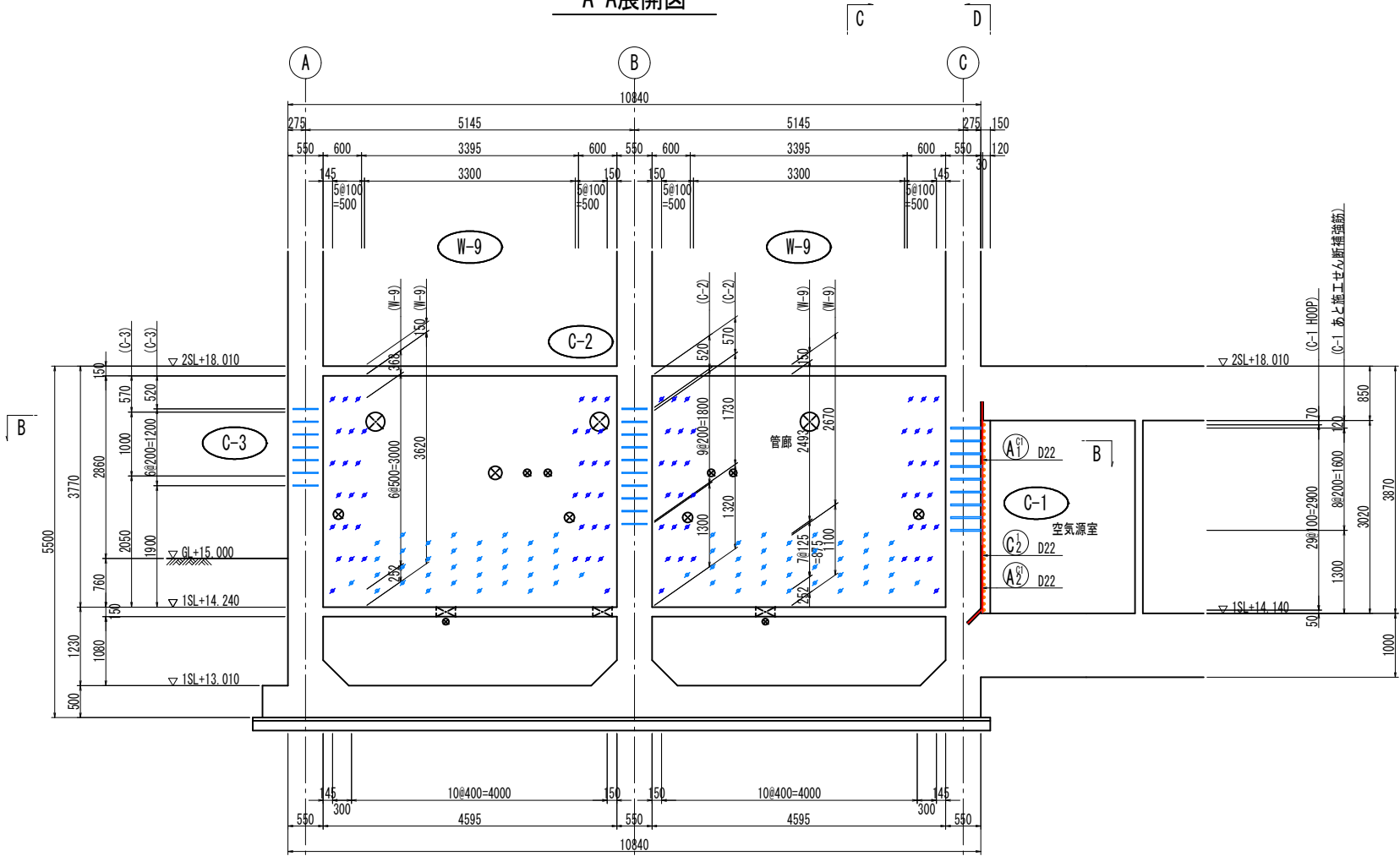
| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(8) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-25 |

田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(9)

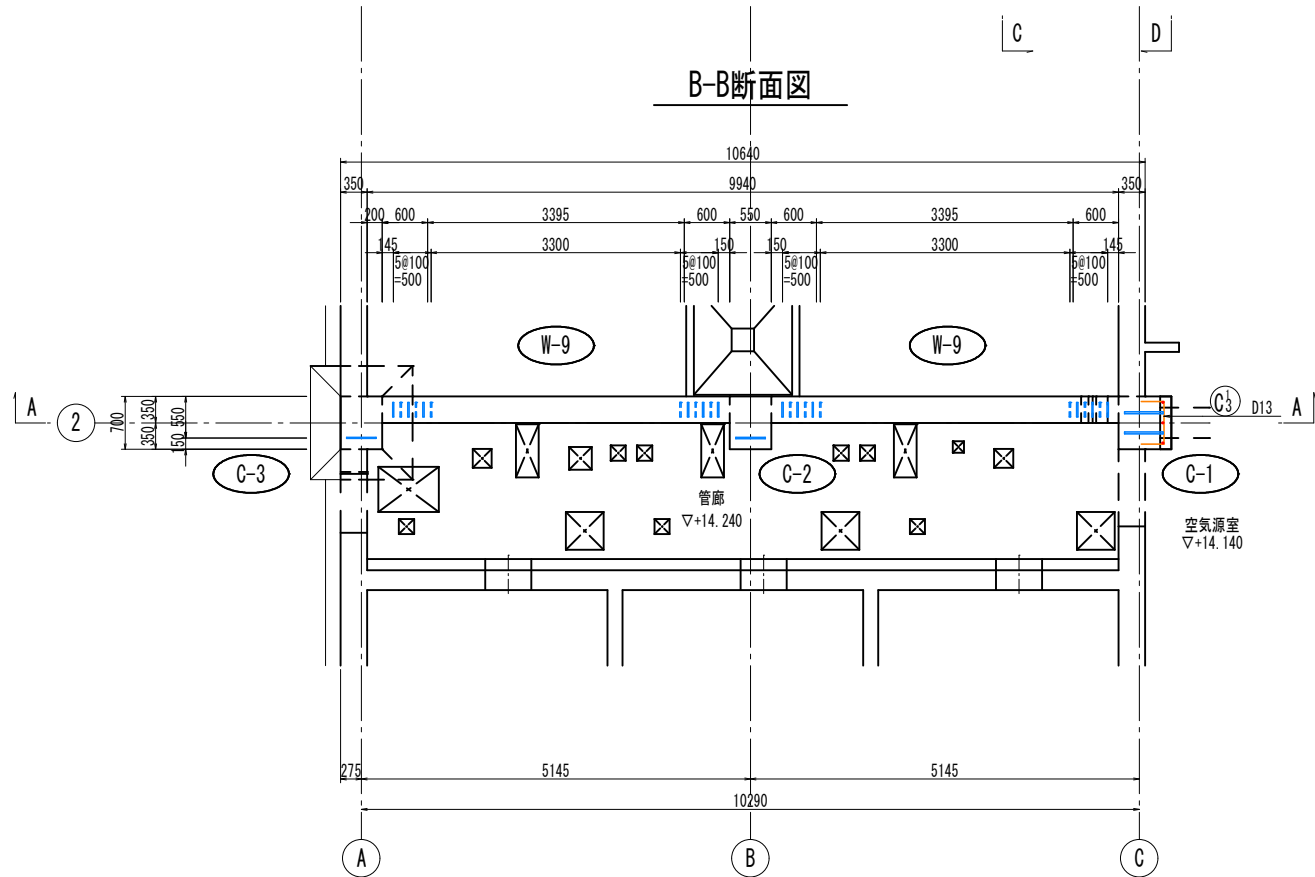
S=1/50

(C-1~3, W-9)

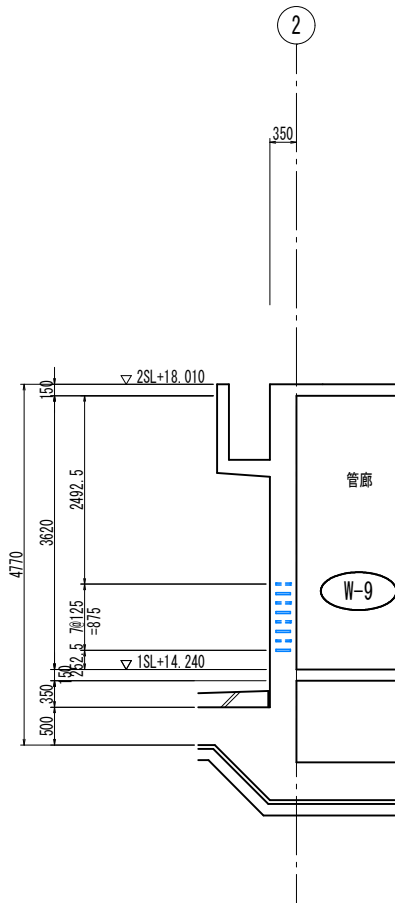
A-A展開図



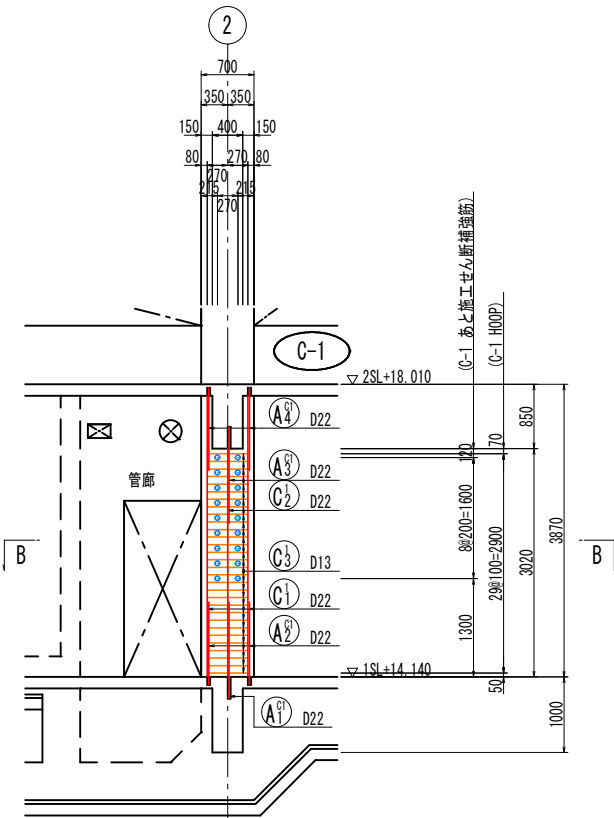
B-B断面図



C-C断面図

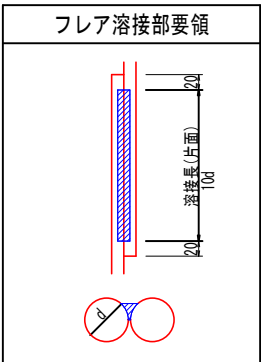
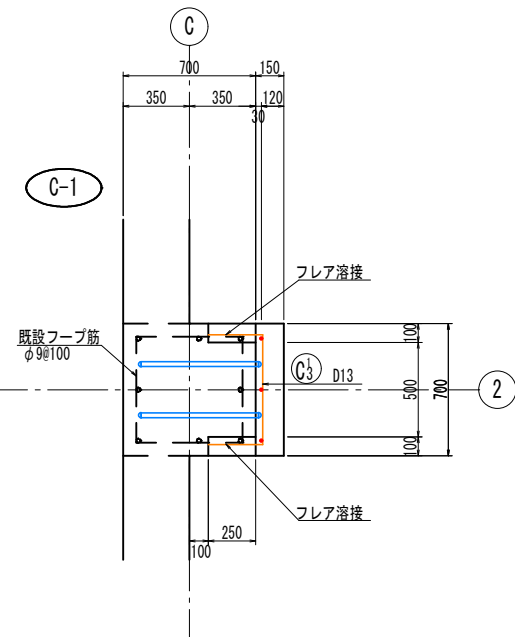


D-D展開図

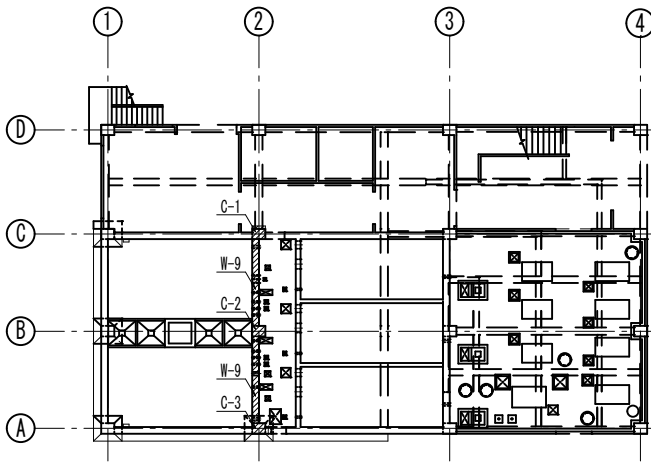


C-1詳細図

S=1/20



※フレア溶接 D13 : 60か所



KEYPLAN

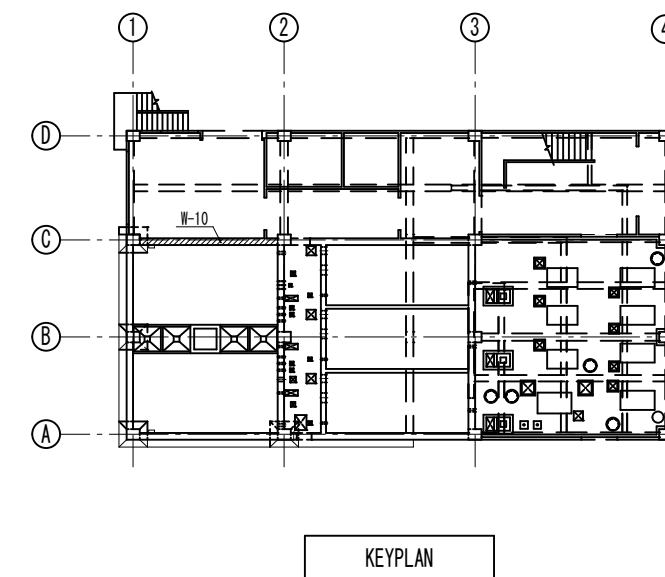
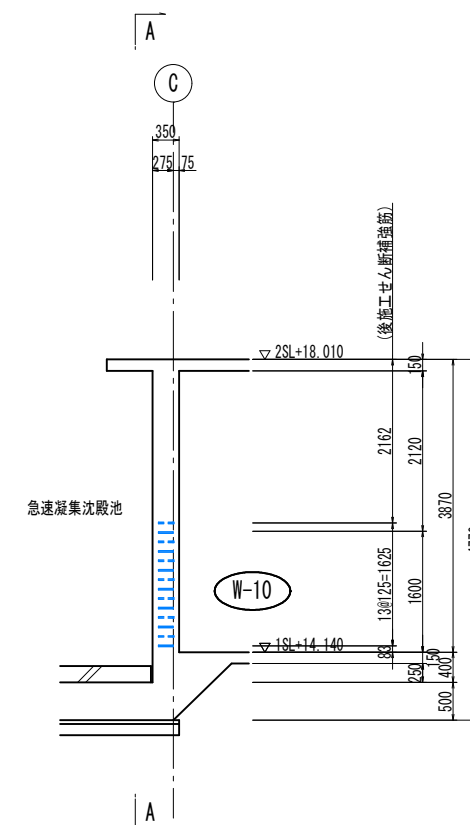
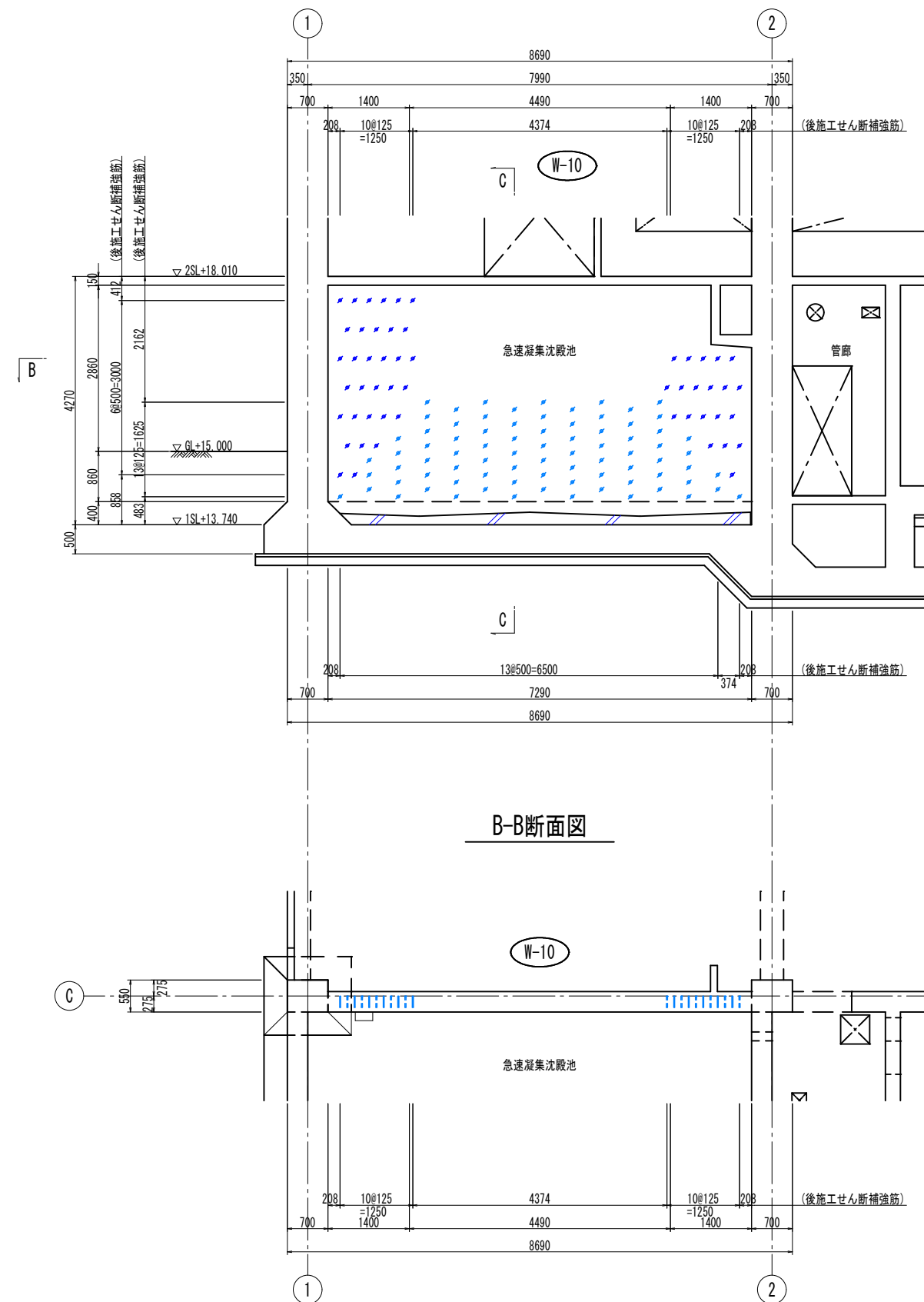
実 施

特記1: 既設鉄筋位置は十分に探査し確認すること。
特記2: 既設鉄筋被りは現地調査により確認すること。
特記3: 後施工せん断補強鉄筋工は既存設備、既設躯体、既設開口に支障の無いよう配置すること。

| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 互理町逢隈田沢字塚下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(9) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 互 理 町 | | 図番 | C-26 |

$$S=1/50$$

C-C断面图



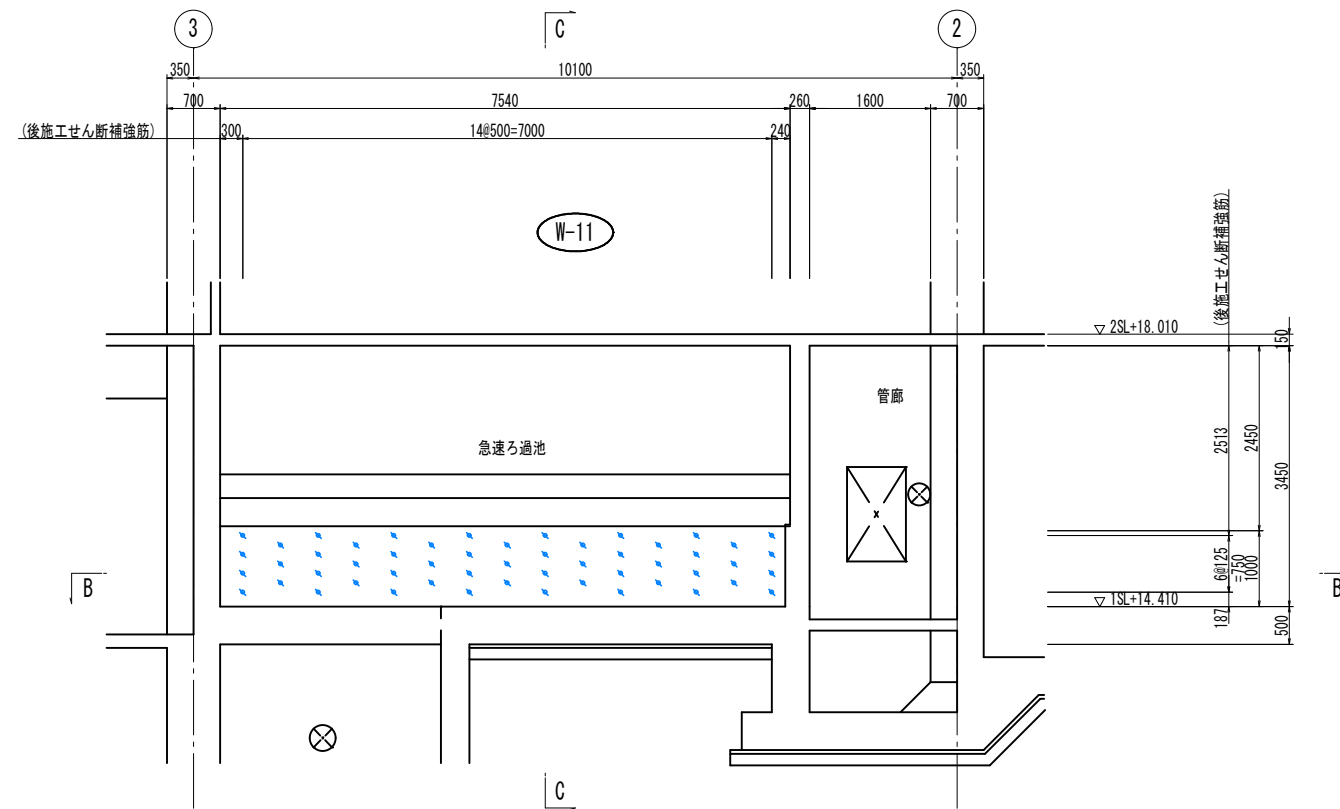
特記1: 既設鉄筋位置は十分に探査し確認すること。
 特記2: 既設鉄筋被りは現地調査により確認すること。
 特記3: 後施工せん断補強鉄筋工は既存設備、既設躯体、既設開口に支障の無いよう配置すること。

实施

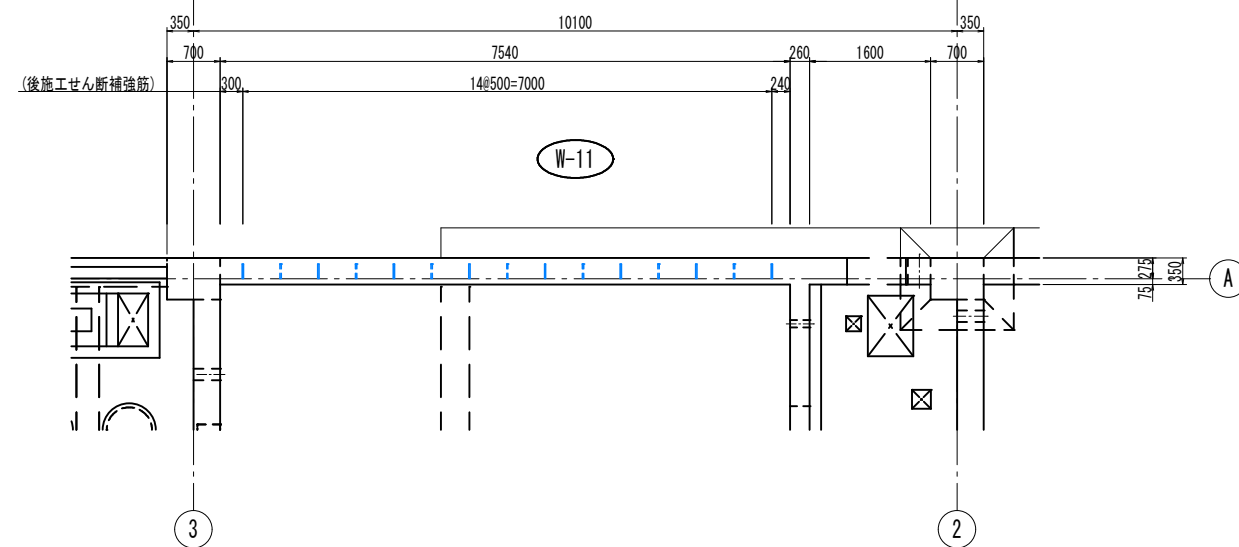
| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亘理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図（10） | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亘 理 町 | | 図番 | C-27 |

田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(11) S=1/50
(W-11)

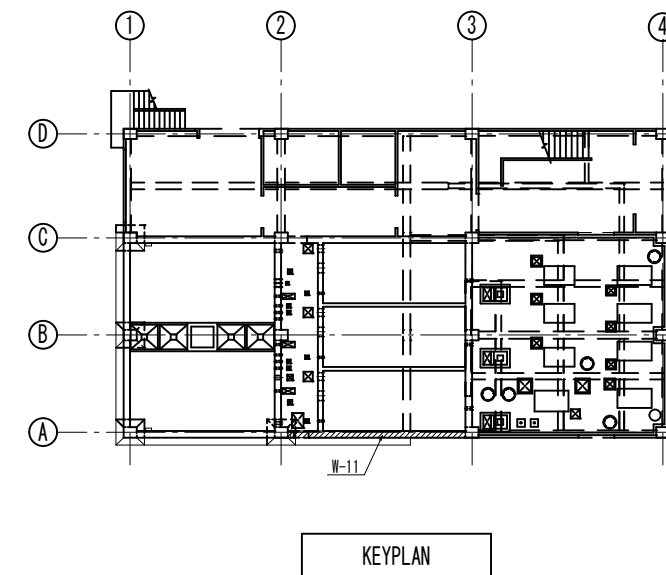
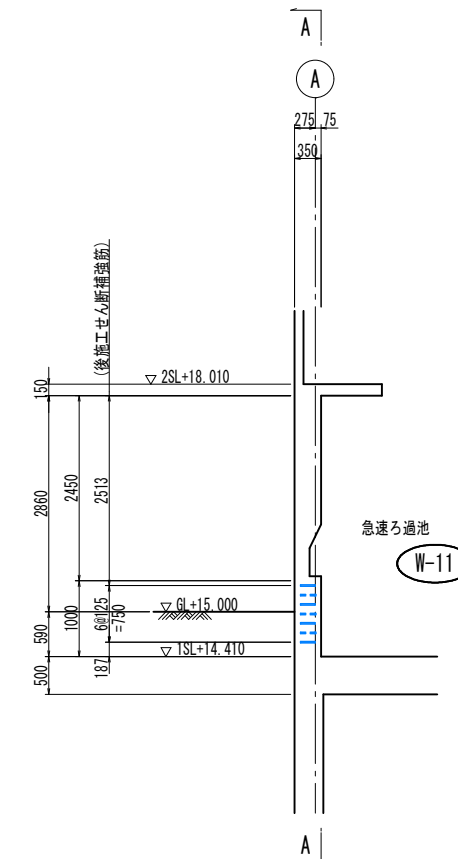
A-A展開図



B-B断面図



C-C断面図



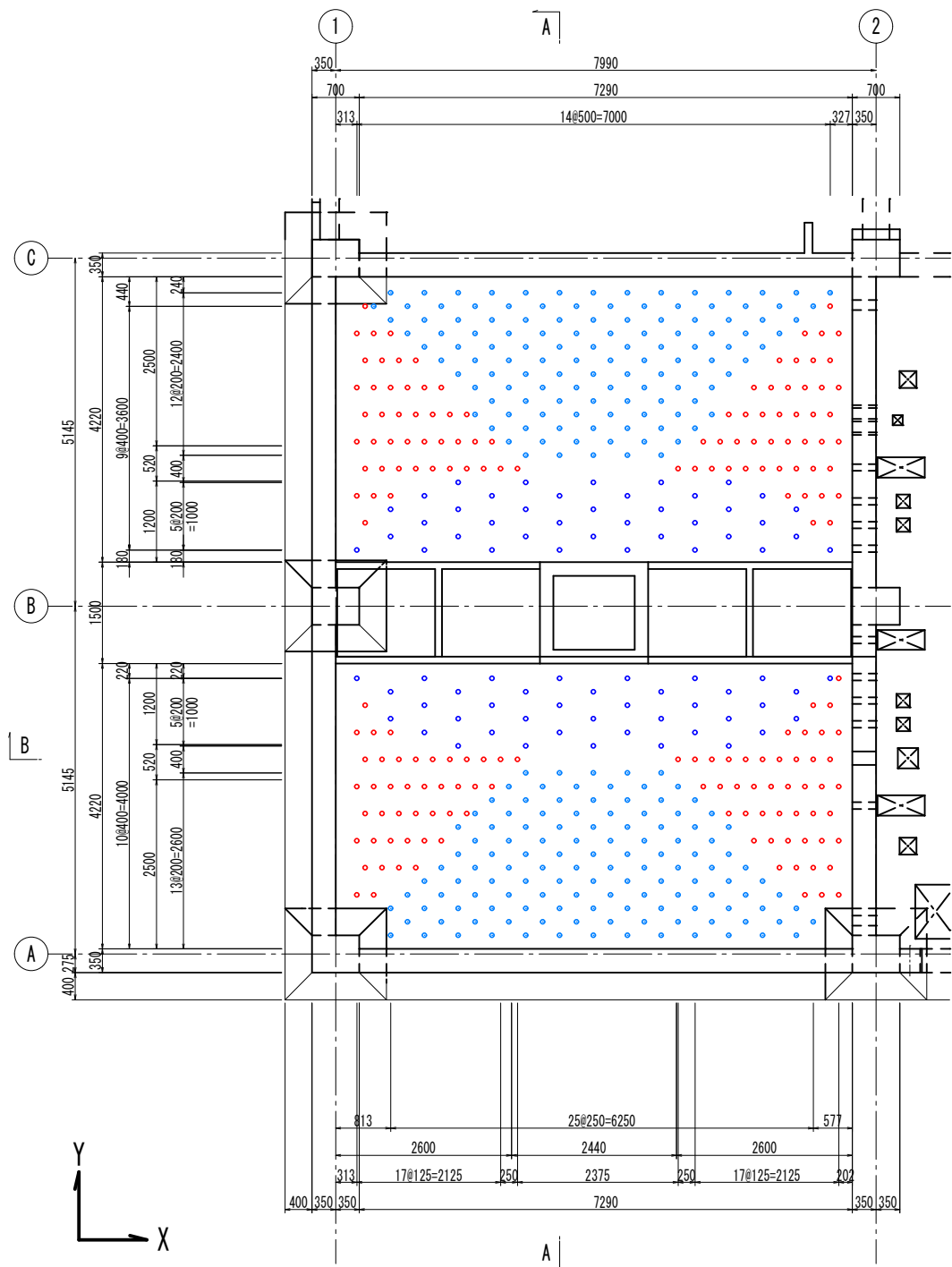
特記1: 既設鉄筋位置は十分に探査し確認すること。
特記2: 既設鉄筋被りは現地調査により確認すること。
特記3: 後施工せん断補強鉄筋工は既存設備、既設躯体、既設開口に支障の無いよう配置すること。

実 施

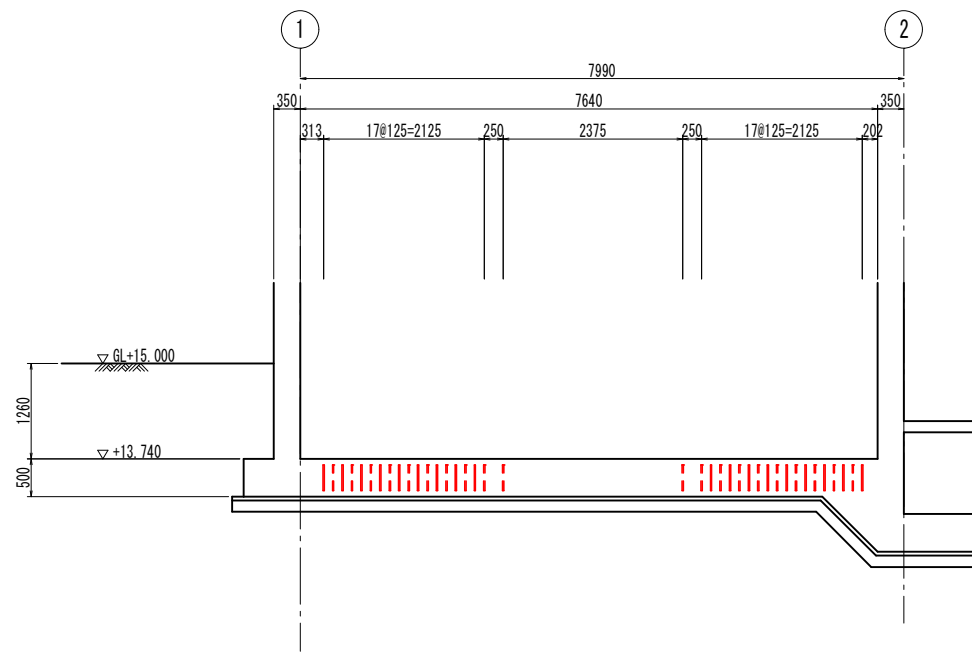
| | | | |
|-------|--|----------|--|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(11) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | 図番 | C-28 | |

田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(12) S=1/50
(F-1)

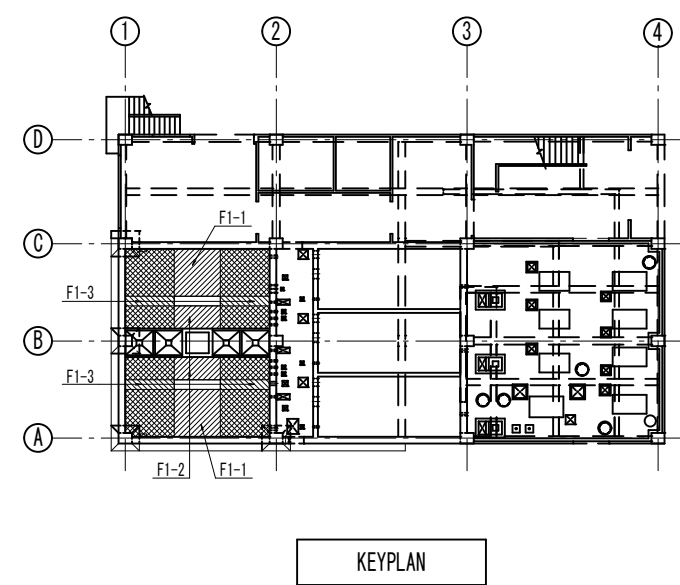
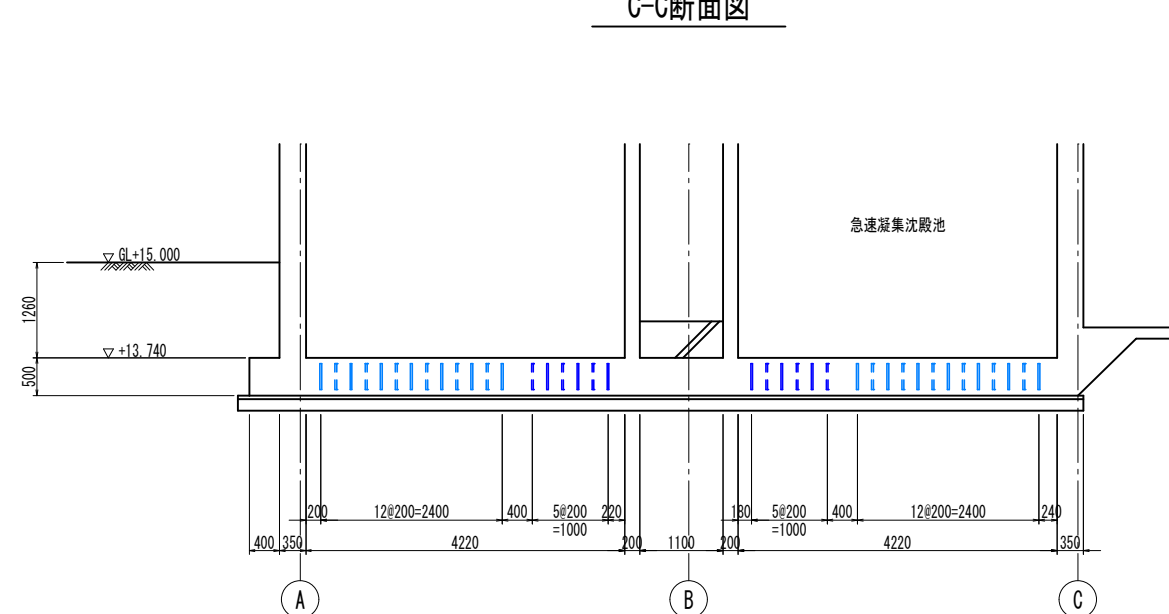
A-A平面図



B-B断面図



C-C断面図



実 施

特記1: 既設鉄筋位置は十分に探査し確認すること。
特記2: 既設鉄筋被りは現地調査により確認すること。
特記3: 後施工せん断補強鉄筋工は既存設備、既設躯体、既設開口に支障の無いよう配置すること。

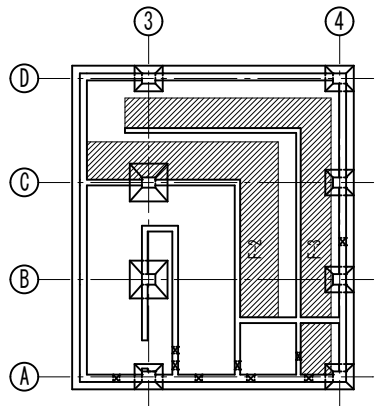
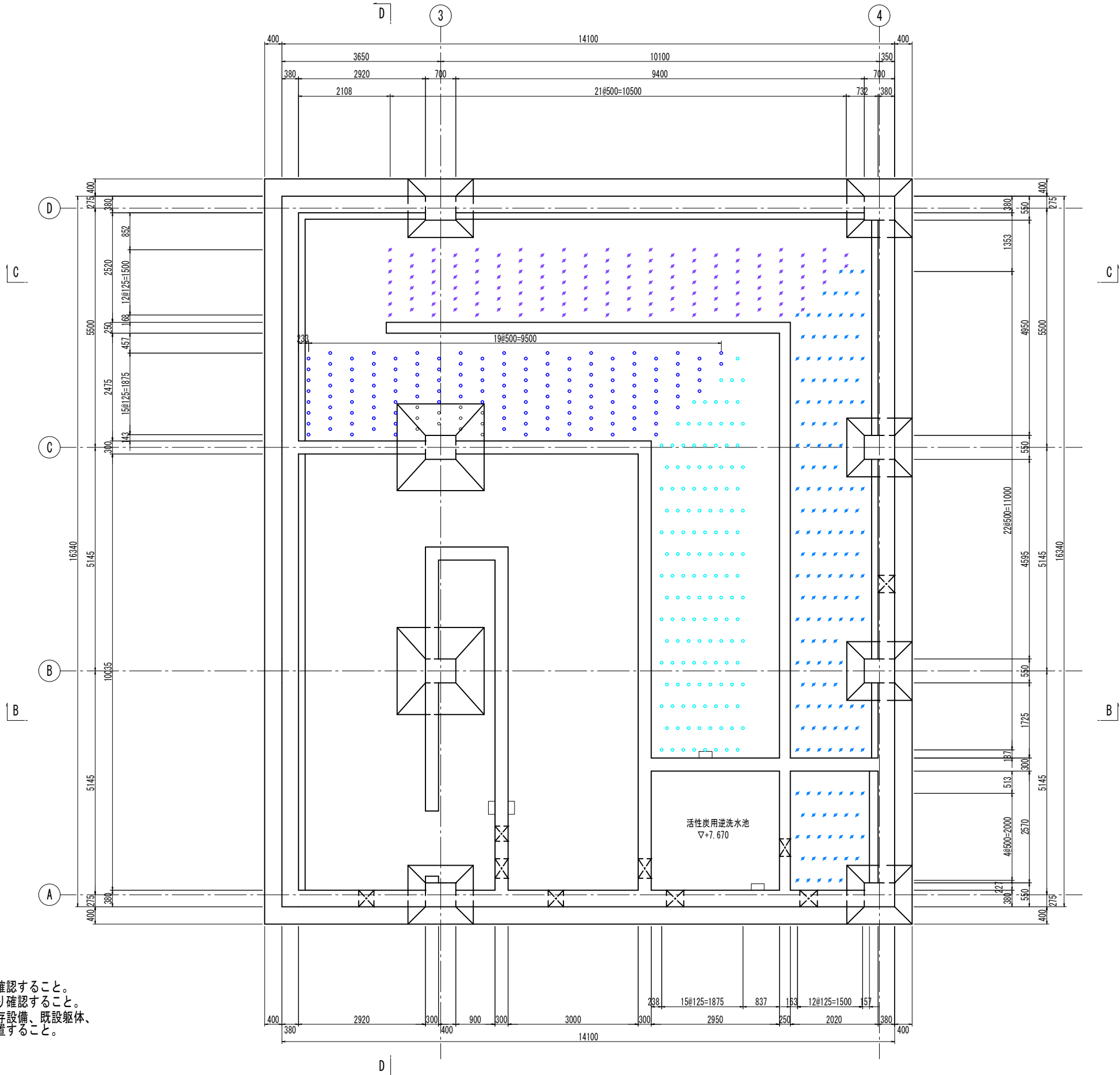
| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(12) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-29 |

田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(13)

S=1/50

(F-2, 3)

A-A平面図



KEYPLAN

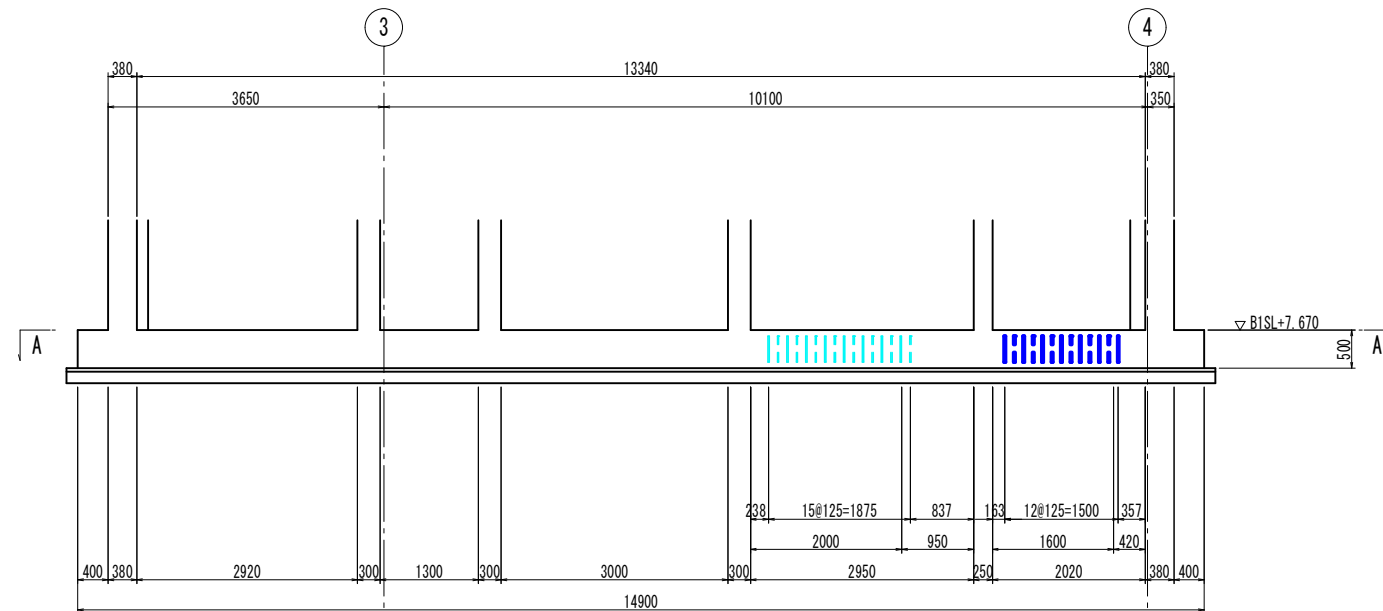
実 施

| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町邊隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(13) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-30 |

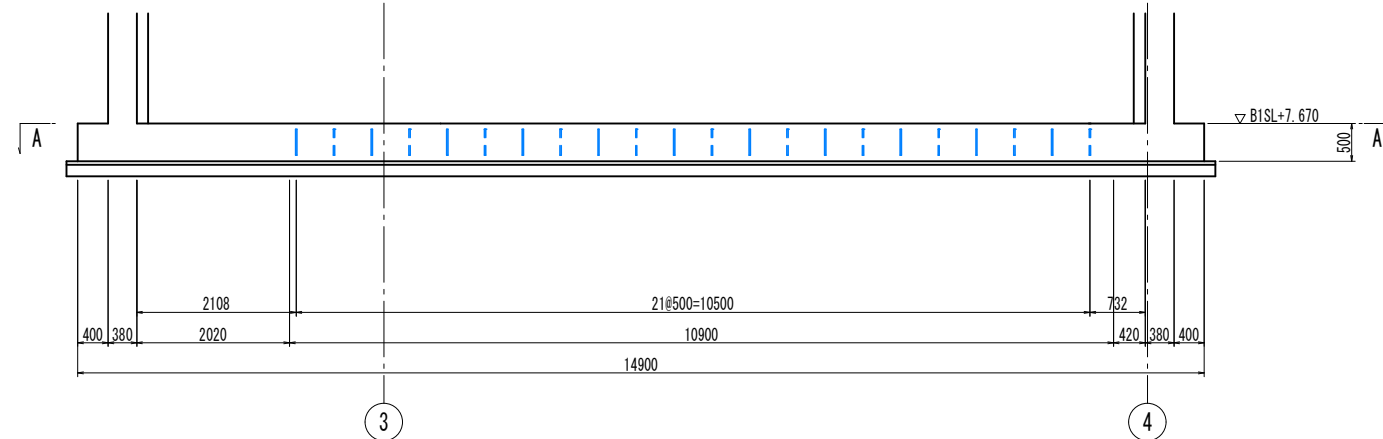
S=1/50

(F-3~F-4)

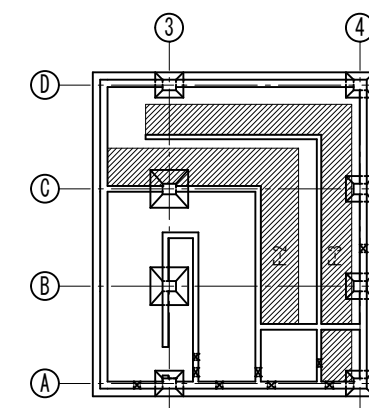
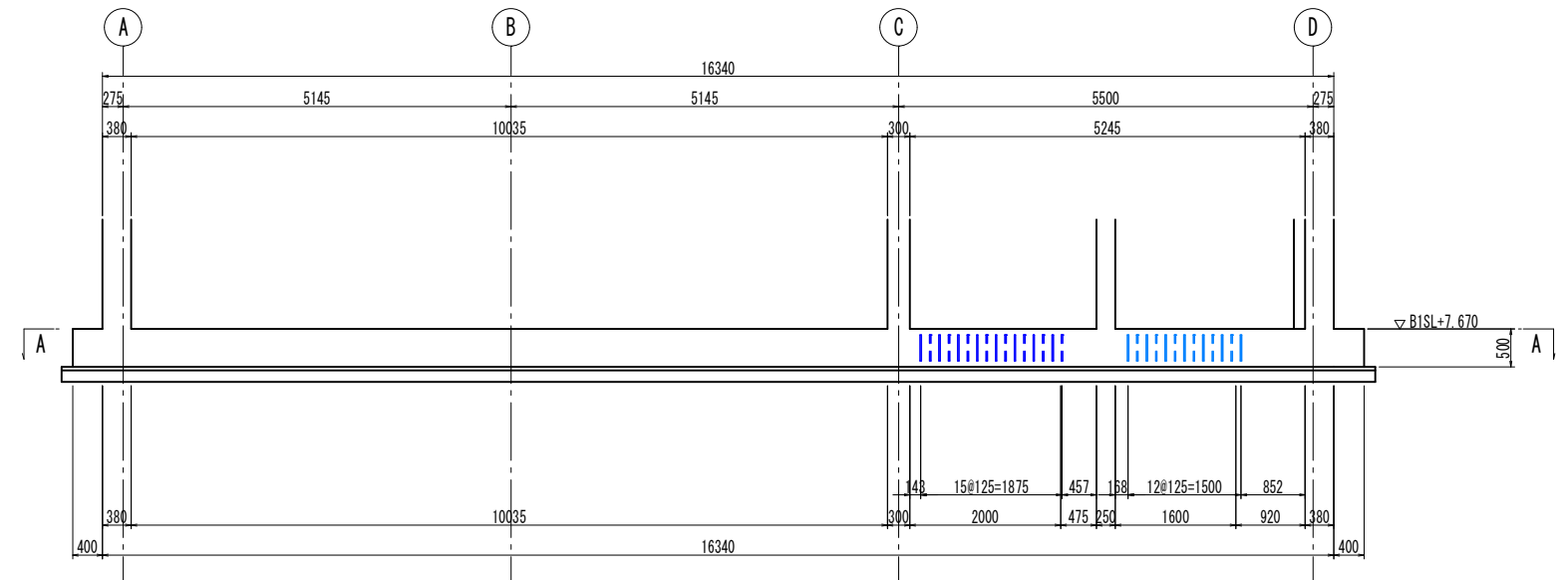
B-B断面図



C-C断面図



D-D断面图



KEYPLAN

实施

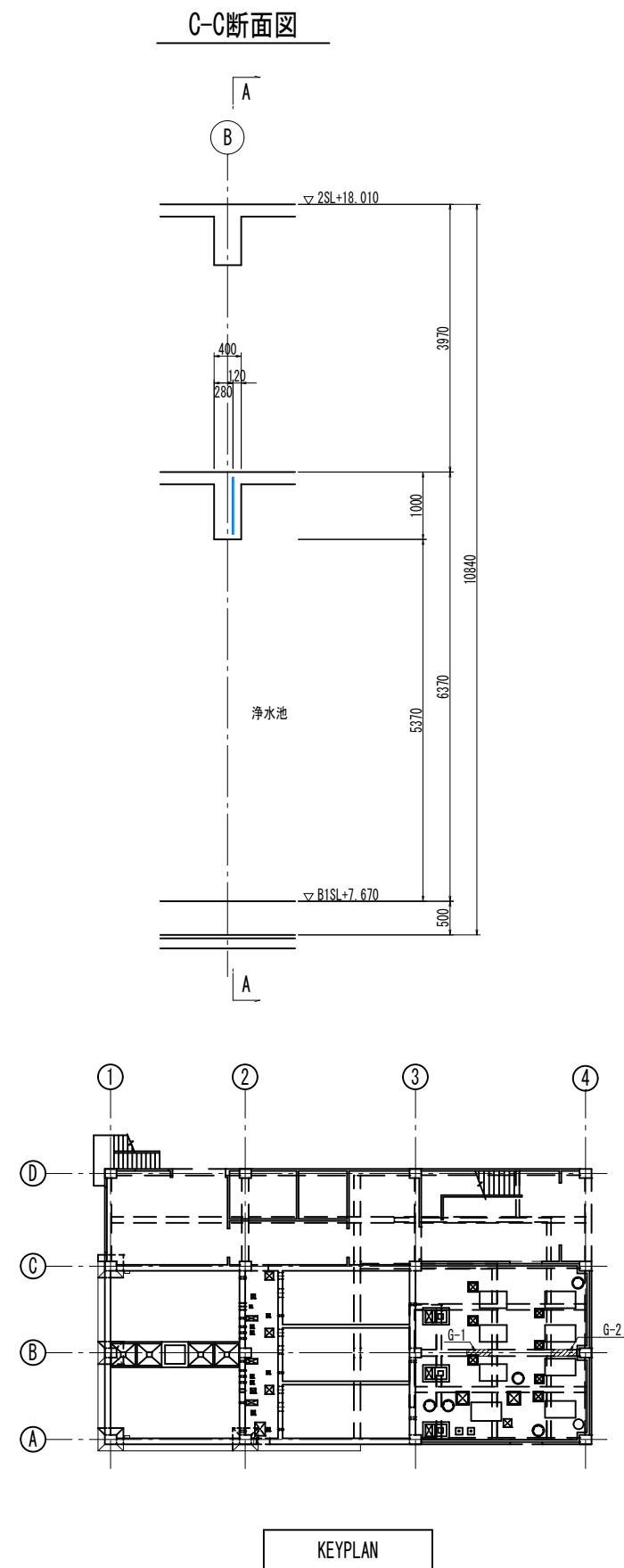
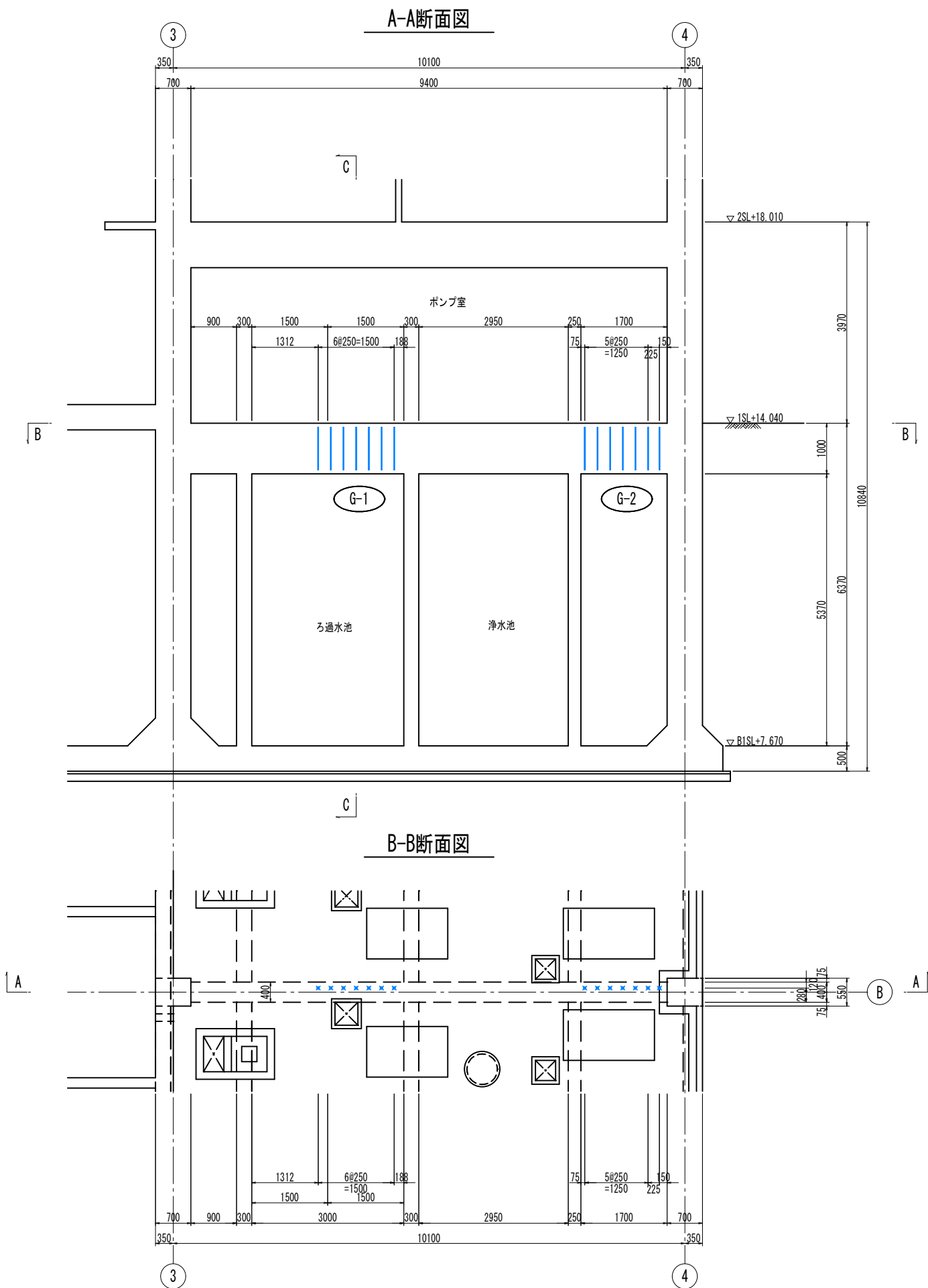
| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亘理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(14) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亘 理 町 | | 図番 | C-31 |

特記1: 既設鉄筋位置は十分に探査し確認すること。
 特記2: 既設鉄筋被りは現地調査により確認すること。
 特記3: 後施工せん断補強鉄筋工は既存設備、既設躯体、
 既設開口に支障の無いよう配置すること。

田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(15)

S=1/50

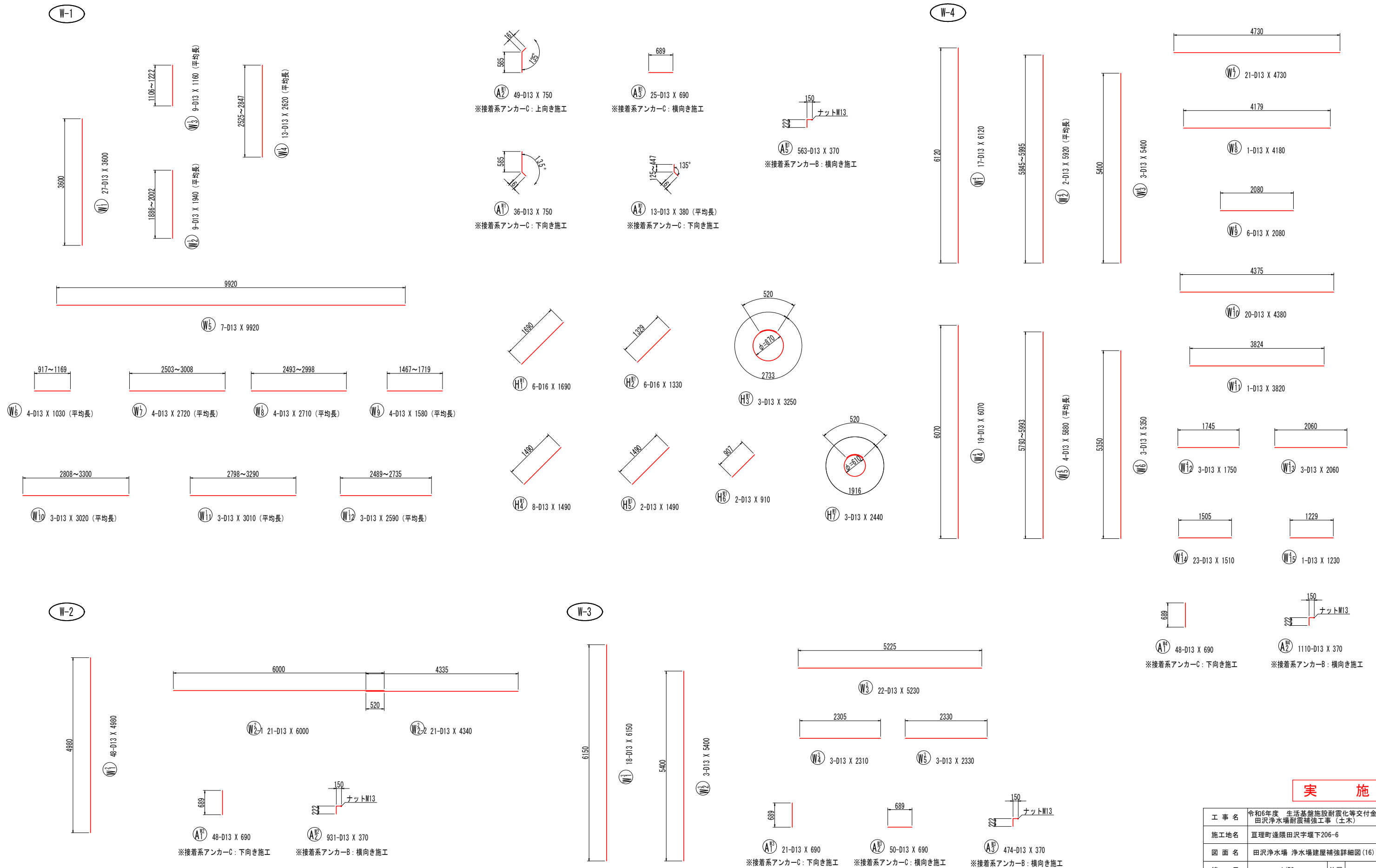
(G-1, 2)



特記1：既設鉄筋位置は十分に探査し確認すること。
特記2：既設鉄筋被りは現地調査により確認すること。
特記3：後施工せん断補強鉄筋工は既存設備、既設躯体、既設開口に支障の無いよう配置すること。

| 実 施 | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(15) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-32 |

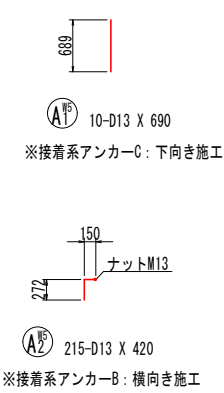
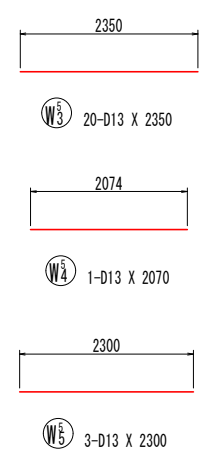
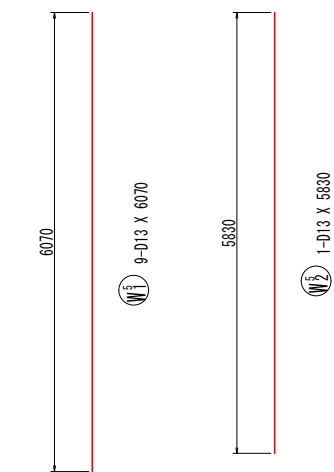
田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(16) S=1/50



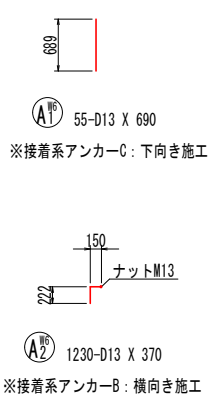
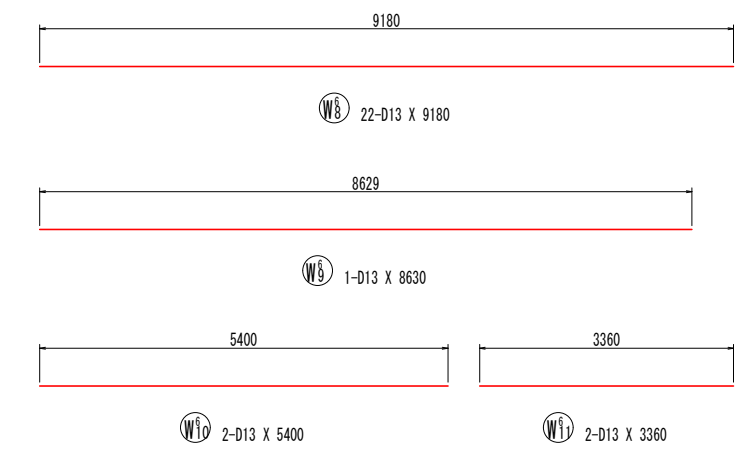
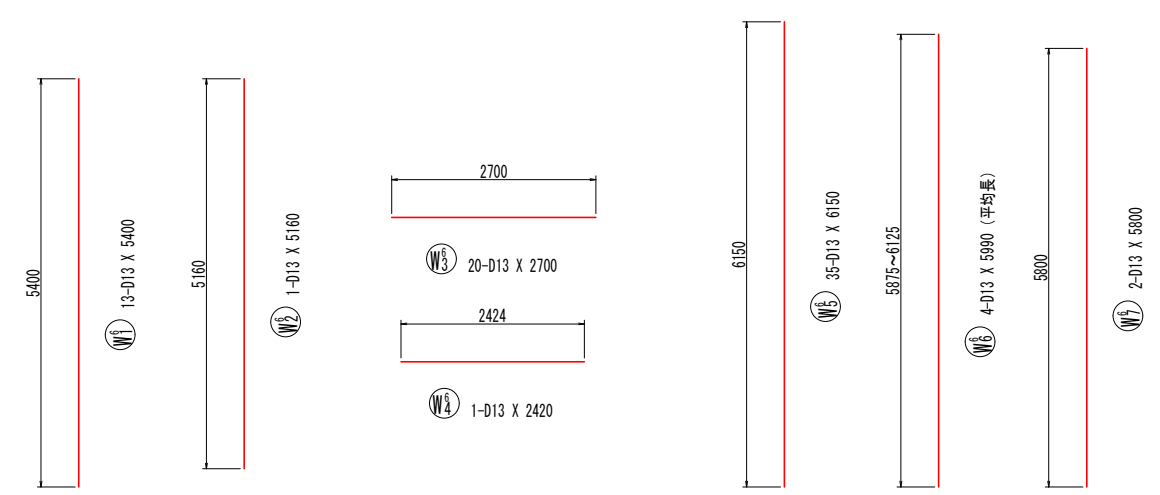
実 施

| | | | |
|-------|--|---------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(16) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位 置 | |
| 設 計 者 | | 設 計 年 度 | |
| 亶 理 町 | | 図 番 | C-33 |

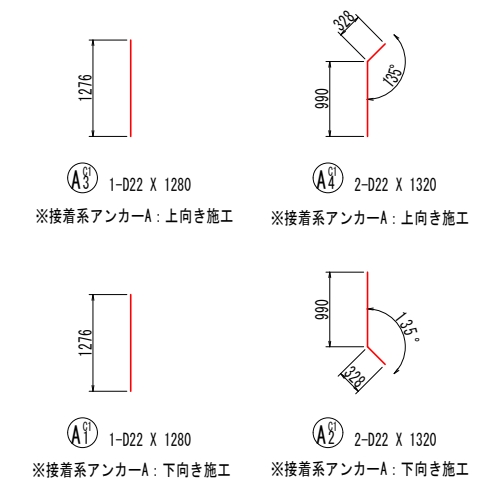
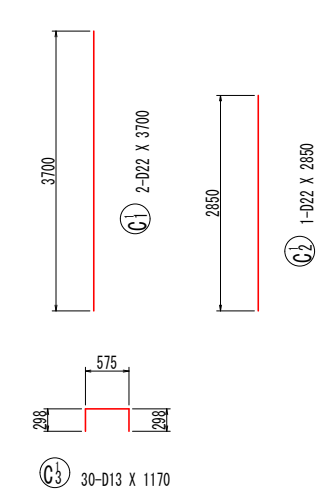
W-5



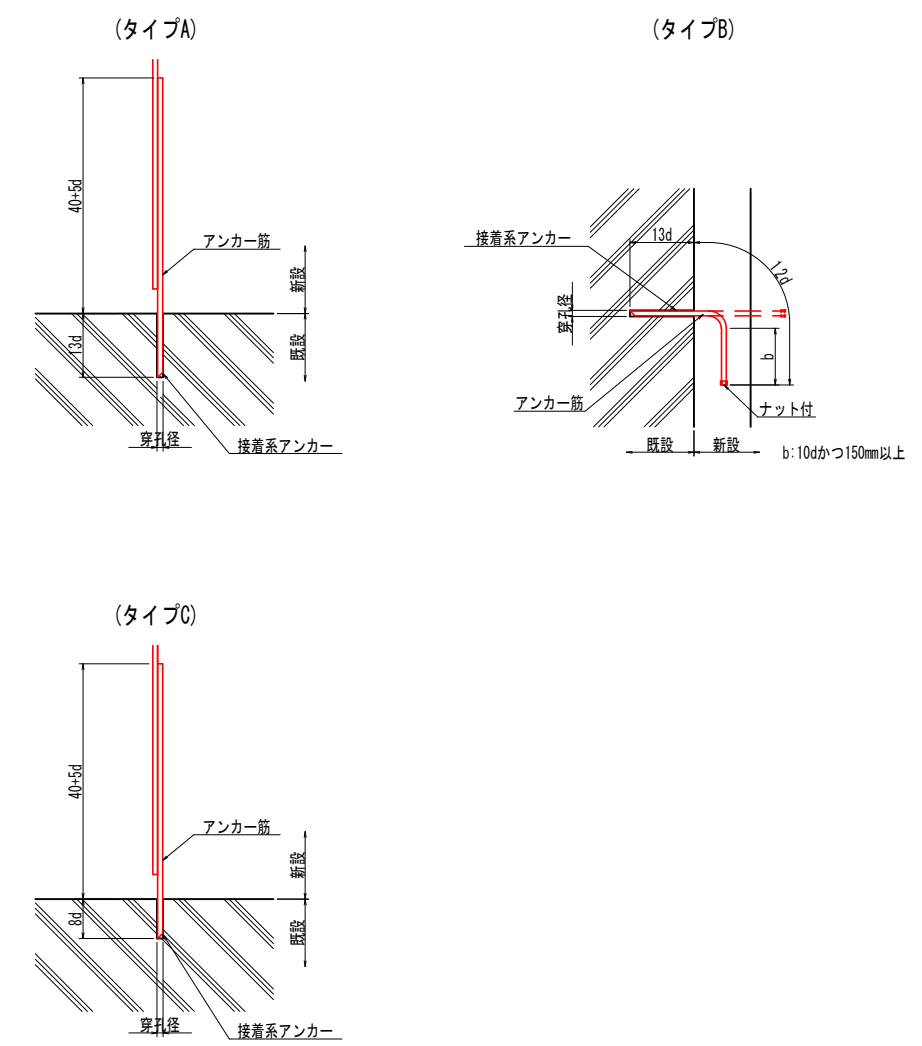
W-6



C-1



接着系アンカー工詳細図



| アンカー筋定着長 | | | | |
|----------|-----|-----|-----|-----|
| | 8d | 12d | 13d | 45d |
| D13 | 104 | 156 | 169 | 585 |
| D16 | 128 | 192 | 208 | 720 |

実 施

| | | | |
|-------|--|----------|--|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(17) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | 図番 | C-34 | |

田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(18)

鉄筋質量表

| 種 別 | 径 | 長 さ (mm) | 本 数 | 単位質量 (kg/m) | 一本当り質量 (kg/本) | 質 量 (kg) | 摘 要 |
|-------------------------------|-----|-------------|-----|----------------|------------------|-------------|----------|
| W ¹ ₁ | D13 | 3600 | 27 | 0.995 | 3.58 | 97 | ┃ |
| W ¹ ₂ | D13 | 1940 | 9 | 0.995 | 1.93 | 17 | ┃ (平均長) |
| W ¹ ₃ | D13 | 1160 | 9 | 0.995 | 1.15 | 10 | ┃ (平均長) |
| W ¹ ₄ | D13 | 2620 | 13 | 0.995 | 2.61 | 34 | ┃ (平均長) |
| W ¹ ₅ | D13 | 9920 | 7 | 0.995 | 9.87 | 69 | ―― |
| W ¹ ₆ | D13 | 1030 | 4 | 0.995 | 1.02 | 4 | ―― (平均長) |
| W ¹ ₇ | D13 | 2720 | 4 | 0.995 | 2.71 | 11 | ―― (平均長) |
| W ¹ ₈ | D13 | 2710 | 4 | 0.995 | 2.70 | 11 | ―― (平均長) |
| W ¹ ₉ | D13 | 1580 | 4 | 0.995 | 1.57 | 6 | ―― (平均長) |
| W ¹ ₁₀ | D13 | 3020 | 3 | 0.995 | 3.00 | 9 | ―― (平均長) |
| W ¹ ₁₁ | D13 | 3010 | 3 | 0.995 | 2.99 | 9 | ―― (平均長) |
| W ¹ ₁₂ | D13 | 2590 | 3 | 0.995 | 2.58 | 8 | ―― (平均長) |
| 285 | | | | | | | |
| A ¹¹ ₁ | D13 | 750 | 36 | 0.995 | 0.75 | 27 | ┃ |
| A ¹¹ ₂ | D13 | 750 | 49 | 0.995 | 0.75 | 37 | ┃ |
| A ¹¹ ₃ | D13 | 690 | 25 | 0.995 | 0.69 | 17 | ―― |
| A ¹¹ ₄ | D13 | 380 | 13 | 0.995 | 0.38 | 5 | ┃ (平均長) |
| A ¹¹ ₅ | D13 | 370 | 563 | 0.995 | 0.37 | 208 | ┃ |
| 294 | | | | | | | |
| H ¹¹ ₁ | D16 | 1690 | 6 | 1.56 | 2.64 | 16 | ／ |
| H ¹¹ ₂ | D16 | 1330 | 6 | 1.56 | 2.07 | 12 | ／ |
| H ¹¹ ₃ | D13 | 3250 | 3 | 0.995 | 3.23 | 10 | ○ |
| H ¹¹ ₄ | D13 | 1490 | 8 | 0.995 | 1.48 | 12 | ／ |
| H ¹¹ ₅ | D13 | 1490 | 2 | 0.995 | 1.48 | 3 | ／ |
| H ¹¹ ₆ | D13 | 910 | 2 | 0.995 | 0.91 | 2 | ／ |
| H ¹¹ ₇ | D13 | 2440 | 3 | 0.995 | 2.43 | 7 | ○ |
| 62 | | | | | | | |
| W ² ₁ | D13 | 4980 | 48 | 0.995 | 4.96 | 238 | ┃ |
| W ² ₂₋₁ | D13 | 6000 | 21 | 0.995 | 5.97 | 125 | ―― |
| W ² ₂₋₂ | D13 | 4340 | 21 | 0.995 | 4.32 | 91 | ―― |
| 454 | | | | | | | |
| A ¹² ₁ | D13 | 690 | 48 | 0.995 | 0.69 | 33 | ┃ |
| A ¹² ₂ | D13 | 370 | 931 | 0.995 | 0.37 | 344 | ┃ |
| 377 | | | | | | | |
| W ³ ₁ | D13 | 6150 | 18 | 0.995 | 6.12 | 110 | ┃ |
| W ³ ₂ | D13 | 5400 | 3 | 0.995 | 5.37 | 16 | ┃ |
| W ³ ₃ | D13 | 5230 | 22 | 0.995 | 5.20 | 114 | ―― |
| W ³ ₄ | D13 | 2310 | 3 | 0.995 | 2.30 | 7 | ―― |
| W ³ ₅ | D13 | 2330 | 3 | 0.995 | 2.32 | 7 | ―― |
| 254 | | | | | | | |
| A ¹³ ₁ | D13 | 690 | 21 | 0.995 | 0.69 | 14 | ┃ |
| A ¹³ ₂ | D13 | 690 | 50 | 0.995 | 0.69 | 35 | ―― |
| A ¹³ ₃ | D13 | 370 | 474 | 0.995 | 0.37 | 175 | ┃ |
| 224 | | | | | | | |

| 種 別 | 径 | 長 さ (mm) | 本 数 | 単位質量 (kg/m) | 一本当り質量 (kg/本) | 質 量 (kg) | 摘 要 |
|------------------------------|-----|-------------|------|----------------|------------------|-------------|---------|
| W ⁴ ₁ | D13 | 6120 | 17 | 0.995 | 6.09 | 104 | ┃ |
| W ⁴ ₂ | D13 | 5920 | 2 | 0.995 | 5.89 | 12 | ┃ (平均長) |
| W ⁴ ₃ | D13 | 5400 | 3 | 0.995 | 5.37 | 16 | ┃ |
| W ⁴ ₄ | D13 | 6070 | 19 | 0.995 | 6.04 | 115 | ┃ |
| W ⁴ ₅ | D13 | 5880 | 4 | 0.995 | 5.85 | 23 | ┃ (平均長) |
| W ⁴ ₆ | D13 | 5350 | 3 | 0.995 | 5.32 | 16 | ┃ |
| W ⁴ ₇ | D13 | 4730 | 21 | 0.995 | 4.71 | 99 | ―― |
| W ⁴ ₈ | D13 | 4180 | 1 | 0.995 | 4.16 | 4 | ―― |
| W ⁴ ₉ | D13 | 2080 | 6 | 0.995 | 2.07 | 12 | ―― |
| W ⁴ ₁₀ | D13 | 4380 | 20 | 0.995 | 4.36 | 87 | ―― |
| W ⁴ ₁₁ | D13 | 3820 | 1 | 0.995 | 3.80 | 4 | ―― |
| W ⁴ ₁₂ | D13 | 1750 | 3 | 0.995 | 1.74 | 5 | ―― |
| W ⁴ ₁₃ | D13 | 2060 | 3 | 0.995 | 2.05 | 6 | ―― |
| W ⁴ ₁₄ | D13 | 1510 | 23 | 0.995 | 1.50 | 35 | ―― |
| W ⁴ ₁₅ | D13 | 1230 | 1 | 0.995 | 1.22 | 1 | ―― |
| 539 | | | | | | | |
| A ¹⁴ ₁ | D13 | 690 | 48 | 0.995 | 0.69 | 33 | ┃ |
| A ¹⁴ ₂ | D13 | 370 | 1110 | 0.995 | 0.37 | 411 | ┃ |
| 444 | | | | | | | |
| W ⁵ ₁ | D13 | 6070 | 9 | 0.995 | 6.04 | 54 | ┃ |
| W ⁵ ₂ | D13 | 5830 | 1 | 0.995 | 5.80 | 6 | ┃ |
| W ⁵ ₃ | D13 | 2350 | 20 | 0.995 | 2.34 | 47 | ―― |
| W ⁵ ₄ | D13 | 2070 | 1 | 0.995 | 2.06 | 2 | ―― |
| W ⁵ ₅ | D13 | 2300 | 3 | 0.995 | 2.29 | 7 | ―― |
| 116 | | | | | | | |
| A ¹⁵ ₁ | D13 | 690 | 10 | 0.995 | 0.69 | 7 | ┃ |
| A ¹⁵ ₂ | D13 | 420 | 215 | 0.995 | 0.42 | 90 | ┃ |
| 97 | | | | | | | |
| W ⁶ ₁ | D13 | 5400 | 13 | 0.995 | 5.37 | 70 | ┃ |
| W ⁶ ₂ | D13 | 5160 | 1 | 0.995 | 5.13 | 5 | ┃ |
| W ⁶ ₃ | D13 | 2700 | 20 | 0.995 | 2.69 | 54 | ―― |
| W ⁶ ₄ | D13 | 2420 | 1 | 0.995 | 2.41 | 2 | ―― |
| W ⁶ ₅ | D13 | 6150 | 35 | 0.995 | 6.12 | 214 | ┃ |
| W ⁶ ₆ | D13 | 5990 | 4 | 0.995 | 5.96 | 24 | ┃ (平均長) |
| W ⁶ ₇ | D13 | 5800 | 2 | 0.995 | 5.77 | 12 | ┃ |
| W ⁶ ₈ | D13 | 9180 | 22 | 0.995 | 9.13 | 201 | ―― |
| W ⁶ ₉ | D13 | 8630 | 1 | 0.995 | 8.59 | 9 | ―― |
| W ⁶ ₁₀ | D13 | 5400 | 2 | 0.995 | 5.37 | 11 | ―― |
| W ⁶ ₁₁ | D13 | 3360 | 2 | 0.995 | 3.34 | 7 | ―― |
| 609 | | | | | | | |
| A ¹⁶ ₁ | D13 | 690 | 55 | 0.995 | 0.69 | 38 | ┃ |
| A ¹⁶ ₂ | D13 | 370 | 1230 | 0.995 | 0.37 | 455 | ┃ |
| 493 | | | | | | | |
| C ¹ ₁ | D22 | 3700 | 2 | 3.04 | 11.25 | 23 | ┃ |
| C ¹ ₂ | D22 | 2850 | 1 | 3.04 | 8.66 | 9 | ┃ |
| C ¹ ₃ | D13 | 1170 | 30 | 0.995 | 1.16 | 35 | ┃ |
| 67 | | | | | | | |
| A ¹⁷ ₁ | D22 | 1280 | 1 | 3.04 | 3.89 | 4 | ┃ |
| A ¹⁷ ₂ | D22 | 1320 | 2 | 3.04 | 4.01 | 8 | ┃ |
| A ¹⁷ ₃ | D22 | 1280 | 1 | 3.04 | 3.89 | 4 | ┃ |
| A ¹⁷ ₄ | D22 | 1320 | 2 | 3.04 | 4.01 | 8 | ┃ |
| 24 | | | | | | | |
| 合 計 | | | | | | | |
| D22 | | | | 56 | kg | | |
| D16 | | | | 28 | kg | | |
| D13 | | | | 4255 | kg | | |
| 総質量 | | | | 4339 | kg | | |

接着系アンカー

| 施工箇所 | 鉄筋種別 | 鉄筋径d | 施工向き | 定着長 (L1=45d) | 定着長 (L2=12d) | 削孔長 (L3=13d) | 削孔長 (L4=8d) | 本数 |
|------|------|------|------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|------|
| W-1 | 主鉄筋 | D13 | 下向き | 585 | － | － | 104 | 36 |
| | 主鉄筋 | D13 | 上向き | 585 | － | － | 104 | 49 |
| | 主鉄筋 | D13 | 横向き | 585 | － | － | 104 | 25 |
| | 主鉄筋 | D13 | 下向き | (585) | － | － | 104 | 13 |
| | ジベル筋 | D13 | 横向き | － | 156 | 169 | － | 563 |
| W-2 | 主鉄筋 | D13 | 下向き | 585 | － | － | 104 | 48 |
| | ジベル筋 | D13 | 横向き | － | 156 | 169 | － | 931 |
| W-3 | 主鉄筋 | D13 | 下向き | 585 | － | － | 104 | 21 |
| | 主鉄筋 | D13 | 横向き | 585 | － | － | 104 | 50 |
| | ジベル筋 | D13 | 横向き | － | 156 | 169 | － | 474 |
| W-4 | 主鉄筋 | D13 | 下向き | 585 | － | － | 104 | 48 |
| | ジベル筋 | D13 | 横向き | － | 156 | 169 | － | 1110 |
| W-5 | 主鉄筋 | D13 | 下向き | 585 | － | － | 104 | 10 |
| | ジベル筋 | D13 | 横向き | － | 156 | 169 | － | 215 |
| W-6 | 主鉄筋 | D13 | 下向き | 585 | － | － | 104 | 55 |
| | ジベル筋 | D13 | 横向き | － | 156 | 169 | － | 1230 |
| C-1 | 主鉄筋 | D22 | 上向き | 990 | － | 286 | － | 1 |
| | 主鉄筋 | D22 | 下向き | 990 | － | 286 | － | 1 |
| | 主鉄筋 | D22 | 上向き | 990 | － | 286 | － | 2 |
| | 主鉄筋 | D22 | 下向き | 990 | － | 286 | － | 2 |

実 施

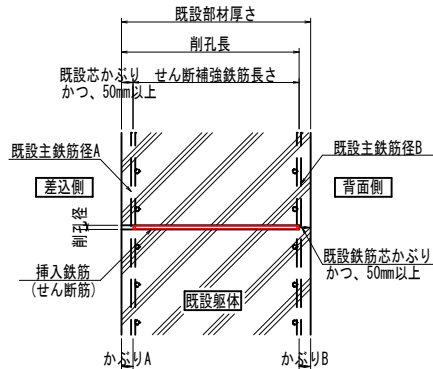
| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図（18） | | |
| 縮 尺 | － | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-35 |

田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(19)

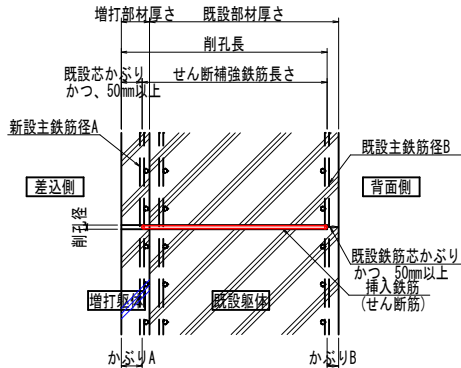
RMA工法標準断面詳細図

(両端頭付き)

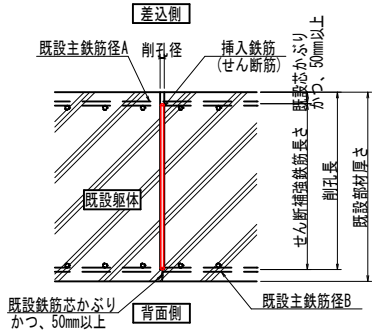
(壁標準部)



(壁増打部)



(底版部)



特記1：既設鉄筋位置は十分に探査し確認すること。
特記2：既設鉄筋被りは現地調査により確認すること。
特記3：後施工せん断補強鉄筋工は既存設備、既設躯体、既設開口に支障の無いよう配置すること。

あと施工せん断補強鉄筋工

| 符号 | 記号 | 補強仕様 | 工法 | 向き | 本数 |
|-----------|----|------------------|-------|-----|-----|
| W-3(下端) | ➤ | 標準部：D16@125×1000 | RMA工法 | 横向き | 143 |
| W-3(左右端) | ➤ | 標準部：D16@125×1000 | RMA工法 | 横向き | |
| W-4 | ➤ | 標準部：D16@125×1000 | RMA工法 | 横向き | 55 |
| W-6 | ➤ | 標準部：D16@125×1000 | RMA工法 | 横向き | 61 |
| W-7 | ● | 標準部：D19@125×1000 | RMA工法 | 横向き | 120 |
| W-8 | ➤ | 標準部：D16@125×1000 | RMA工法 | 横向き | 96 |
| W-9(下端) | ➤ | 標準部：D16@125×800 | RMA工法 | 横向き | 144 |
| W-9(左右端) | ➤ | 標準部：D16@100×1000 | RMA工法 | 横向き | |
| W-10(下端) | ➤ | 標準部：D16@125×1000 | RMA工法 | 横向き | 132 |
| W-10(左右端) | ➤ | 標準部：D16@125×1000 | RMA工法 | 横向き | |
| W-11 | ➤ | 標準部：D16@125×1000 | RMA工法 | 横向き | 53 |

あと施工せん断補強鉄筋工

| 符号 | 記号 | 補強仕様 | 工法 | 向き | 本数 |
|------------|----|------------------|-------|-----|-----|
| F-1-1 | ● | 標準部：D25@500×200 | RMA工法 | 下向き | 248 |
| F-1-2 | ○ | 標準部：D22@1000×200 | RMA工法 | 下向き | 78 |
| F-1-3 | ● | 標準部：D22@125×800 | RMA工法 | 下向き | 178 |
| F-2 | ● | 標準部：D22@125×1000 | RMA工法 | 下向き | 272 |
| F-2(柱脚補強部) | ○ | 拡幅部：D22@125×1000 | RMA工法 | 下向き | 11 |
| F-3 | ➤ | 標準部：D16@125×1000 | RMA工法 | 下向き | 299 |

あと施工せん断補強鉄筋工

| 符号 | 記号 | 補強仕様 | 工法 | 向き | 本数 |
|-----|----|---------------|-------|-----|----|
| C-1 | ● | 標準部：2-D25@200 | RMA工法 | 横向き | 18 |
| C-2 | ➤ | 標準部：1-D16@200 | RMA工法 | 横向き | 10 |
| C-3 | ✕ | 標準部：1-D13@200 | RMA工法 | 横向き | 7 |

あと施工せん断補強鉄筋工

| 符号 | 記号 | 補強仕様 | 工法 | 向き | 本数 |
|-----|----|---------------|-------|-----|----|
| G-1 | ✕ | 標準部：1-D13@250 | RMA工法 | 下向き | 7 |
| G-2 | ✕ | 標準部：1-D13@250 | RMA工法 | 下向き | 7 |

単位：mm

| 符号 | 部材厚 | 挿入側主鉄筋径A | 背面側主鉄筋径B | かぶりA | かぶりB | 削孔長 | 鉄筋長 | 削孔径 |
|-----------|---------|----------|----------|------|------|-----|-----|-----|
| W-3(下端) | 380+150 | D13 | D13 | 110 | 80 | 300 | 340 | 22 |
| W-3(左右端) | 380+150 | D13 | D13 | 110 | 80 | 300 | 340 | 22 |
| W-4 | 380+150 | D13 | D13 | 110 | 80 | 300 | 340 | 22 |
| W-6 | 380+150 | D13 | D13 | 110 | 80 | 300 | 340 | 22 |
| W-7 | 350 | D13 | D13 | 80 | 80 | 270 | 190 | 28 |
| W-8 | 350 | D13 | D13 | 80 | 80 | 270 | 190 | 22 |
| W-9(下端) | 350 | D13 | D13 | 80 | 80 | 270 | 190 | 22 |
| W-9(左右端) | 350 | D13 | D13 | 80 | 80 | 270 | 190 | 22 |
| W-10(下端) | 350 | D13 | D13 | 80 | 80 | 270 | 190 | 22 |
| W-10(左右端) | 350 | D13 | D13 | 80 | 80 | 270 | 190 | 22 |
| W-11 | 350 | D13 | D13 | 80 | 80 | 270 | 190 | 22 |

単位：mm

| 符号 | 部材厚 | 挿入側主鉄筋径A | 背面側主鉄筋径B | かぶりA | かぶりB | 削孔長 | 鉄筋長 | 削孔径 |
|------------|-------|----------|----------|-------|------|-----|-----|-----|
| F-1-1 | 500 | D16 | D16 | 80 | 80 | 420 | 340 | 36 |
| F-1-2 | 500 | D16 | D16 | 80 | 80 | 420 | 340 | 32 |
| F-1-3 | 500 | D16 | D16 | 80 | 80 | 420 | 340 | 32 |
| F-2 | 500 | D13 | D13 | 80 | 80 | 420 | 340 | 32 |
| F-2(柱脚補強部) | 平均700 | D13 | D13 | 平均280 | 80 | 620 | 340 | 32 |
| F-3 | 500 | D13 | D13 | 80 | 80 | 420 | 340 | 22 |

単位：mm

| 符号 | 部材厚 | 挿入側主鉄筋径A | 背面側主鉄筋径B | 帯筋径C | かぶりA | かぶりB | 削孔長 | 鉄筋長 | 削孔径 |
|-----|---------|----------|----------|------|------|------|-----|-----|-----|
| C-1 | 700+150 | D22 | D22 | D13 | 120 | 60 | 640 | 670 | 36 |
| C-2 | 550 | D22 | D22 | φ9 | 60 | 60 | 490 | 430 | 22 |
| C-3 | 550 | D22 | D22 | φ9 | 60 | 60 | 490 | 430 | 16 |

単位：mm

| 符号 | 部材厚 | 挿入側主鉄筋径A | 背面側主鉄筋径B | あばら筋径C | かぶりA | かぶりB | 削孔長 | 鉄筋長 | 削孔径 |
|-----|------|----------|----------|--------|------|------|-----|-----|-----|
| G-1 | 1000 | D22 | D22 | φ9 | 70 | 70 | 930 | 860 | 16 |
| G-2 | 1000 | D22 | D22 | φ9 | 70 | 70 | 930 | 860 | 16 |

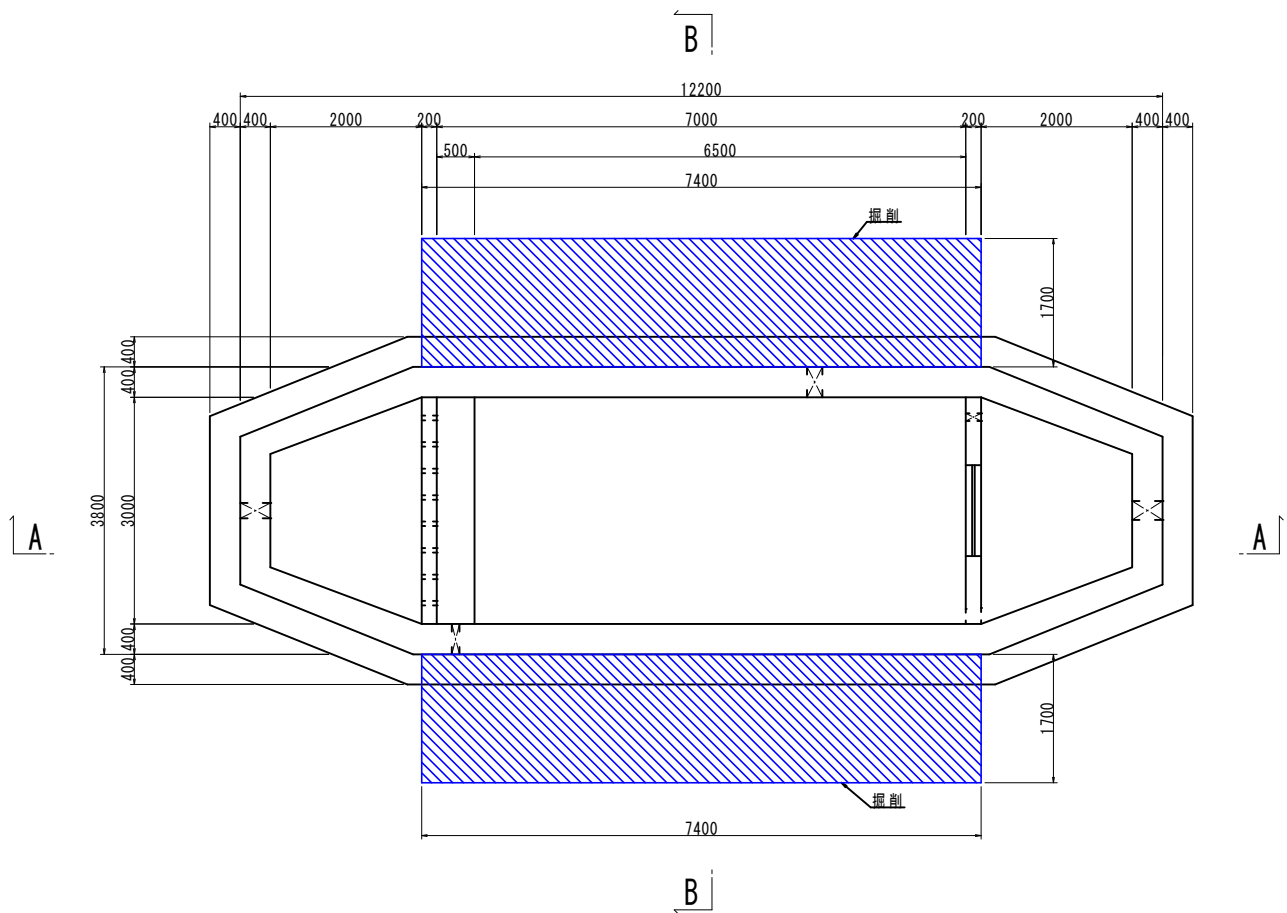
実 施

| | | | |
|-------|--|----------|--|
| 工 事 名 | 令和6年度、生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋補強詳細図(19) | | |
| 縮 尺 | - | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | 図番 | C-36 | |

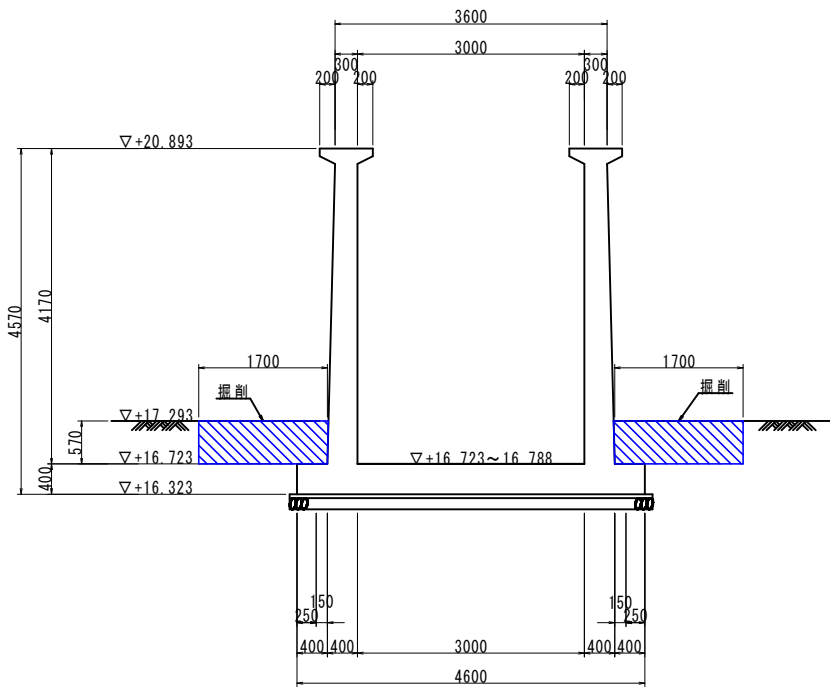
田沢浄水場 沈砂池補強構造図(1)S=1:50

現況(撤去)

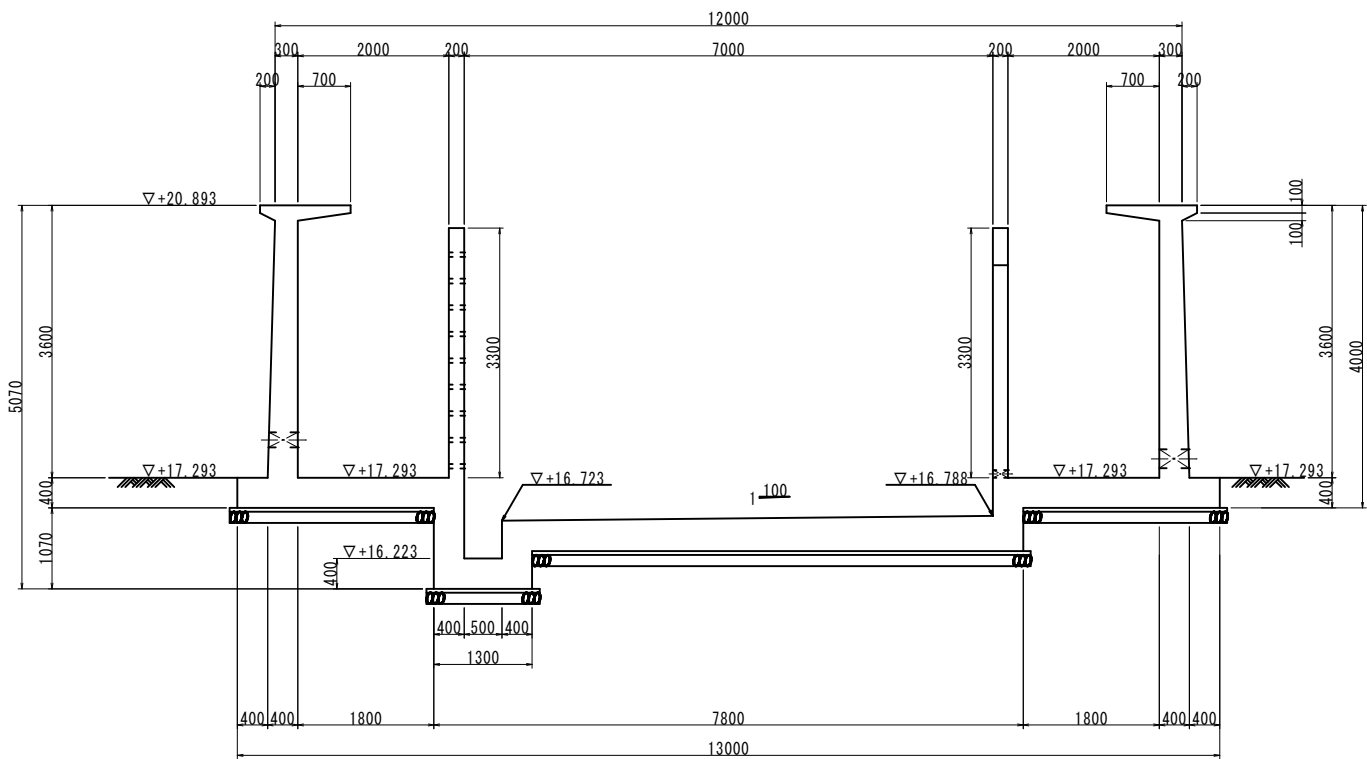
平面図



B-B断面図



A-A断面図



補強工法凡例

撤去箇所

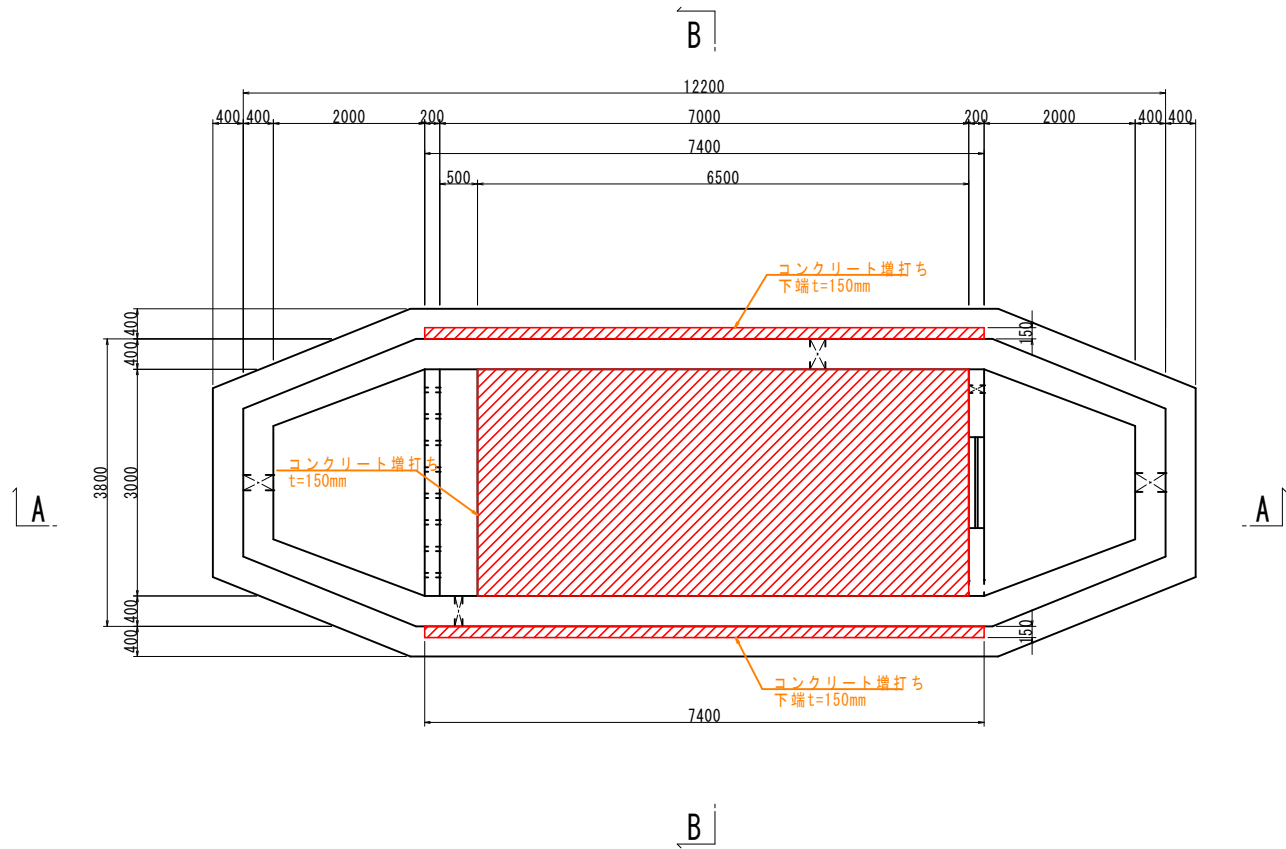
実 施

| | | | |
|-------|--|---------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事(土木) | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 沈砂池補強構造図(1) | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位 置 | |
| 設 計 者 | | 設 計 年 度 | |
| 亶 理 町 | | 図 番 | C-49 |

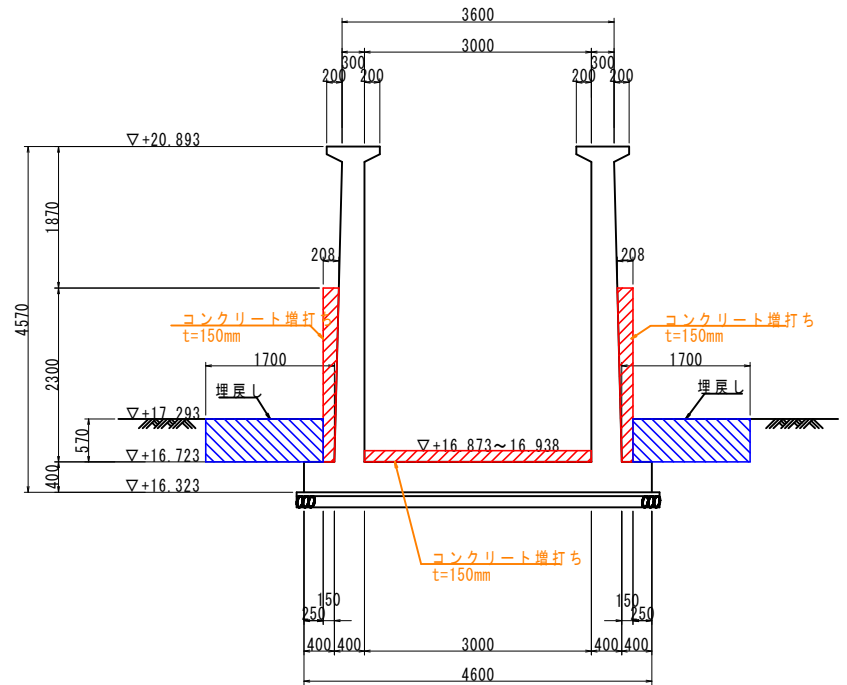
田沢浄水場 沈砂池補強構造図(2)S=1:50

改修後

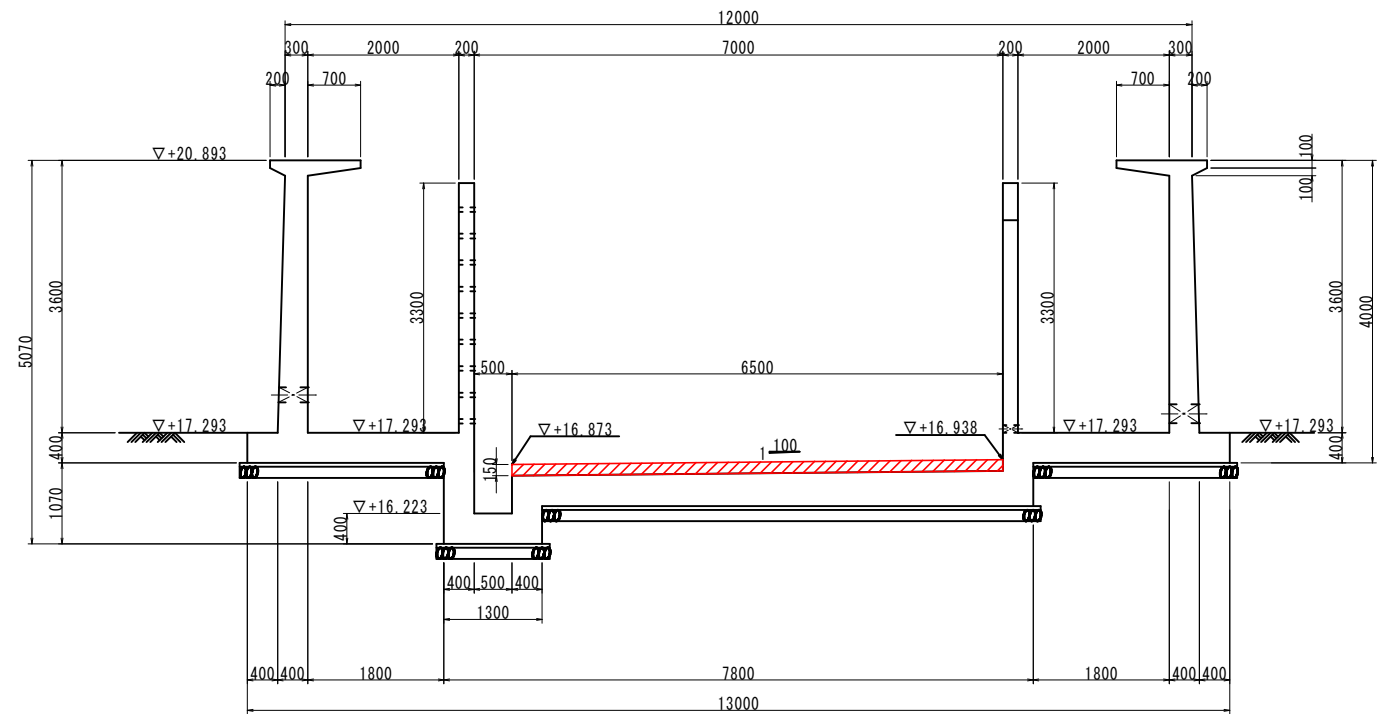
平面図



B-B断面図



A-A断面図



補強工法凡例

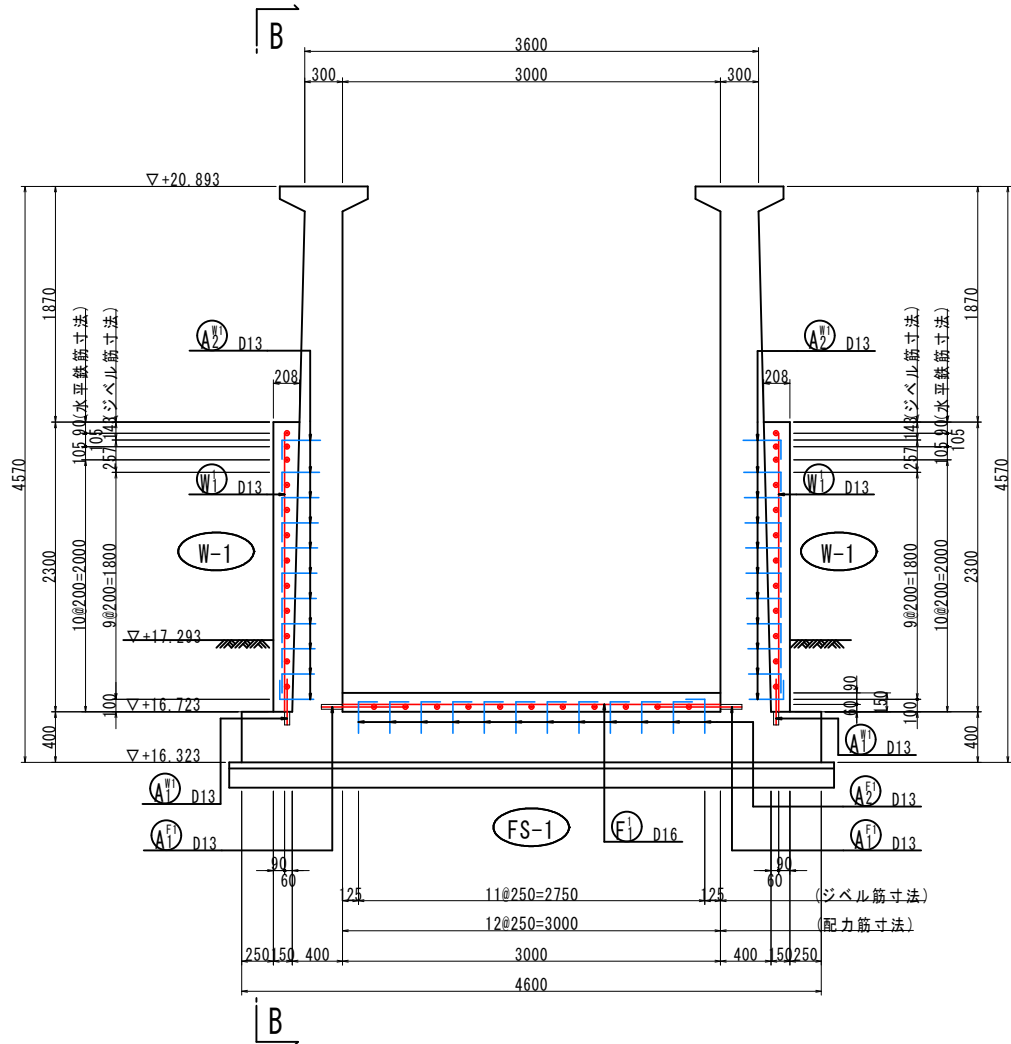
- 鉄筋コンクリート増厚工
- 復旧箇所

実施

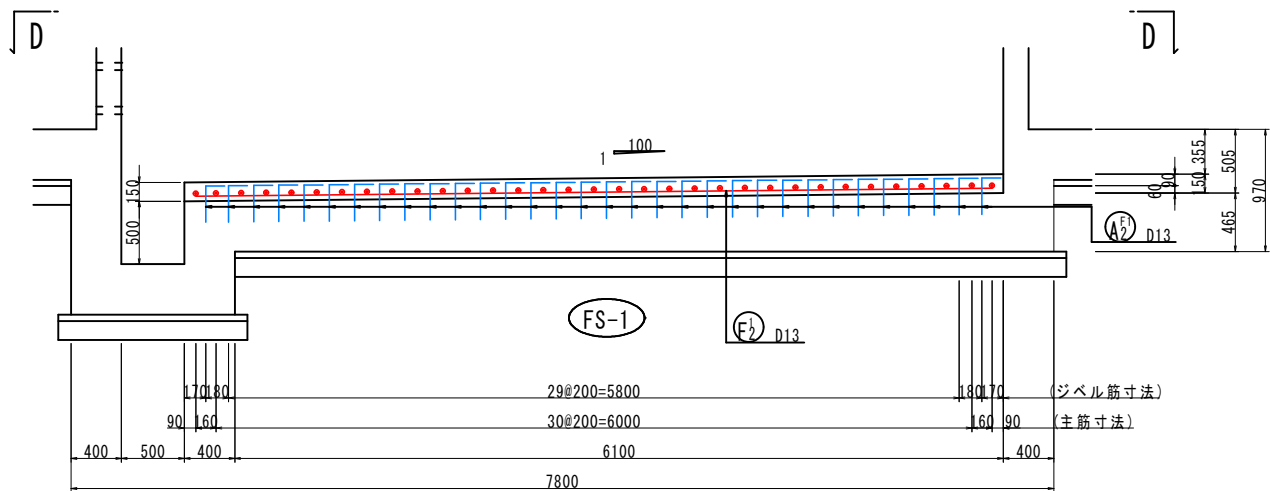
| | | | |
|------|--|------|------|
| 工事名 | 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図面名 | 田沢浄水場 沈砂池補強構造図(2) | | |
| 縮尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設計者 | | 設計年度 | |
| 亶理町 | | 図番 | C-50 |

田沢浄水場 沈砂池補強詳細図(1) S=1:30

A-A断面図



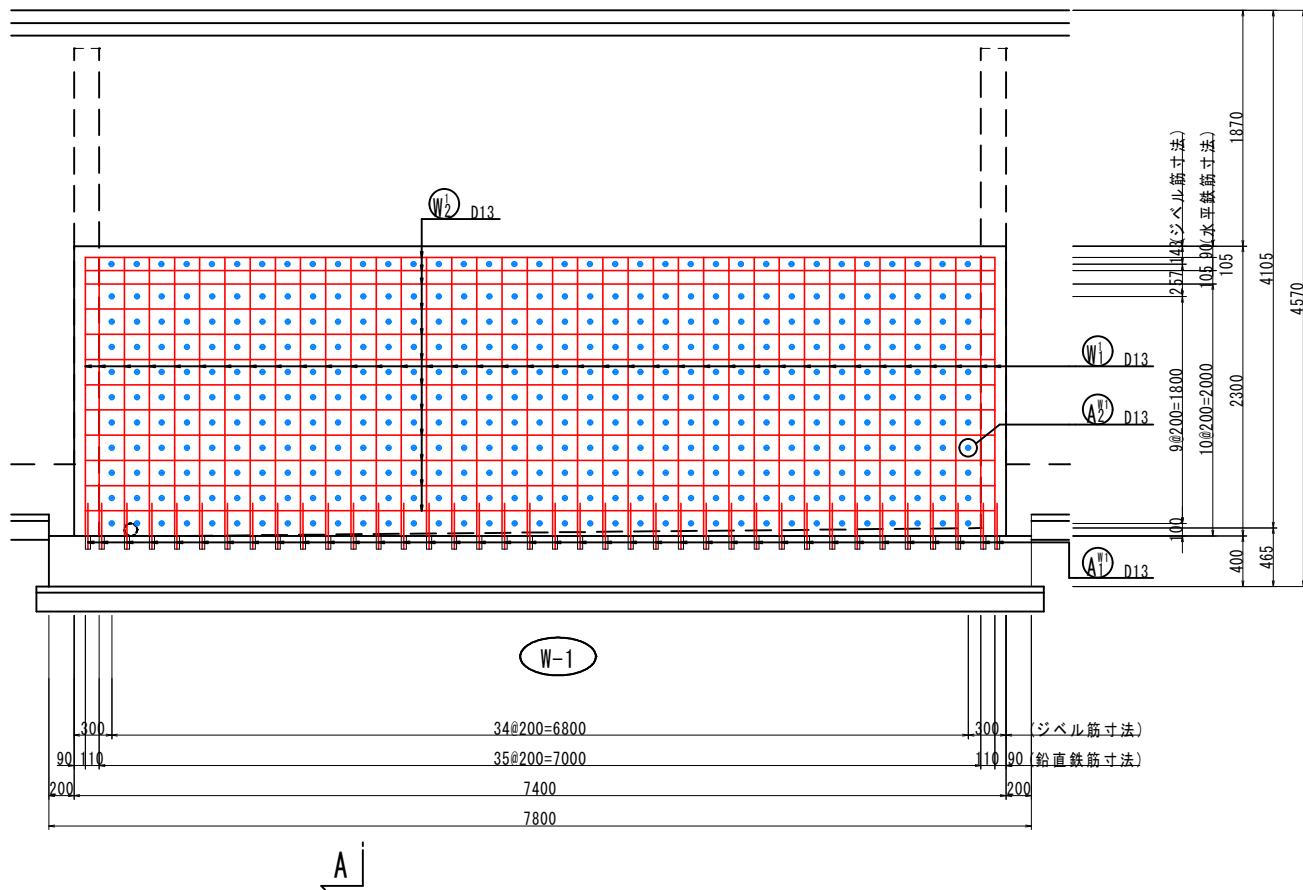
C-C断面図



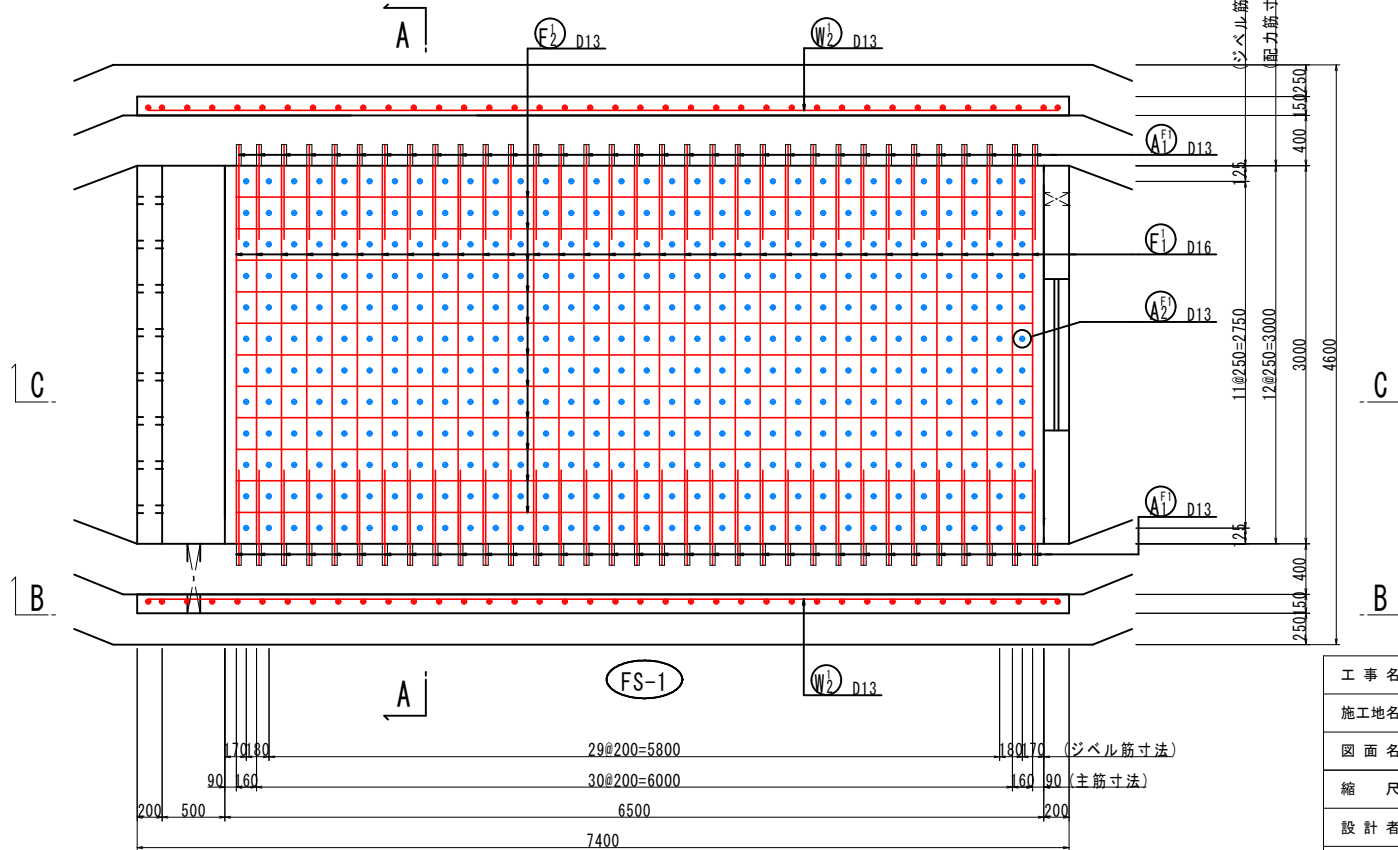
壁、底版増打ち補強図

B-B断面図

(2箇所)



D-D断面図

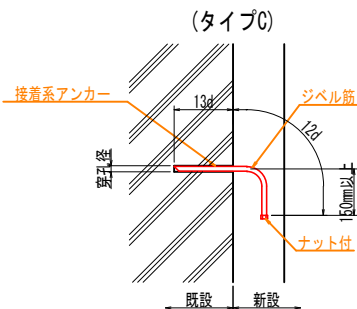
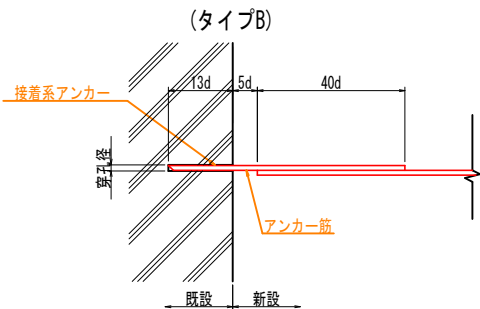
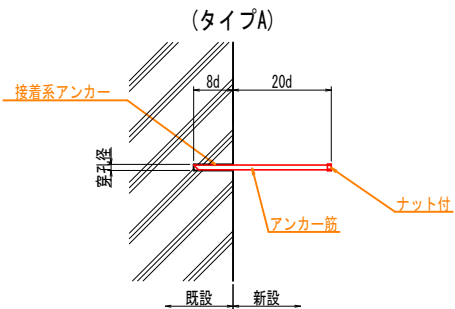


実 施

| | | | |
|------|--|------|------|
| 工事名 | 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事(土木) | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図面名 | 田沢浄水場 沈砂池補強詳細図(1) | | |
| 縮尺 | 1/30 | 位置 | |
| 設計者 | | 設計年度 | |
| 亶理町 | | 図番 | C-51 |

田沢浄水場 沈砂池補強詳細図(2) S=1:30

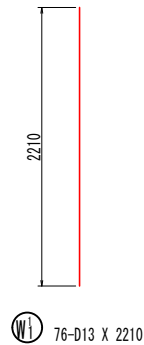
接着系アンカー工詳細図



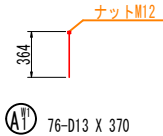
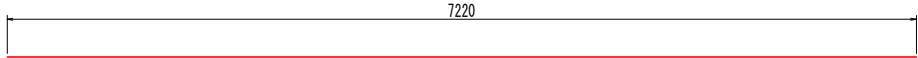
アンカー筋定着長

| | 8d | 13d | 20d |
|-----|-----|-----|-----|
| D13 | 104 | 169 | 260 |

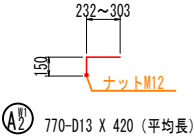
W-1



W2 24-D13 X 7220

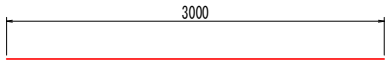


※接着系アンカー-A：下向き施工

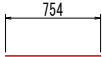
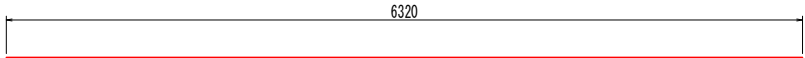


※接着系アンカー-C：横向き施工

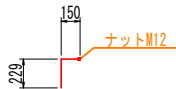
FS-1



F2 11-D13 X 6320



※接着系アンカー-B：横向き施工



※接着系アンカー-C：下向き施工

鉄筋質量表

| 種別 | 径 | 長さ (mm) | 本数 | 単位質量 (kg/m) | 一本当り質量 (kg/本) | 質量 (kg) | 摘要 |
|--------|-----|------------|-----|----------------|------------------|------------|---------|
| W 1 | D13 | 2210 | 76 | 0.995 | 2.20 | 167 | 1 |
| W 2 | D13 | 7220 | 24 | 0.995 | 7.18 | 172 | 1 |
| 339 | | | | | | | |
| A 1 | D13 | 370 | 76 | 0.995 | 0.37 | 28 | 1 |
| A 2 | D13 | 420 | 770 | 0.995 | 0.42 | 323 | 1 (平均長) |
| 351 | | | | | | | |
| F 1 | D16 | 3000 | 33 | 1.56 | 4.68 | 154 | 1 |
| F 2 | D13 | 6320 | 11 | 0.995 | 6.29 | 69 | 1 |
| 223 | | | | | | | |
| A 1 | D13 | 760 | 66 | 0.995 | 0.76 | 50 | 1 |
| A 2 | D13 | 380 | 384 | 0.995 | 0.38 | 146 | 1 |
| 196 | | | | | | | |
| 合計 D16 | | | | | | | 154 kg |
| D13 | | | | | | | 955 kg |
| 総質量 | | | | | | | 1109 kg |

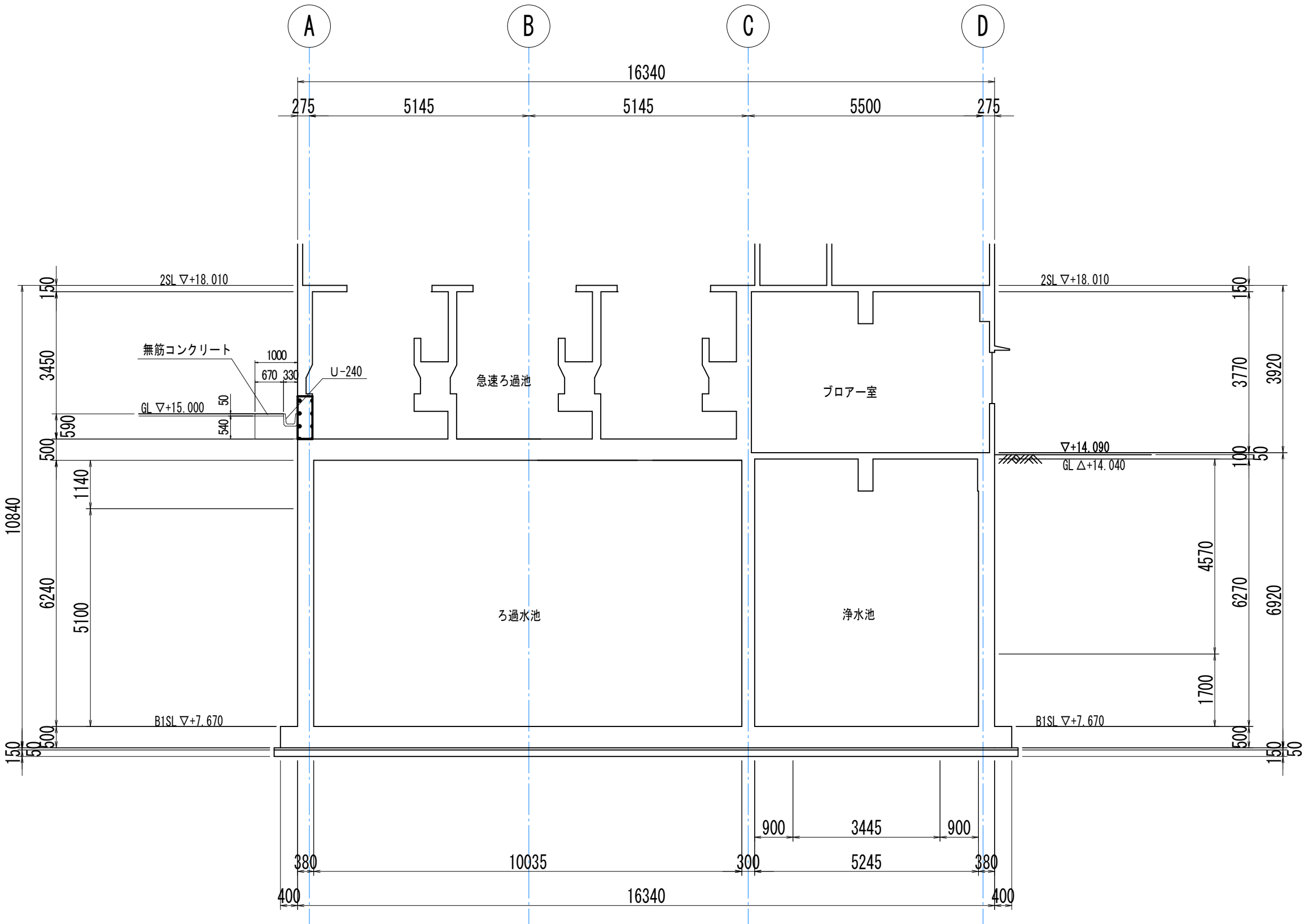
接着系アンカー

| 施工箇所 | 鉄筋種別 | 鉄筋径d | 施工向き | 定着長 (L1=12d) | 定着長 (L2=20d) | 定着長 (L3=45d) | 削孔長 (L4=8d) | 削孔長 (L5=13d) | 本数 |
|------|------|------|------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|-----|
| W-1 | 主鉄筋 | D13 | 下向き | - | 260 | - | 104 | - | 76 |
| | ジベル筋 | D13 | 横向き | - | - | 585 | - | 169 | 770 |
| FS-1 | 主鉄筋 | D13 | 横向き | 156 | - | - | - | 169 | 66 |
| | ジベル筋 | D13 | 下向き | 156 | - | - | - | 169 | 384 |

実 施

| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 沈砂池補強詳細図(2) | | |
| 縮 尺 | 1/30 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-52 |

土工断面図



実 施

| | | | |
|-------|--|----------|------|
| 工 事 名 | 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（土木） | | |
| 施工地名 | 亶理町逢隈田沢字堰下206-6 | | |
| 図 面 名 | 田沢浄水場 浄水場建屋 土工断面図 | | |
| 縮 尺 | 1/50 | 位置 | |
| 設 計 者 | | 設計 年度 | |
| 亶 理 町 | | 図番 | C-53 |